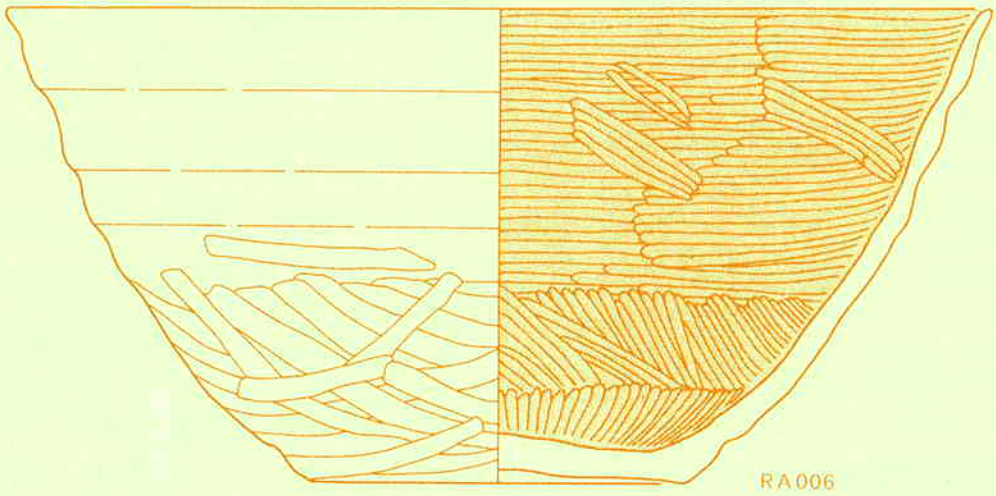
# 館・松ノ木遺跡

## ――古代の遺物編――




1999.3

盛岡市教育委員会

# 館・松ノ木遺跡

## ――古代の遺物編――

1999.3

盛岡市教育委員会

# 序　　言

盛岡の北西部，雫石川南岸の太田・本宮地区から仙北地区にかけての沖積段丘面は，多くの埋蔵文化財を包蔵する地域として知られています。

この沖積段丘は，雫石川によって形成された土地で，志波城跡に代表されるように奈良時代から平安時代にかけての遺跡が残されています。この川は水量が多く，その流れによってある時は災禍の源ともなりましたが，一方で農耕に適した肥沃な地となし，それを裏付けるようにその両岸には多くの生活の痕跡が残されています。

館遺跡と松ノ木遺跡は，雫石川の造り出した奈良時代から中世にかけての遺跡で，古代には，かなり広範囲な古代集落であったと推定されます。また，中世の太田館跡にも擬定されており，交通や軍事上にも重要な位置で占めていたことが窺えます。

このたびの発掘調査報告書は，平成４年度に刊行した古代の遺構編に続くもので，この調査成果が広く歴史を叙述する一資料となることを願うものであります。

最後になりましたが，調査を実施するにあたり御協力くださいました地権者並びに関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成11年３月

盛岡市教育委員会

教育長　佐々木　初　朗

# 例　　言

1．本書は，盛岡市上太田館及び松ノ木地内に所在する館・松ノ木遺跡の発掘調査報告書で，昭和54年から平成３年までに実施した第１～12次調査のうち，第１・２・３・６・７・10・11次調査で出土した古代の遺物を収録したものである。

なお，本書で収録した遺物が出土した古代の遺構については、平成４年度に刊行しており，中世以降の遺構・遺物編については別途報告予定である。

2．遺構の平面表示は，平面直角座標第Ｘ系を座標変換した調査座標で表示した。

・調査座標軸方向　第Ｘ系に準ずる

・調査座標原点　　Ｘ－34,000.000　Ｙ＋22,000.000

3．高さは，標高値をそのまま使用した。

4．土層図は，堆積のあり方を重視し，線の太さによって堆積の違いをあらわした。

土層注記は，層理ごとに本文に記載し，個々の層位については特記事項のない限り割愛した。

なお，層相の観察にあたっては『新版標準土色帖』(1994 小山正忠・竹原秀雄編著　日本色研事業㈱発行）を参考にした。

5．文中及び挿図の土器区分は，須恵器・あかやき土器・土師器に分類した。

6．本書で使用した遺構の記号は，次のとおりである。

| 古代に関する遺構 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 竪穴住居跡　ＲＡ | 土坑　ＲＤ | 竪穴　ＲＦ | 溝跡　ＲＧ | |
| 中世以降に関する遺構 | | | | |
| 柱列　ＳＡ | 堀・溝跡　ＳＤ | 土塁　ＳＦ | 竪穴　ＳＩ | 土坑　ＳＫ |

7．遺構及び遺物包含層からの出土土製品と石製品及び鉄製品は，器種ごとにまとめた。

なお，遺構時期以前の土器については遺構外遺物としてまとめた。

8．本書の編集執筆は，教育委員会文化課文化財係似内啓邦が八木光則・室野秀文・菊池与志和・津嶋知弘・三浦陽一・神原雄一郎・黒須靖之・藤村茂克・平澤祐子の協力を得ておこなった。

9．本遺跡の調査関係で盛岡市教育委員会刊行の文献はとおりである。

『館遺跡－ダイジェスト版－』 1980

『館・松ノ木遺跡－古代の遺構編－』 1992

10．発掘調査に伴う出土遺物および諸記録は，盛岡市教育委員会に保管している。

11．本遺跡に関わる既刊の略報・年報・概報で使用した内容は本書をもって訂正する。

# 目　　次

序　言

例　言

目　次

挿図目次

表 目 次

図版目次

Ⅰ　遺跡の環境

1　地理的環境 …… 1

2　歴史的環境 …… 2

Ⅱ　調査経過

1　調査経過 …… 5

2　調査体制 …… 6

Ⅲ　調査内容

1　遺構の検出状況 …… 10

2　館遺跡第１次調査出土遺物 …… 10

3　館遺跡第２次調査出土遺物 …… 26

4　松ノ木遺跡第６次調査出土遺物 …… 34

5　松ノ木遺跡第７次調査出土遺物 …… 34

6　館遺跡第11次調査出土遺物 …… 36

7　館遺跡第２・３・10次、松ノ木遺跡第６・９次調査遺構外出土遺物 …… 39

Ⅳ　調査のまとめ

出土遺物のあり方について …… 41

# 挿 図 目 次


第１図　館・松ノ木遺跡の位置 …… 1
第２図　地形分類と遺跡分布 …… 3
第３図　館・松ノ木遺跡全体図 …… 7・8
第４図　館遺跡第１・２・３次調査区全体図 …… 9
第５図　館遺跡第１次調査ＲＡ001・002竪穴住居跡出土土器 …… 12
第６図　館遺跡第１次調査ＲＡ003竪穴住居跡出土土器 …… 13
第７図　館遺跡第１次調査ＲＡ003竪穴住居跡出土鉄製品，石製品 …… 14
第８図　館遺跡第１次調査ＲＡ004竪穴住居跡出土土器，鉄製品 …… 15
第９図　館遺跡第１次調査ＲＡ005竪穴住居跡出土土器(1) …… 16
第10図　館遺跡第１次調査ＲＡ005竪穴住居跡出土土器(2)，鉄製品 …… 17
第11図　館遺跡第１次調査ＲＡ006竪穴住居跡出土土器(1) …… 19
第12図　館遺跡第１次調査ＲＡ006竪穴住居跡出土土器(2)，鉄製品 …… 20
第13図　館遺跡第１次調査ＲＦ007竪穴，ＲＡ008竪穴住居跡出土土器 …… 21
第14図　館遺跡第１次調査ＲＡ009竪穴住居跡出土土器(1) …… 22
第15図　館遺跡第１次調査ＲＡ009竪穴住居跡出土土器(2) …… 23
第16図　館遺跡第１次調査ＲＡ010・011竪穴住居跡出土土器 …… 24
第17図　館遺跡第１次調査ＲＤ001土坑，遺構外出土土器，鉄製品 …… 25
第18図　館遺跡第２次調査ＲＡ012竪穴住居跡出土土器(1) …… 27
第19図　館遺跡第２次調査ＲＡ012竪穴住居跡出土土器(2) …… 28
第20図　館遺跡第２次調査ＲＡ013竪穴住居跡出土土器，鉄製品 …… 29
第21図　館遺跡第２次調査ＲＡ014・015・016竪穴住居跡出土土器，鉄製品 …… 31
第22図　館遺跡第２次調査ＲＡ017・018(1)竪穴住居跡出土土器 …… 32
第23図　館遺跡第２次調査ＲＡ018(2)・019・020竪穴住居跡出土石製品，鉄製品，土器 …… 33
第24図　館遺跡第２次調査ＲＡ021・023竪穴住居跡出土土器，鉄製品 …… 34
第25図　松ノ木遺跡第６次調査区全体図 …… 35
第26図　松ノ木遺跡第７次調査区全体図 …… 35
第27図　松ノ木遺跡第６次調査ＲＡ026竪穴住居跡出土土器 …… 36
第28図　松ノ木遺跡第６次調査ＲＡ027・029竪穴住居跡，ＲＤ007土坑出土土器，鉄製品 …… 37
第29図　松ノ木遺跡第７次調査ＲＡ031・032・033・034竪穴住居跡出土土器，鉄製品 …… 38
第30図　館遺跡第11次調査ＲＡ036・037竪穴住居跡出土土器 …… 39
第31図　館遺跡第２・３・10次調査，松ノ木遺跡第６・９次調遺構外出土土器，鉄製品 …… 40

# 表　目　次

表１　館・松ノ木遺跡検出竪穴住居跡，竪穴一覧 …… 44
表２　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(1) …… 45
表３　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(2) …… 46
表４　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(3) …… 47
表５　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(4) …… 48
表６　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(5) …… 49
表７　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(6) …… 50
表８　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(7) …… 51

報告書抄録

# 図　版　目　次

第１図版　館・松ノ木遺跡全景
第２図版　館遺跡遠景，第１・２次調査区全景
第３図版　館遺跡第１次調査の遺物出土状況
第４図版　館遺跡第１次調査の遺物出土状況
第５図版　館遺跡第２次調査の遺物出土状況
第６図版　松ノ木遺跡第６・７次調査区全景
第７図版　館遺跡出土土器(1)
第８図版　館遺跡出土土器(2)
第９図版　館遺跡出土土器(3)
第10図版　館遺跡出土土器(4)
第11図版　館遺跡出土土器(5)
第12図版　館遺跡出土土器(6)
第13図版　館遺跡出土土器(7)
第14図版　館遺跡出土土器(8)
第15図版　館遺跡(9)，松ノ木遺跡出土土器(1)

《遺物の表現について》

１．古代の須恵器・あかやき土器・土師器の実測図・拓本は1/3スケールとした。
２．挿図の土器配列については，器形と法量でまとめ，形式分類はひかえた。
３．土製品・石製品・鉄製品いずれも1/2スケールとした。
４．挿図の配列は器種ごとにまとめた。

# Ⅰ 遺跡の環境

## 1　地理的環境

**遺跡の位置**

盛岡は，東の北上山地と西の奥羽脊梁山脈の間の北上川がつくりだす北上盆地の北端に位置する。北上川は南流するうちに多くの河川と合流して水量を増していくが，その最初の大河川である雫石川や中津川と合流することによって，幅広い盆地を形成する。その雫石川は，脊梁山脈から東進し，雫石盆地を形成するが，鳥泊山と箱ヶ森とに挟まれた北の浦付近で急激に流路を狭められ（北の浦狭窄部），この狭窄部をぬけて北上盆地にはいり，北上川と合流するまでの間の右岸に沖積面を形成する。古代の遺跡の大半はこの沖積面に立地している。

一方，雫石川右岸は，岩手火山を供給源とする火山砕流堆積物，火山灰層をのせる台地や段丘が発達しているため，雫石川による沖積面はほとんど発達していない。また北上川も生成の異なる奥羽・北上両山脈の境に沿って流れ，沖積面をあまり形成させていない。つまり盛岡周辺での沖積面は雫石川右岸にだけ発達しているのである。

雫石川右岸の沖積面は，流路の転換がいちじるしく，旧河道が網状に確認される。連続する

第１図　館・松ノ木遺跡の位置（1：50,000）

旧河道は，５条ほど確認され，現雫石川以南では，旧河道の右岸に比高１ｍ以下の自然堤防ともみられる河岸段丘があり，現河道以北では２～５ｍ前後の比高差をもって上位の段丘面に接している。

**沖積段丘**　この沖段積丘は，水成砂礫層を基底とする砂礫段丘の最下面に分類されるが，基底砂礫層までの深さは一定せず，大小のうねりがこの地区の発掘で確認されている。砂礫層の上部を水成シルトがおおっているが，そのシルトの層厚や層相が一様ではなく，シルト層内に腐植土（あるいは火山灰か）を介在する地点もあり，長期の堆積とみられる。また本遺跡の古代の住居跡を埋設せしめている例もある。このように雫石川沖積段丘は，雫石川が周辺山地から供給する砂礫やシルトによって堆積され，それをさらに流路の定まらぬ雫石川による下刻や堆積が繰り返し行われてきたのである。すなわちこの地域の沖積段丘は常に河川の影響をうけた不安定な地形であったといえよう。

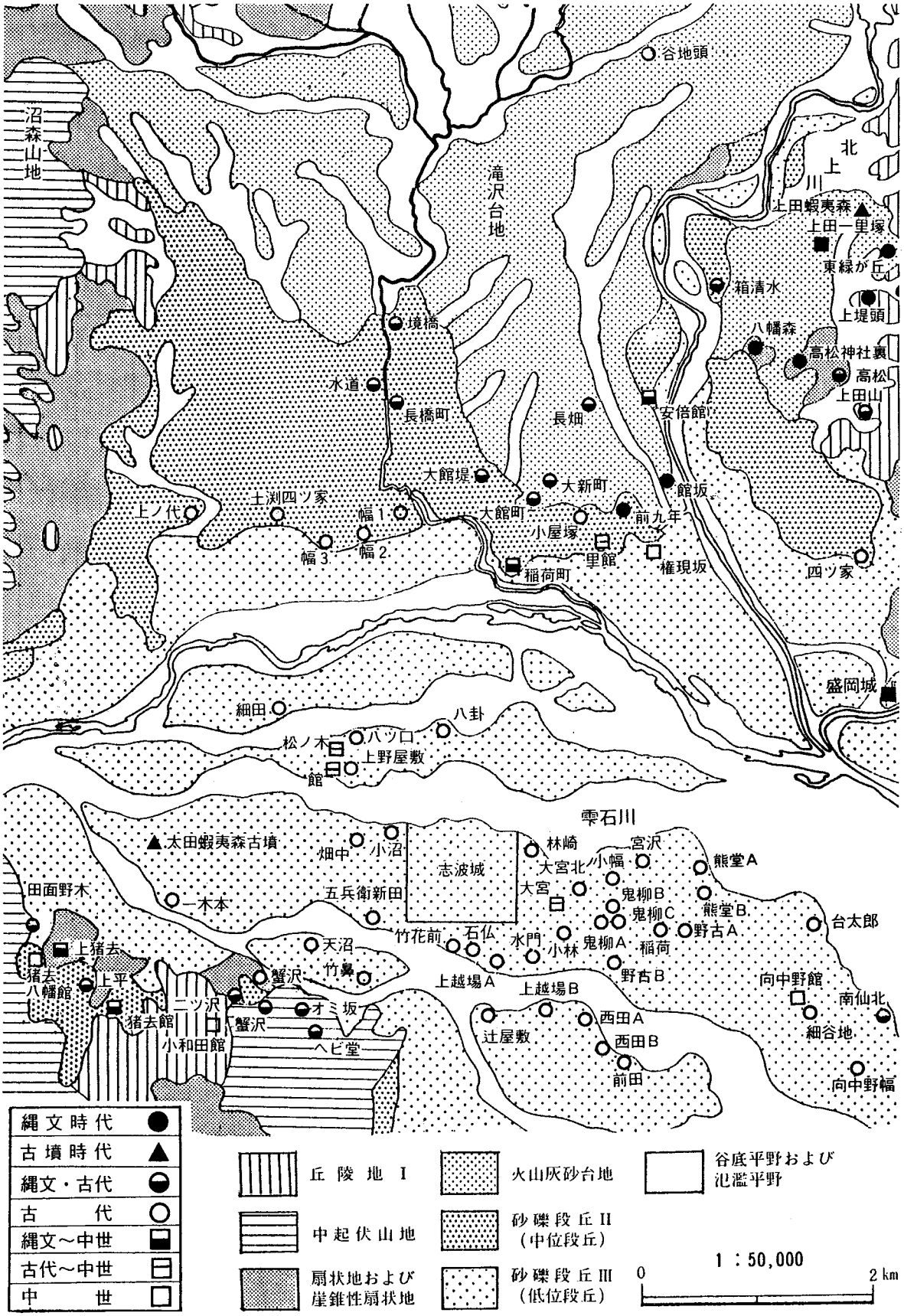
この不安定な雫石川沖積段丘は山地の際まで及んでおり，山地の縁辺に小規模な扇状地や中位の砂礫段丘が若干みられるだけである。これが雫石川の影響の少くなくなる南部では，中位の砂礫段丘や後背に広がる扇状地が発達し，景観を異にしている。

## 2　歴史的環境

雫石川によって形成された沖積段丘面上に縄文時代の遺跡はほとんど立地しておらず，志波城跡の外郭南辺部で縄文晩期の土器の小片や石鏃と陥し穴状土坑がようやく確認される程度である。弥生～古墳時代の遺跡も未確認で，わずかに志波城跡の政庁内で弥生土器の破片や石鏃が発見されているだけである。

**古　代**　そして古代になると，この沖積段丘上に集落などが多数立地するようになってくる。まず７～８世紀代に末期古墳群（上田蝦夷森・藤沢狄森・白沢えぞ森・太田蝦夷森・大道西古墳群）が築造されるが，上田蝦夷森・白沢えぞもり古墳群を除き，沖積段丘上に立地している。同時代の集落も同じ沖積段丘上に営なまれており，館・松ノ木遺跡のほかに志波城跡内の外郭南辺の新堰端地区，吉原地区，百目木・稲村・八卦・野古Ａ・台太郎遺跡などが知られている。ただし，雫石川以北は沖積段丘が未発達な地域のため，中位の砂礫段丘や火山灰砂台地上に幅・大館町・小屋塚遺跡が存在している。この時代の集落は大小の竪穴住居で構成され，大型住居に玉類や紡錘車が偏在してみられ，家父長制的な村を構成していたと考えられる。また古墳群からは多量の玉類や刀・銙帯金具・和同開珎などが出土し，やはり家父長制などを背景に造営されたものであろう。

そして平安時代にはいり，志波城（803年）や徳丹城（813年頃）が造営されるが，ともに前世紀の集落の上に造られており，旧支配勢力圏の中心地をねらったものと考えられる。これ以降，今までの沖積面からさらに上位の砂礫段丘や扇状地に集落が拡散するようになる。この場合でも，扇端部や谷底平野の直上など，地形の変わり目に立地するのが一般的である。志波城や徳丹城造営による地域社会の変換は比較的大きかったと思われ，古墳群の造営がなくなり大型住居への玉類などの偏在はみられなくなってしまう。また，竪穴住居の大小は急激にはなく




第２図　地形分類と遺跡分布

ならないが，10世紀あたりには均一化してしまうようである。

7～8世紀からの集落の増加は耕地の拡大が必要であり，上位段丘面への進出はその反映であったと思われる。志波城造営などがその契機となり，さらに計画的な村落の配置もなされた可能性もある。しかし，811年建郡の志波三郡（和我・稗縫・斯波郡）が律令体制下のもとで長く存続しなかったという文献解釈からすると，雫石川右岸の沖積段丘上の計画村落については検討すべき点が多い。なお，志波城や徳丹城が造営・廃絶される時期にあたる9世紀初頭～前半の集落についてみると，雫石川や北上川の左岸では館・松ノ木遺跡以外には発見されていなかったが，近年北上川左岸の乙部方八丁遺跡（徳丹城跡の対岸）や中津川左岸の前野遺跡でこの時期の集落が相次いで発見されており，この時期の社会情勢を反映するものとして注目される。

ともあれ，平安時代の集落のほとんどが9～10世紀代のものであることはこの地域の大きな特徴のひとつである。ところが11世紀以降の安部氏や平泉藤原氏の台頭する時代の集落がありみられなくなってしまう。これは遺跡の未発見によるものと思われ，今後の調査が期待されるところである。なお，11世紀代として大新町遺跡などがあり，明らかにかまどをもつ竪穴住居跡は確認されていない。

12世紀代の遺跡として藤原氏一族の樋爪氏の居館に擬定されている比爪館遺跡もある。中世にはいると，集落遺跡は他の時代の遺跡と重複して偶然に検出される例が多いが，次第にその遺跡数は増してきている。志波城跡内の宮田地区や大宮遺跡などで，張り出しをもつ竪穴が検出されている。また城館は，その性格上丘陵や山地の縁辺に立地する例が多いが，沖積段丘上の館・松ノ木遺跡，中位砂礫段丘上の里館遺跡や大釜館推定地など微高地に立地する例もある。分布も隣接する尾根ごとや独立丘陵に設置された例がある。

**中　世**

中世史の盛岡周辺を概略すると，平泉藤原氏征討の後（1189）岩手郡厨河（くりやがわ）に工藤氏，北上河東に河村氏，岩手郡滴石（しづくいし）に戸沢氏，さらに糖部郡三戸に南部氏をおき，これら鎌倉御家人が地方の実質的な権力者となった。ただし，南部氏の存在が確認されるのは建武の新政の頃である。

なお，厨河工藤氏は安倍館（厨川城）を居城とし，工藤氏を本姓とする飯岡・煙山等の名から北上川以西を領していたと考えられており，また河東の河村氏は大巻城等を居城とし，やはり河村氏を本姓とする長岡（ながおか）・佐比内（さひない）・大萱生（おおがゆ）・乙部（おとべ）・日戸（ひのと）等の名から北上川以東を領有していたとされる。滴石戸沢氏は滴石城を居城としていた。この領有関係が崩れるのは室町時代で，河村氏が衰え，代わって斯波氏が斯波郡高水寺城（紫波町城山公園）を居城に勢力をふるい，北上川の東も現盛岡市街（およそ中津川が境か）以南を斯波氏，以北を南部氏に分割されたようである。厨河工藤氏の勢力範囲の南側も斯波氏に侵されたと思われる。

そして室町幕府が衰退して戦国時代にはいると，三戸南部氏が他を圧倒しはじめる。この頃盛岡周辺は，雫石盆地や雫石川以南が斯波氏の領有で，厨川工藤氏とも姻戚関係を結んでいた。

天文～天正年間は南部・斯波氏の抗争期であり，天正元（1573）年雫石斯波氏が太田館・大釜館を焼討，天正14（1586）年に雫石斯波氏滅亡，そして天正16（1588）年に高水寺城の斯波氏が滅び，南部氏が近世大名として幕末まで君臨することとなる。

城館遺跡の多くが時代を限定できず，また文献に乏しく，わずかに館遺跡周辺では猪去館や雫石館が斯波氏一族の猪去氏や雫石氏の居城に擬定され，斯波氏家臣が飯岡館に，多田氏が太田館に，多田氏の分流の大釜氏が大釜館に居を構えていたことが知られるのみである。

# Ⅱ 調 査 経 過

## 1 調査経過

市内上太田館及び松ノ木地内は以前から古代の土器が採集される遺跡として周知されていたところで，昭和51年以来，建物の建築にあたっては試掘調査及び基礎工事立会を実施しており，これまでに17次を数える（立会調査によって遺構が確認されなかった地点については調査次数から除いている）。

本調査としての最初の契機は，昭和53年に館遺跡地内に所在する大松院の墓地拡張計画が出され，同年秋に試掘した結果，多くの遺構・遺物が検出された事から翌54年に本調査（１次調査）を実施した。なお，調査は造成工事中に提出された事もあり，墓域東半部は未調査である。また，56年には再度の墓地拡張計画にもとづき，翌57年に本調査（第２次調査）を実施した。墓地に隣接する住宅の増築も計画され，第２次調査終了後の調査（第３次調査）とし，また大松院境内の池北西の土塁状高まりの性格を確認するため，トレンチ調査（第４次調査）も実施した。さらに59年には大松院境内の物置新築にかかる事前調査（第５次調査）を実施した。

松ノ木遺跡にかかる調査は，60年に小屋新築に伴う試掘調査を実施し，この結果にもとづき61年に本調査（第６次調査）を実施している。また平成元年には，遺跡南西部の小屋新築にともなう調査（第７次調査），２年度には南東部の住宅新築にともなう調査（第８次調査）を実施している。さらに付近一帯に農水省所管の農村総合整備モデル事業が導入され，環境基盤整備として，遺跡内外の市道部分に集落排水本管が敷設される事となった。この事業にともない周知の遺跡外を立会調査，遺跡内を本調査（９・10・11次調査）として実施し，この成果から遺跡の範囲をとらえる事ができた。３年度には松ノ木遺跡南側中央部の住宅新築（第12次調査）に対応している。なお，集落排水工事にともなう各家庭への埋設（枝）管も随時敷設されており，立会調査により遺構の有無の確認と保存に努めている。

これまでの調査によって，奈良・平安時代の遺構が館・松ノ木遺跡で検出されているが，１・２次と６・７次で確認した遺構には時間差を生じると考えられる。また中世以降，いわゆる太田館跡にともなう遺構として，１・２・３・５・６・８～11次で堀及び溝跡を検出している。なお，３次調査でみられるように３条の堀が重複しており，区画施設が幾度か変遷しているものの，館跡の範囲は東限及び南限が市道，西限が段丘境となり周囲と画される範囲，北限は微地形で水路を境として松ノ木地域が若干の低地となる。第６・８・９次でＳＤ008・013が検出されており，これを区画施設とすると，東西約200～220ｍ，南北110～150ｍの範囲としてとらえられる。

なお，第６・８・12次で規模の小さい中世以降の溝跡が数条検出されているが，時期は不詳である。一方，松ノ木遺跡の範囲及び遺構のあり方はこれまでの調査が，南半部に集中しているため北限が不明瞭であるが，東西約140～160ｍ，南北約200ｍと捉えられる。

## 2　平成10年度の発掘調査体制

| | | | |
|---|---|---|---|
| 総　　括 | 照井　紀典 | 盛岡市教育委員会文化課長 | |
| | 菊地　　誠 | 〃 | 課長補佐 |
| 事　　務 | 阿部　徳乃 | 〃 | 事務嘱託 |
| 事務・調査 | 八木　光則 | 〃 | 文化財主査 |
| | 似内　啓邦 | 〃 | 文化財主任 |
| | 室野　秀文 | 〃 | 文化財主任 |
| | 菊池与志和 | 〃 | 文化財主事 |
| | 津嶋　知弘 | 〃 | 文化財主事 |
| | 三浦　陽一 | 〃 | 文化財主事 |
| | 神原雄一郎 | 〃 | 文化財主事 |
| | 黒須　靖之 | 〃 | 文化財主事 |
| | 藤村　茂克 | 〃 | 文化財主事 |
| | 平澤　祐子 | 〃 | 文化財調査員 |

また，調査の実施及び整理にあたり下記の方々から多大な御援助と御協力をいただいた。御芳名を記して深く謝意を表する（敬称略）。

〈地 権 者〉

宗教法人大松院，有限会社斎藤工務店，盛岡市産業部農地林務課，上田浩久，熊谷安太郎，葛巻徳次郎，斎藤キヌ，斎藤正，沢口日出雄，附田鉄蔵，藤原孝雄

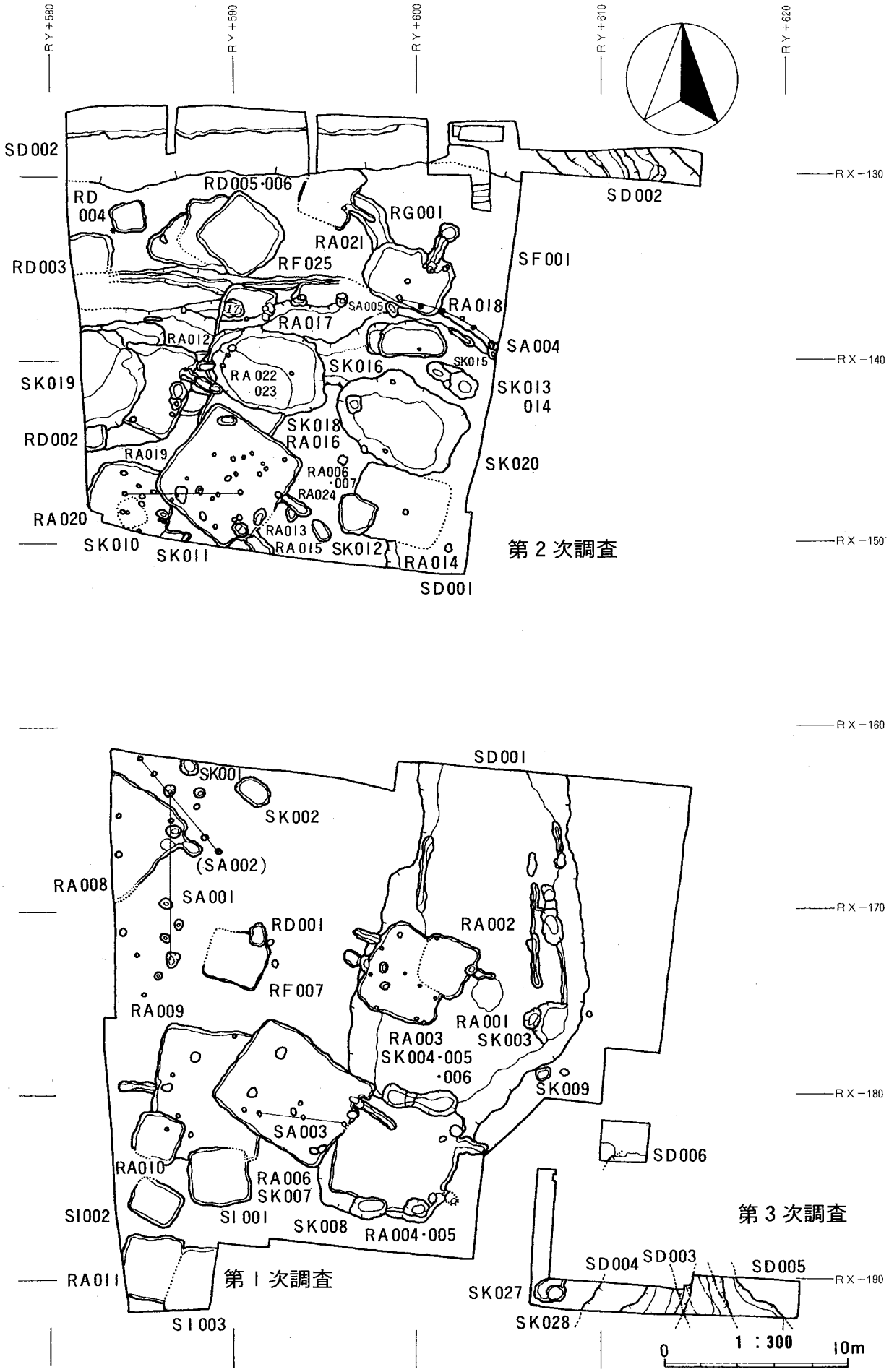
〈発掘調査〉

天沼キミエ，天沼節子，天沼芳子，天沼ヤエ，市岡治義，井上勝子，岩泉トキ，岩泉弘子，大坪富子，川村昭三，川口孔子，岸本久太，久保田広治，斎藤登，佐々木糸，佐々木敬子，佐々木静代，佐々木ツ子，佐藤ヒデ子，佐藤美智子，沢口三七三，玉沢友基，田貝キミ子，田貝恵子，高橋昭晴，高橋憲太郎，高橋貞子，田上敦子，田上スノ，田上ツカ，武田将男，竹花栄子，舘沢サノ，樋下六蔵，中村スミ子，中村トメ子，中村良子，中屋敷ケイ子，畠山テツ，畠山正孝，藤原カツ子，藤原キミヨ，藤原久子，藤原フミ，藤原貞子，藤原哲子，藤原裕子，藤原亮子，藤原ヤエ，南幅千代，武蔵照子，村上クニ，村上タイ子，村上信子，村上ルリ子，柳原トモ子

〈整理作業〉

小松愛子，藤田友子，内山陽子，中島京子，鹿野奈保美，藤原政人，芦垣直樹，天沼芳子，安藤稀環子，泉山紀代子，門島知一，北口智里，佐々木紀子，佐々木泰子，白澤和子，鈴木賢治，高橋ツヤ，竹花栄子，平野淑子，藤原美智子，藤田ひろみ，村山伊津子，百岡峰子，山下摩由美，米山徹

第３図　館・松ノ木遺跡全体図




第4図　館遺跡1・2・3次調査区全体図

# Ⅲ 調 査 内 容

## 1 遺構の検出状況

**遺構検出状況** 館遺跡の最初の調査の契機となったのは，遺跡の西半部のほぼ中央に所在している大松院境内の墓域拡張にともなう造成に対応した調査で，昭和53・54年度に計画され，全体の対象面積1,600㎡のうち144㎡を昭和53年10月に試掘調査を実施した。その結果，多量の遺構・遺物が検出された事から翌54年から本調査として実施したが，当初の予想に反して大規模な古代の集落で，さらに古代から中世，さらに近世までの遺構密度の高い複合遺跡であることが明らかになった。

遺構検出面は，層厚約20㎝の暗褐色を呈する耕作土及び５～10㎝の耕作土床土直下で，当時の生活面である遺構掘込面は既に削平されていた。また，既存の住宅にともなう撹乱が各所に及んでいる。

両遺跡で検出された遺構・遺物は，大きく古代・中世・近世にわかれ，古代の遺構の多くは，中世以降の竪穴や堀・溝跡などの遺構に削平されており，遺構の残存は良好ではなかった。また，中・近世の遺構の埋土は，主に黒褐色土であり，地山である黄褐色シルト層との違いは明確であるのに対し，古代の遺構埋土は，主にシルトとの区別は容易ではなく，精査は特に住居跡かまど火床面の赤く変色した焼土を手がかりに調査を進めた。

**検出遺構** 調査の結果，館遺跡第１・２・３・４・５・10・11次調査では，平安時代の竪穴住居跡23棟，竪穴１棟，土坑１基。中世以降～近世の遺構は，竪穴13棟，堀・溝跡７条，土坑８基，墓坑１基，柱列跡３条，土塁１条ほか柱穴多数を検出した。また，松ノ木遺跡第６・７・８・９・12次調査では，平安時代の竪穴住居跡13棟，土坑１基。溝跡２条。中世以降～近世の遺構は，堀・溝跡16条，土坑・墓坑２基を検出している。

## 2 館遺跡第１次調査出土遺物

### ＲＡ001竪穴住居跡出土遺物（第５図１～７）

**土 器** １は体部の上半を欠損するあかやき土器の坏である。２・３は，土師器の坏で内面は黒色処理され，さらに不定方向のヘラミガキを施す。４は体部の上半部を欠損する土師器の小形甕で，外面にはヘラケズリを施す。５は頸部と底部を欠損する歪みのある須恵器の甕で，外面には平行のタタキの後に上半部にカキメを施し，さらに下半部にヘラケズリを施す。また内面の上半部には横方向，下半部には縦方向のヘラナデを施す。６・７は体部から上半を欠損する土師器の甕底部で，６の内外面にはヘラナデ，７の外面にはヘラケズリを施す。

### ＲＡ002竪穴住居跡出土遺物（第５図８～13）

８はあかやき土器の坏で，ロクロからの底部の切り離しは，回転糸切り無調整である。９は体部の上半部を欠損する土師器の坏で，外面の体部下半部から底部全面にかけて手持ちのヘラケズリを施し，内面には黒色処理の後ヘラケズリを施す。10は体部下半から底部を欠損する須恵器の壷で，頸部外面には特徴的な段を有し，張りのない体部上半にはカキメ，内面にはヘラナデを施す。11は体部の下半から底部を欠損するあかやき土器の小形甕である。12は底部を欠損するあかやき土器の甕で，外面にはヘラケズリを施す。13～15は土師器の甕である。13は体部の下半部を欠損しており，内外面にはハケメを施す。14は頸部が窄まる特異な器形で，口縁部の内外面にはヨコナデ，体部内外面にはヘラナデを施す。15は体部上半を欠損しており，体部外面にはヘラケズリ，内面にはハケメの後，ヘラナデを施す。 **土　器**

### ＲＡ003竪穴住居跡出土遺物（第６・７図１～25）

１は須恵器の坏。２～６は，あかやき土器の坏で，ロクロからの底部の切り離しは不明な５と６を除いて全て糸切り無調整である。７～11は土師器の坏で７の体部下端と底部全面には回転ヘラケズリを施す。また，８の体部下端と底部周縁には手持ちのヘラケズリを施し，９は体部下端のみに手持ちのヘラケズリを施す。10・11は底部だけの破片である。いずれも，内面は黒色処理され，さらにヘラミガキを施す。12は土師器の高台付坏で，体部の内外面にヘラミガキを施し，内面には黒色処理が施される。13・14はあかやき土器の小形甕で，体部から下半を欠損する。15・16・17はあかやき土器の長胴甕で，やはり体部の下半から底部を欠損する。なお，16の外面体部にはヘラケズリが施される。18はロクロ未使用の土師器の小形甕で，外面の頸部から体部下端と底部全面にヘラケズリを施し，内面にはハケメを施す。19は体部上半と底部に分かれるものの，同一個体の土師器の甕である。口縁部の内外面はヨコナデ，外面はヘラナデの後にヘラミガキを施すが，内面には横位の丁寧なヘラナデを残している。20は頸部から上半を欠損しているものの，長頸または短頸の瓶と考えられる須恵器で，ハの字に開く脚部を持つ。最大径は体部中央のやや上方に持ち，外面体部にはカキメの後ヘラケズリを施す。 **土　器**

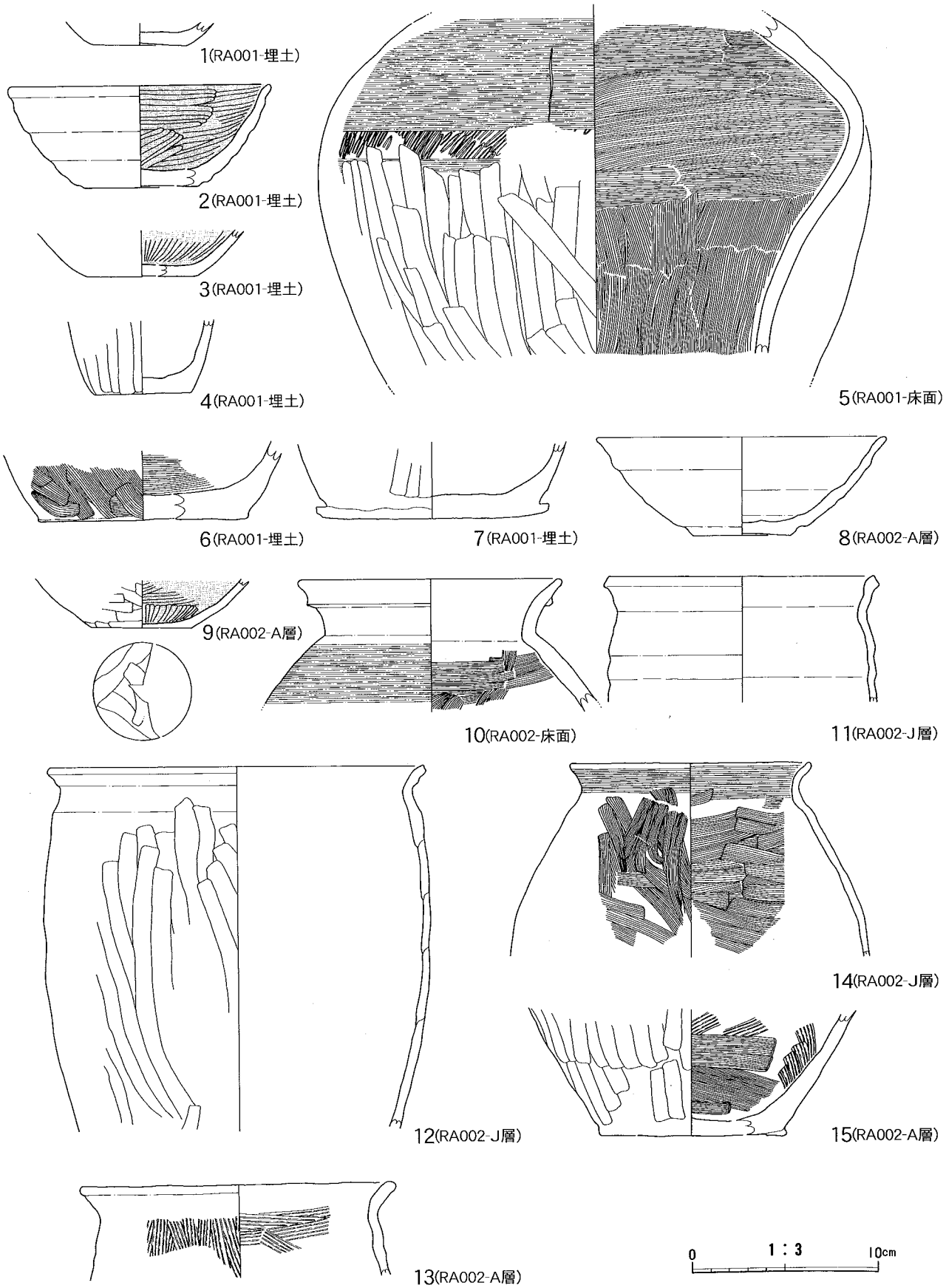
21は切先と茎を欠損する鉄製の刀子。22は鉄製の鑓鉋である。 **鉄製品**

23・24・25は砥石で，23は安山岩製。24は細粒砂岩製。25は泥岩製である。 **石製品**

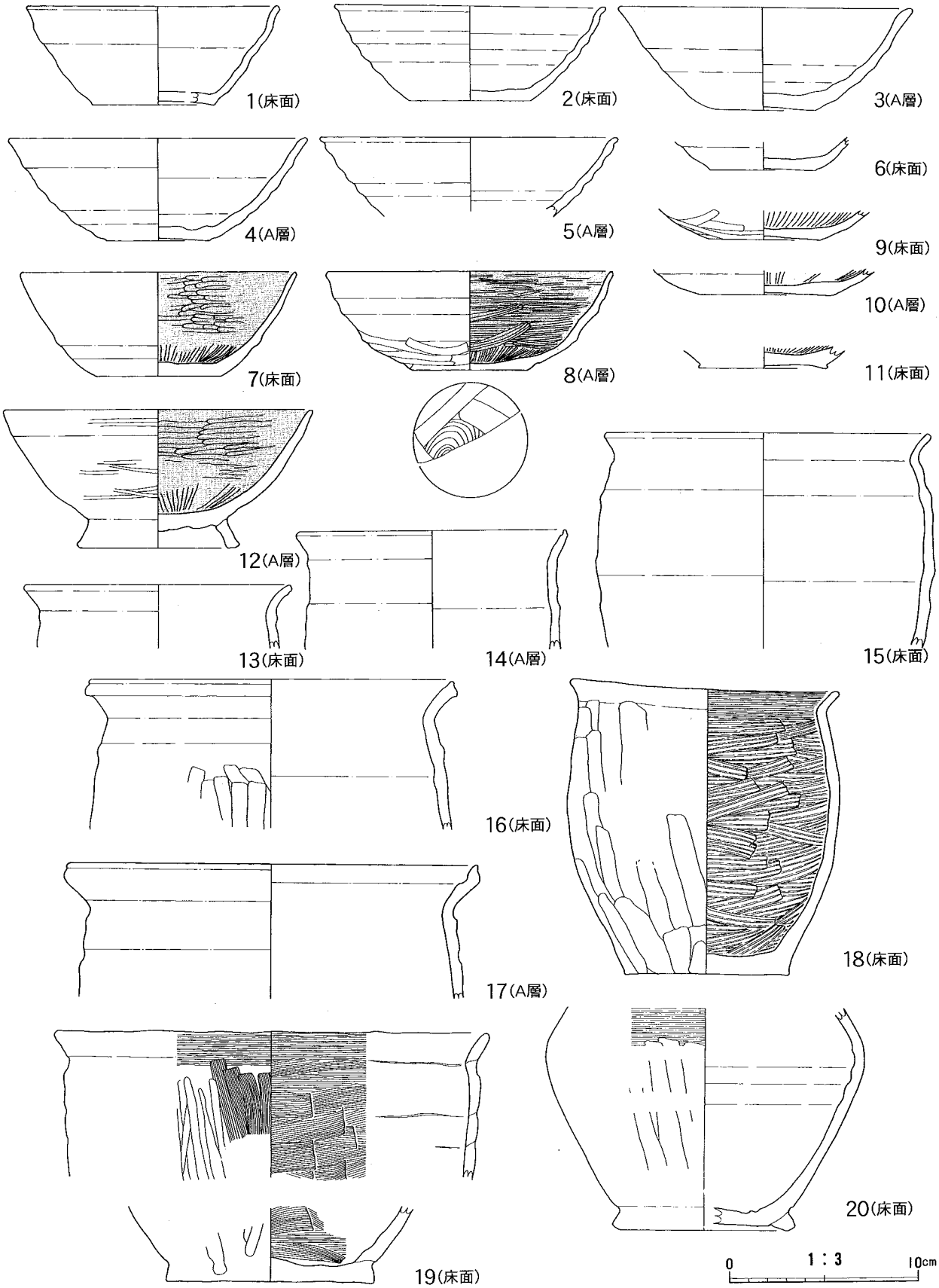
### ＲＡ004竪穴住居跡出土遺物（第８図１～16）

１・２・３は須恵器の坏で１以外は欠損している。なお，１・３の底部切り離しは回転糸切り無調整である。４・５・６はいずれもあかやき土器の坏で，底部切り離しは回転糸切り無調整である。７・８は須恵器の壷で，７の体部内外面にはカキメが施されており，外面上半には平行タタキが残る。また，８の内外面にもカキメが施され，体部外面にはさらにヘラケズリが施される。９・11はあかやき土器の小形甕で，11の底部は回転糸切り無調整である。10・12はあかやき土器の長胴甕。13・14は土師器の甕である。13の口縁部の内外面はヨコナデで，外面体部はヘラミガキ，内面にはヘラナデが施される。また，14は体部外面から底部全面にかけてヘラケズリを施す。 **土　器**

15は箭頭部を欠損する鏃。16は腐食が著しいが穂摘具と考えられる。 **鉄製品**




第５図　館遺跡第１次調査RA001・002竪穴住居跡出土土器

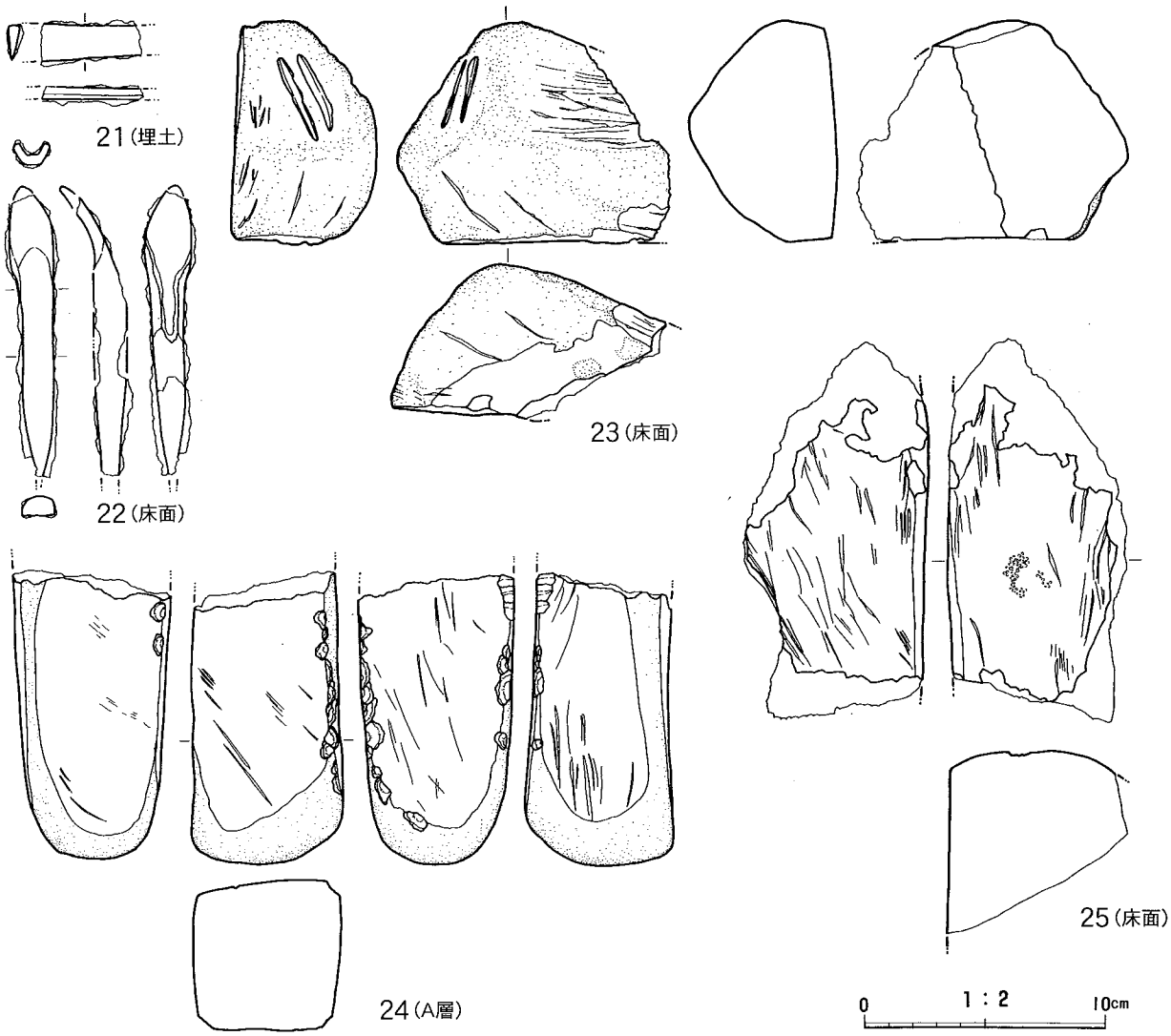



第６図　館遺跡第１次調査RA003竪穴住居跡出土土器

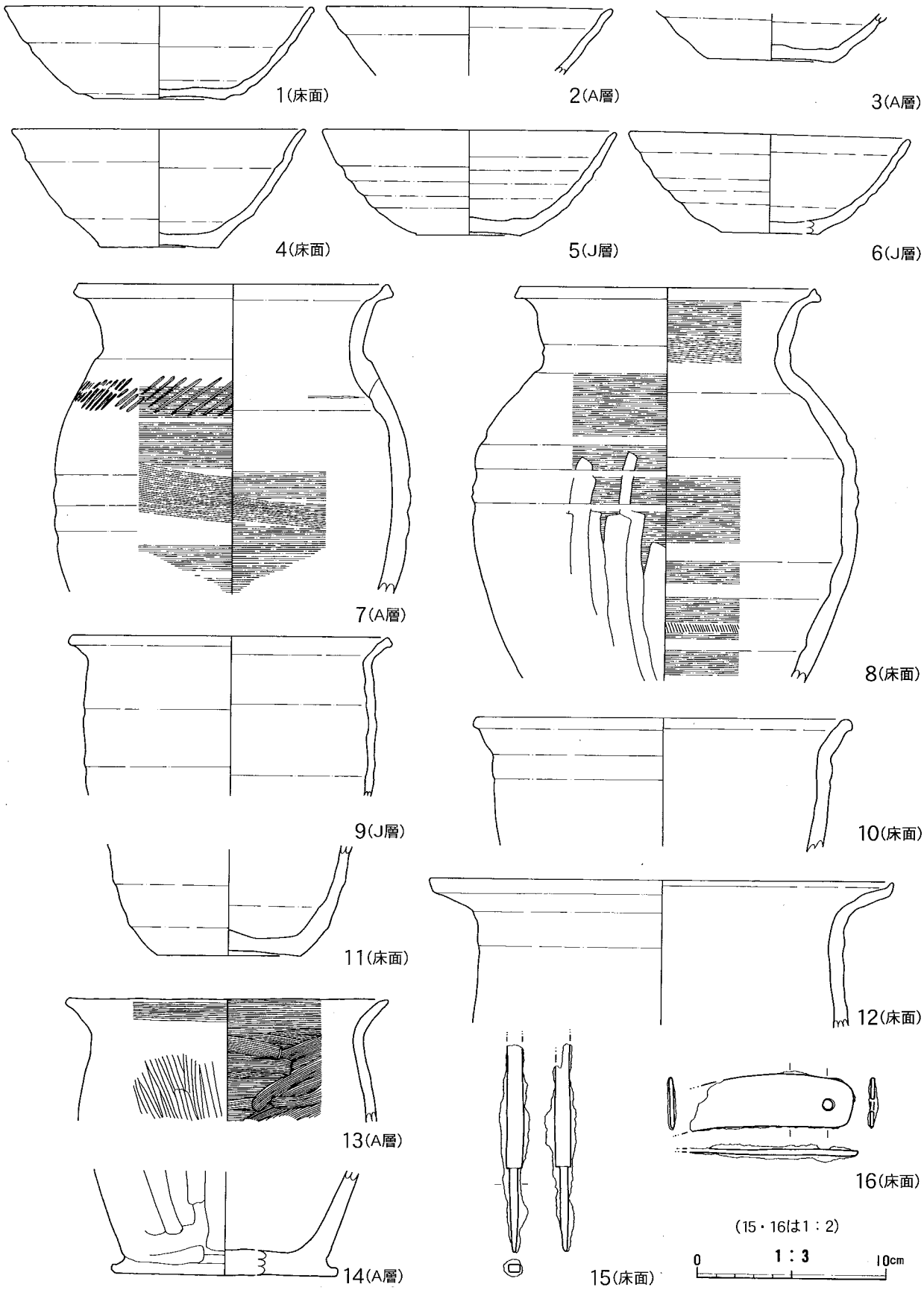
## ＲＡ005竪穴住居跡出土遺物（第９・10図１～31）

**土　器**　１・２・３・４は底部切り離しが回転糸切り無調整の須恵器の坏である。５～16は，いずれもあかやき土器の坏で，底部が残る坏は糸切り無調整である。17～19は土師器の坏で，内面は黒色処理され，さらに丹念なヘラミガキが施されている。なお，18・19の底部は回転糸切り無調整である。20～22は須恵器の甕で，21の体部内外面には平行タタキ。22の体部外面にも平行タタキが施されるが，内面は青海波文のアテ工具を用いている。なお，20はにぶい赤褐色を呈するのに対して，21・22は暗青灰色を呈する。23はあかやき土器の盌埦で，体部下端に手持ちのヘラケズリを施す。なお，底部は回転糸切り無調整である。24～29は，土師器の甕である。24・27は口縁部内外面はヨコナデで，体部内外面にはヘラナデを施す。25は全体に摩滅しているものの，外面体部に部分的にヘラミガキが施される。26は体部外面が摩滅しているもののヘラミガキ，内面にはヘラナデが施される。また，28は外面が摩滅しており，内面にのみヘラナデが認められる。29はやや粗雑な造りで体部外面にヘラケズリを施す。

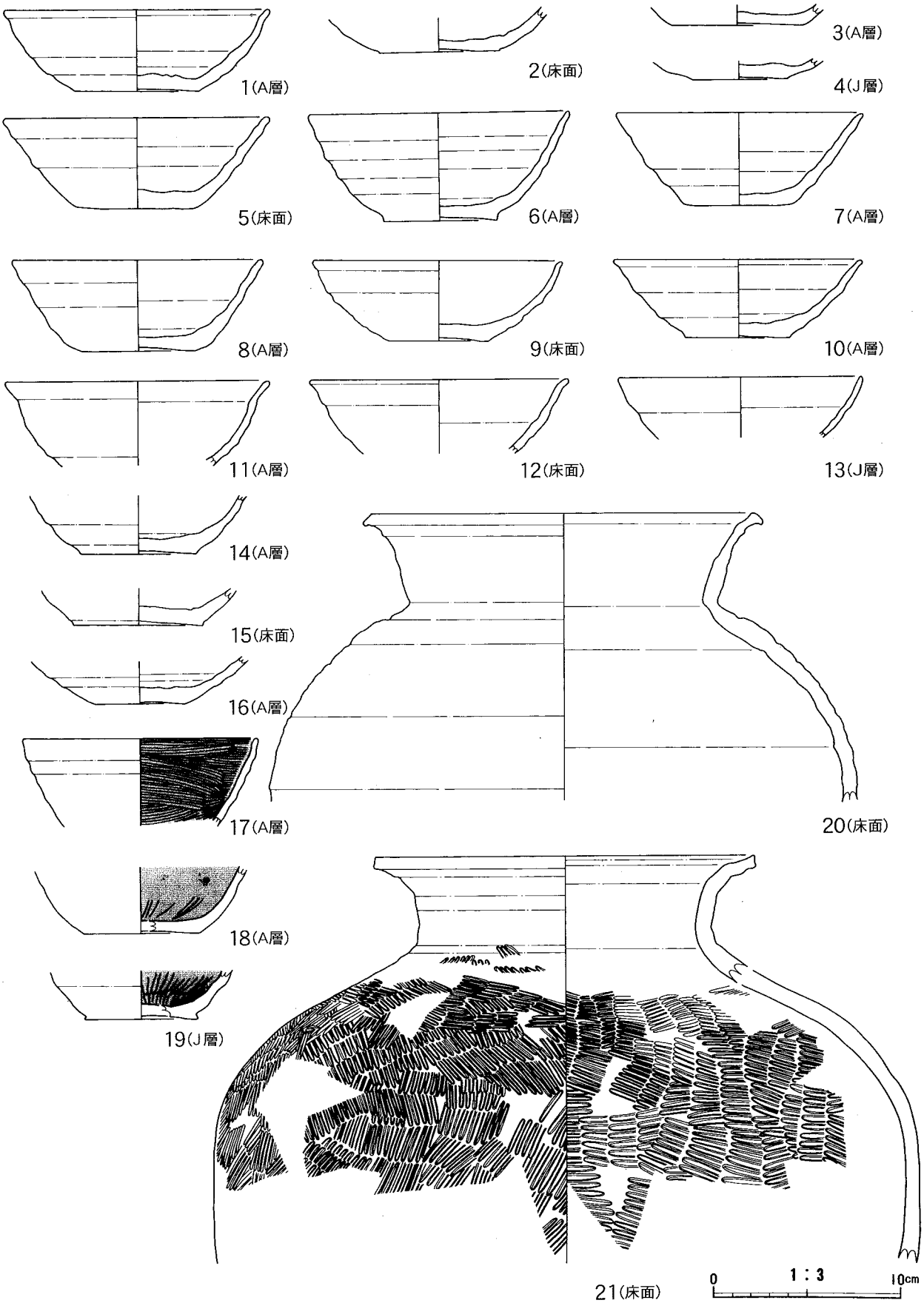
**鉄製品**　30は逆刺を有する鏃で，箆被から茎を欠損する。31は穂摘具である。



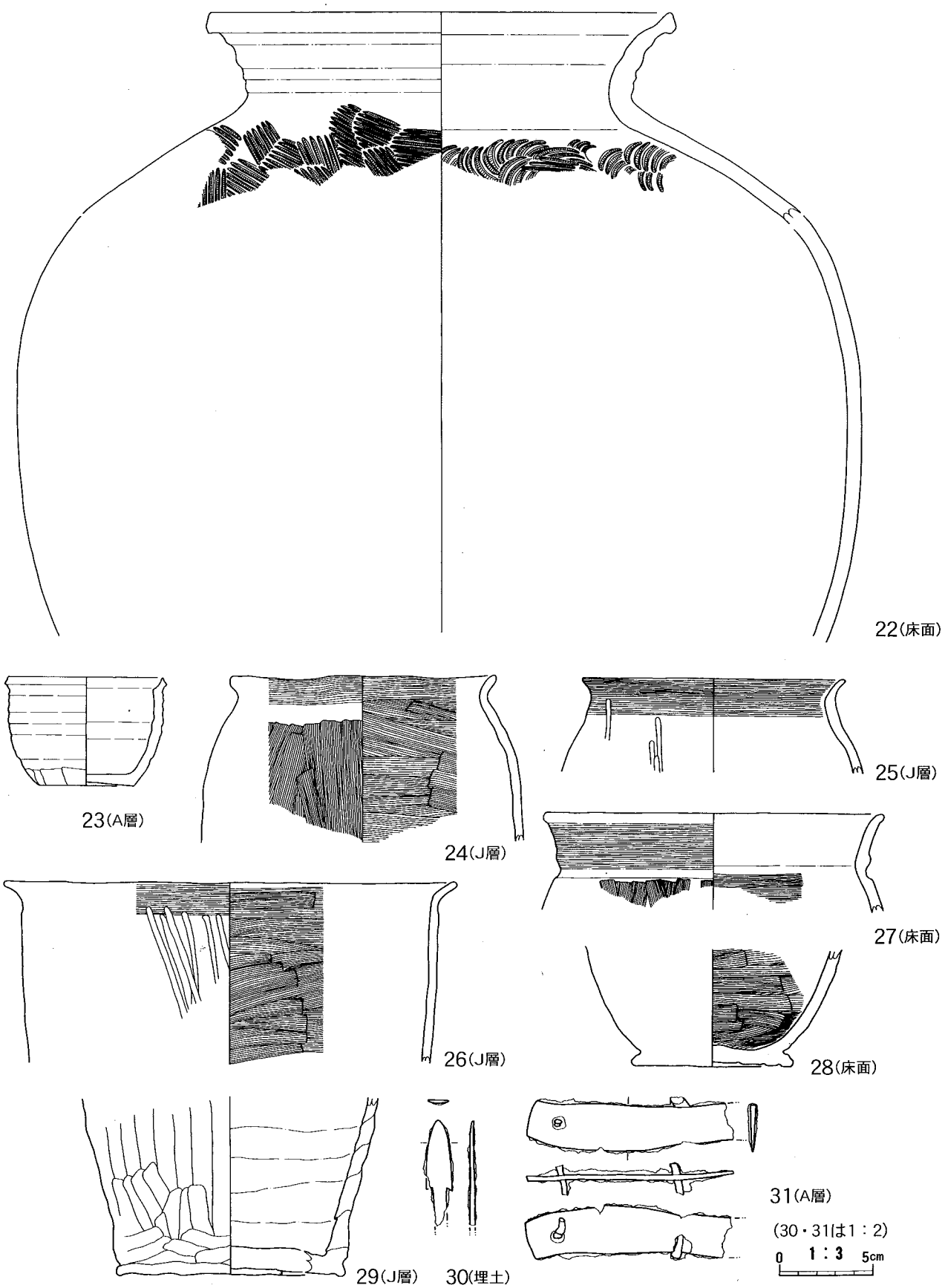

第７図　館遺跡第１次調査RA003竪穴住居跡出土鉄製品、石製品




第８図　館遺跡第１次調査RA004竪穴住居跡出土土器、鉄製品




第９図　館遺跡第１次調査RA005竪穴住居跡出土土器（1）




第10図　館遺跡第１次調査RA005竪穴住居跡出土土器(2)、鉄製品

### ＲＡ006竪穴住居跡出土遺物（第11・12図１～43）

**土　器**　１・２・３・４・５は，須恵器の坏である。１の底部切り離しはヘラ切り無調整で，５以外は糸切り無調整となっている。６・７・８・９・10・11・12・13・14は，あかやき土器の坏で，底部が残存するものは，いずれも糸切り無調整である。15・16はあかやき土器の高台付坏である。17・18・19・20は，土師器の坏である。いずれの内面は黒色処理され，ヘラミガキが施されている。なお，17の体部外面下半部には「上」の文字が刻書されている。21は高台を持つ須恵器の甕で，外面体部と底部はヘラナデ，内面はハケメが施される。22は土師器の鉢で，体部下半から底部全面にかけては手持ちのヘラケズリ，内面は黒色処理の後にヘラミガキを施す。23・24・25・26は，あかやき土器の小形甕で，24・25の底部は回転糸切り無調整である。27は土師器の小形甕で全体に摩滅が著しい。28・29は，あかやき土器の甕で，29の体部外面にはヘラケズリが施される。30・31・32・33は土師器の甕である。30・32の内外面はヘラナデ，31の外面にはヘラケズリ，内面にはヘラナデが施される。また，33の外面はヘラケズリ，内面にはハケメが施される。

**鉄製品**　34・35は刀子。36・37・38・39・40・41は逆刺を有する鏃。42は穂摘具である。43は鑓鉋か釘の残決の可能性がある。

### ＲＦ007竪穴出土遺物（第13図１～３）

**土　器**　１・２・３は，いずれも底部切り離しがヘラ切り無調整の須恵器の坏である。色調は，１が浅黄色。２が灰白色。３が灰色を呈する。

### ＲＡ008竪穴住居跡出土遺物（第13図４・５）

**土　器**　４・５はいずれも須恵器の坏である。底部切り離しは，４がヘラ切り無調整。５が回転糸切り無調整である。

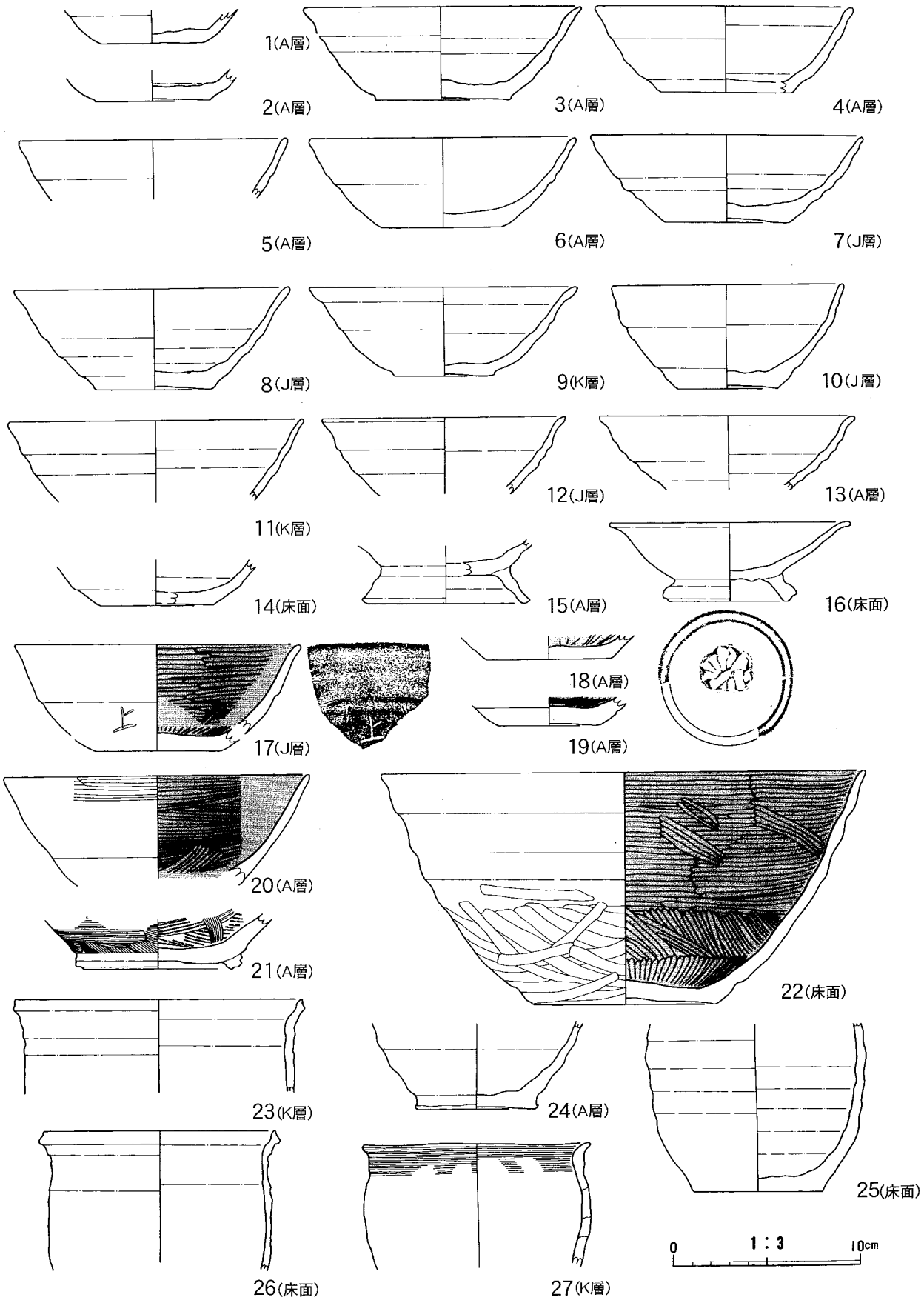
なお，色調は４が明緑灰色。５が灰オリーブ色を呈する。

### ＲＡ009竪穴住居跡出土遺物（第14・15図１～16）

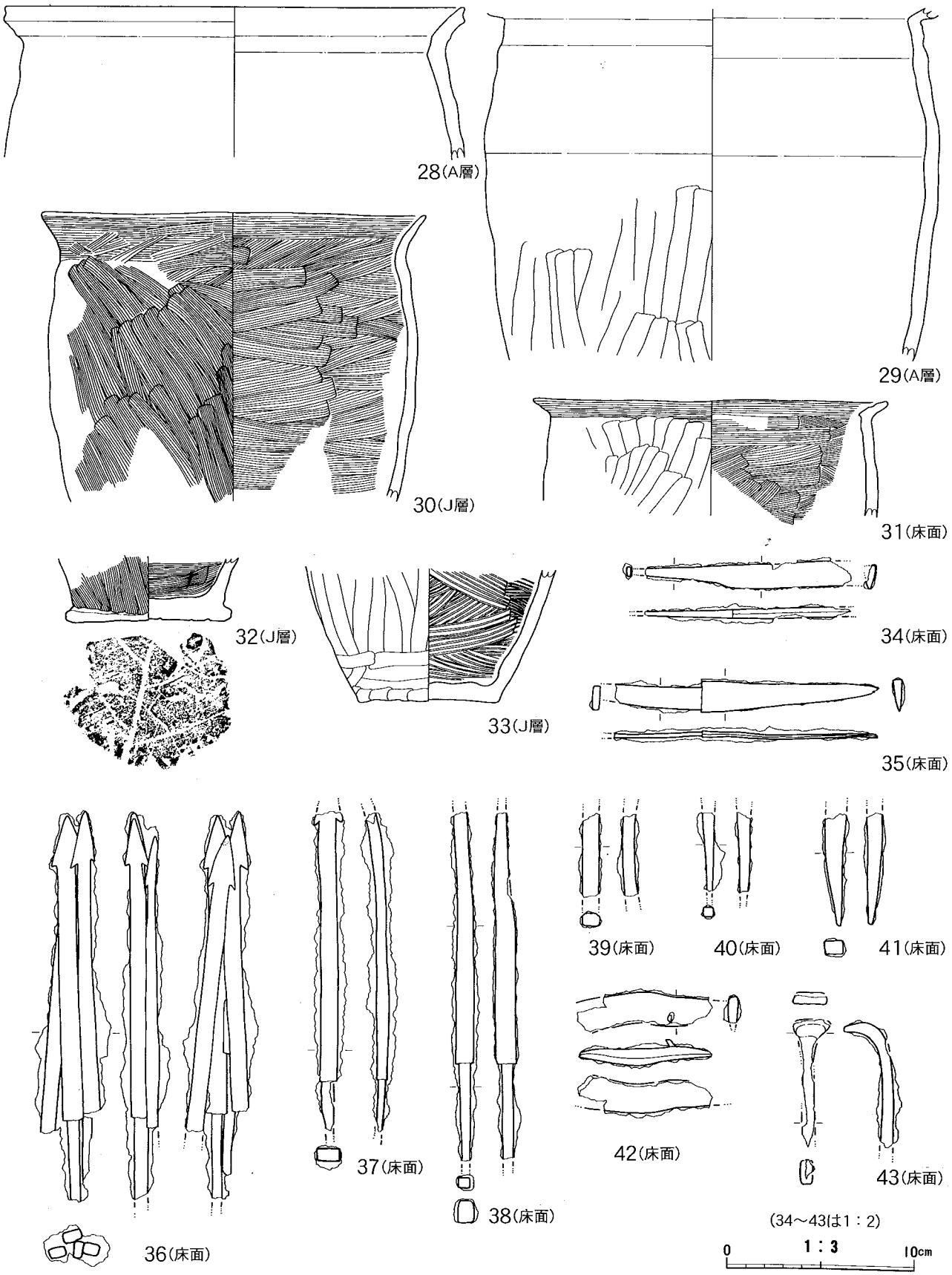
**土　器**　１・２・３・４・５・６は，須恵器の坏。７・８・９・10・11・12は，あかやき土器の坏で，いずれも底部切り離しは回転糸切り無調整である。13・14はともに土師器の坏である。13の内面は黒色処理され，この内面と外面口縁部だけにヘラミガキが施される。15は，あかやき土器の小形甕で，外面体部から下端にかけてヘラケズリが施される。16は須恵器の甕で，外面体部には平行タタキ，内面には蓮遇文のアテ工具痕が認められる。

### ＲＡ010竪穴住居跡出土遺物（第16図１～７）

**土　器**　１はあかやき土器の坏で，底部の切り離しは回転糸切り無調整である。２は土師器の高台付坏で外面体部下端にヘラケズリを施す。３はあかやき土器の甕で，外面体部にヘラケズリを施す。４・５・６・７は土師器の甕で，４・５の外面体部はヘラケズリ，内面にはヘラミガキを施す。６は口縁部内外面にヨコナデ，体部内外面にはヘラナデを施す。７は内面だけにヘラミガキを施す。




第11図　館遺跡第１次調査RA006竪穴住居跡出土土器(1)




第12図　館遺跡第１次調査RA006竪穴住居跡出土土器(2)、鉄製品

### ＲＡ011竪穴住居跡出土遺物（第16図８～14）

８は須恵器。９・10はあかやき土器。11は土師器の坏。12はあかやき土器の小形甕で，いずれも底部切り離しは回転糸切り無調整である。13は須恵器の長頸瓶で，体部外面にヘラケズリを施す。14はあかやき土器の甕で，やはり体部外面の下半にヘラケズリを施す。 **土　器**

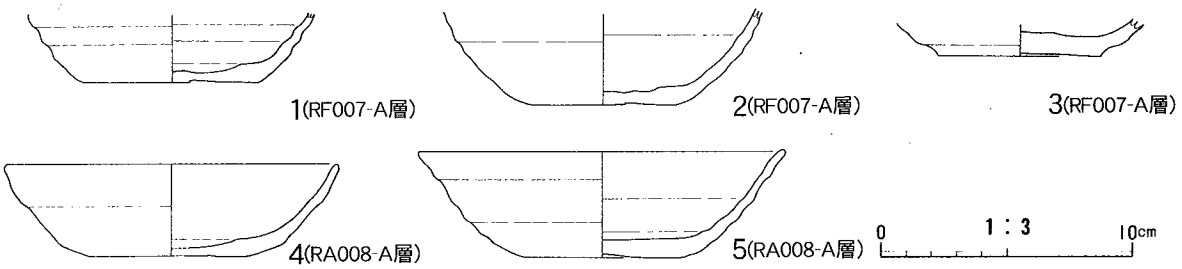
### ＲＤ001土坑出土遺物（第17図１）

１は土坑の底面から出土した土師器の甕で，口縁部内外面はヘラナデ。体部内外面にヘラナデを施すが，内面頸部と体部下半にハケメを施す。 **土　器**

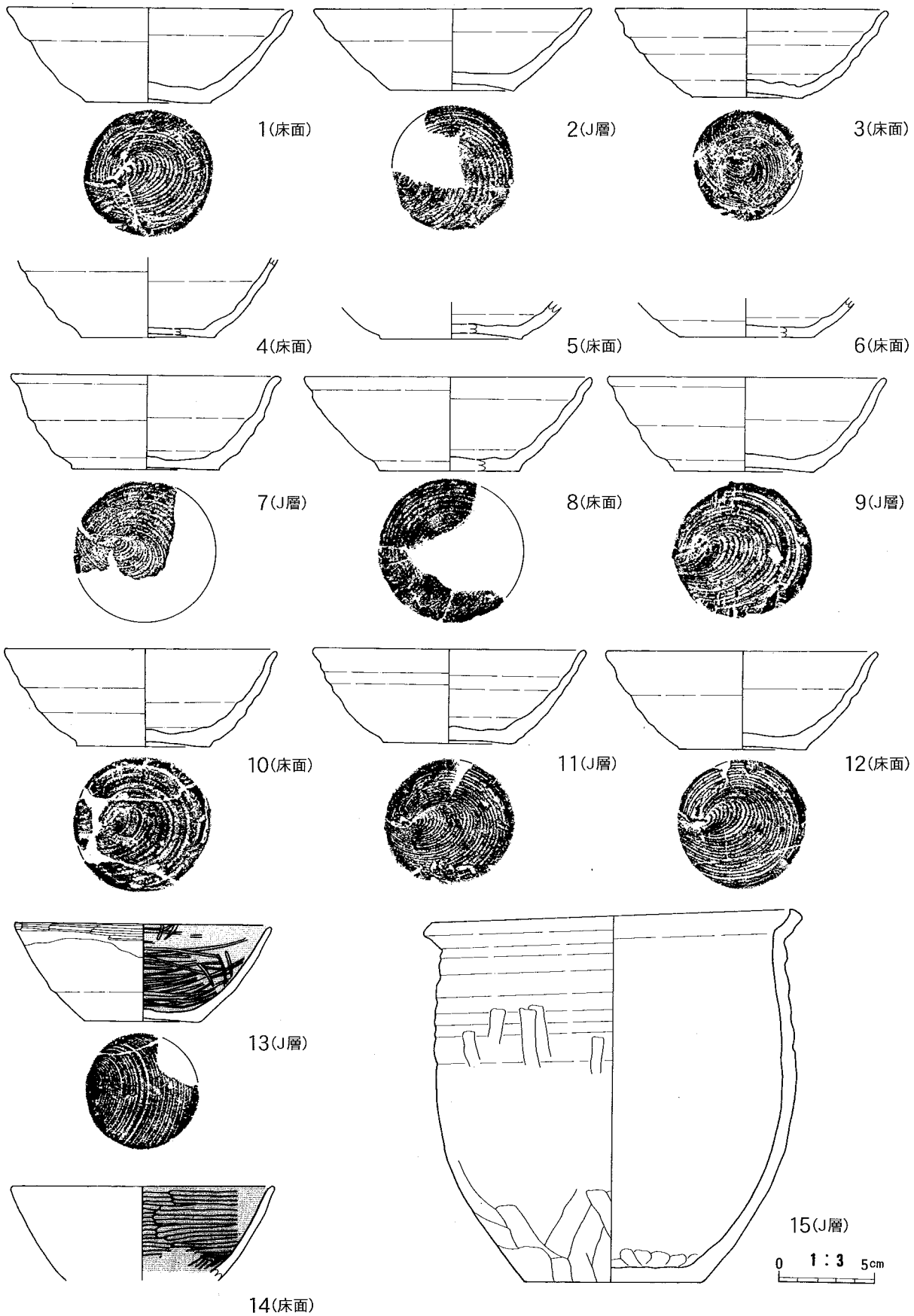
### 遺構外出土遺物（第17図２～26）

古代の遺構以外では中世の竪穴や溝跡，さらに表土中からも古代の遺物が出土している。２は，リング状のツマミを有する須恵器の蓋である。３・４・５は須恵器の坏。６・７・８・９はあかやき土器の坏。10・11・12・13は土師器の坏である。底部がない12以外の底部切り離しは回転糸切り無調整で，11の体部下端には手持ちのヘラケズリが施される。14・15は須恵器の高台付坏。16・17はあかやき土器の高台付坏である。19はあかやき土器の小形甕。18・20はあかやき土器の甕で，いずれも底部を欠損している。21・22・23・24は土師器の甕である。21の外面体部はヘラケズリ，内面はヘラナデ。22の内外面はハケメの後にヘラナデ。23の外面はヘラケズリ，内面はハケメの後にヘラナデ。24の内外面にはハケメが施される。 **土　器**

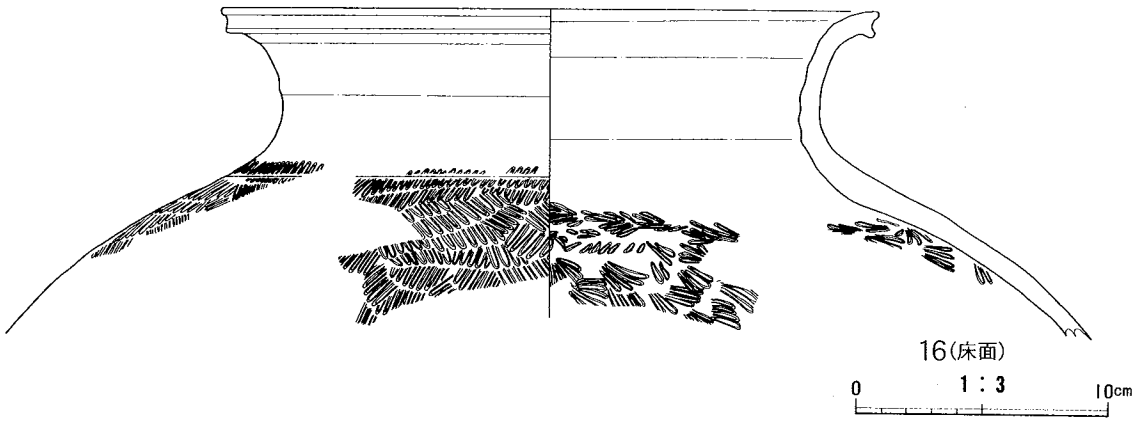
25は箭頭部と茎尻を欠損する鏃。26は鎌である。 **鉄製品**



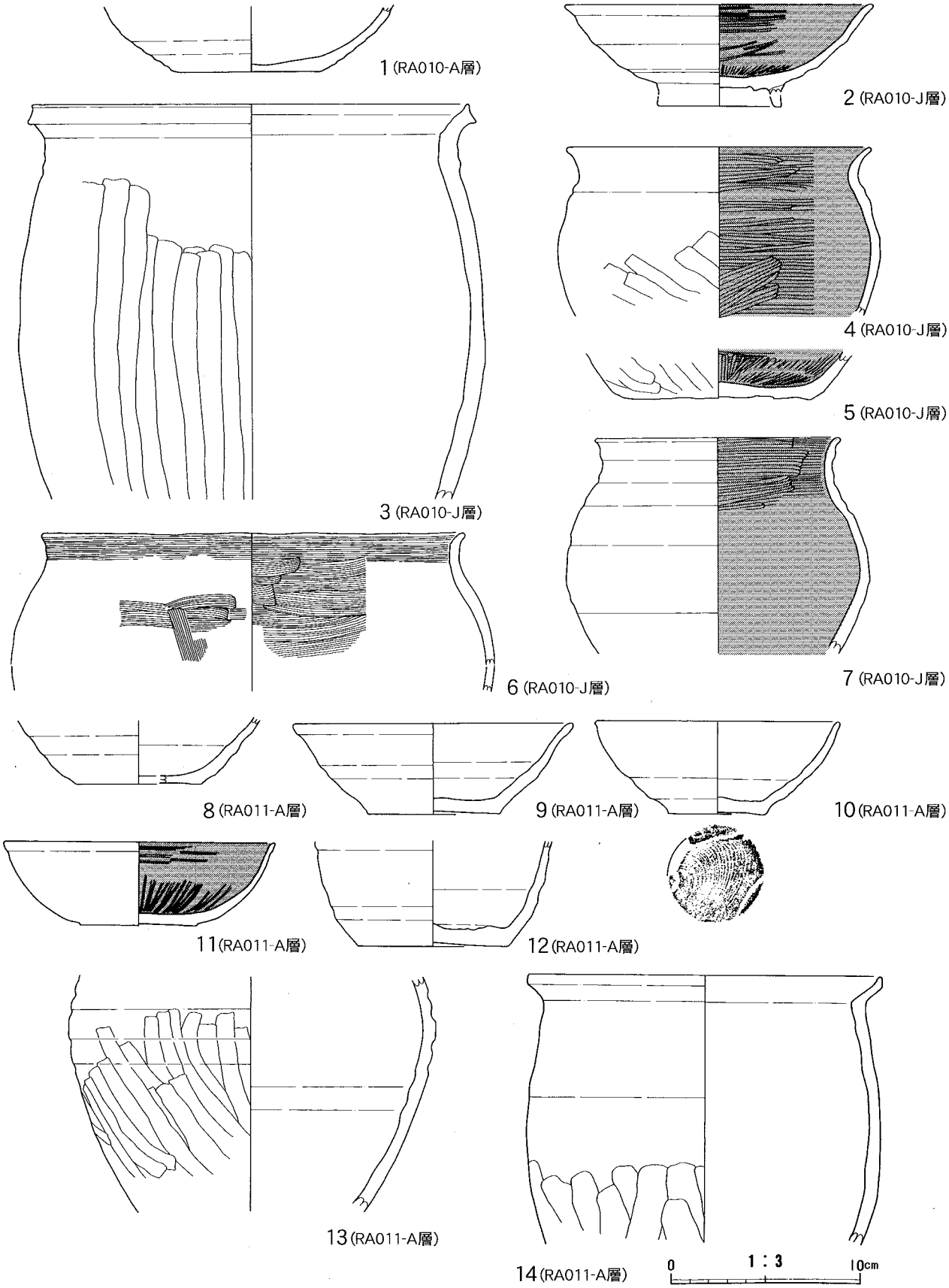

**第13図　館遺跡第１次調査RF007竪穴・RA008竪穴住居跡出土土器**



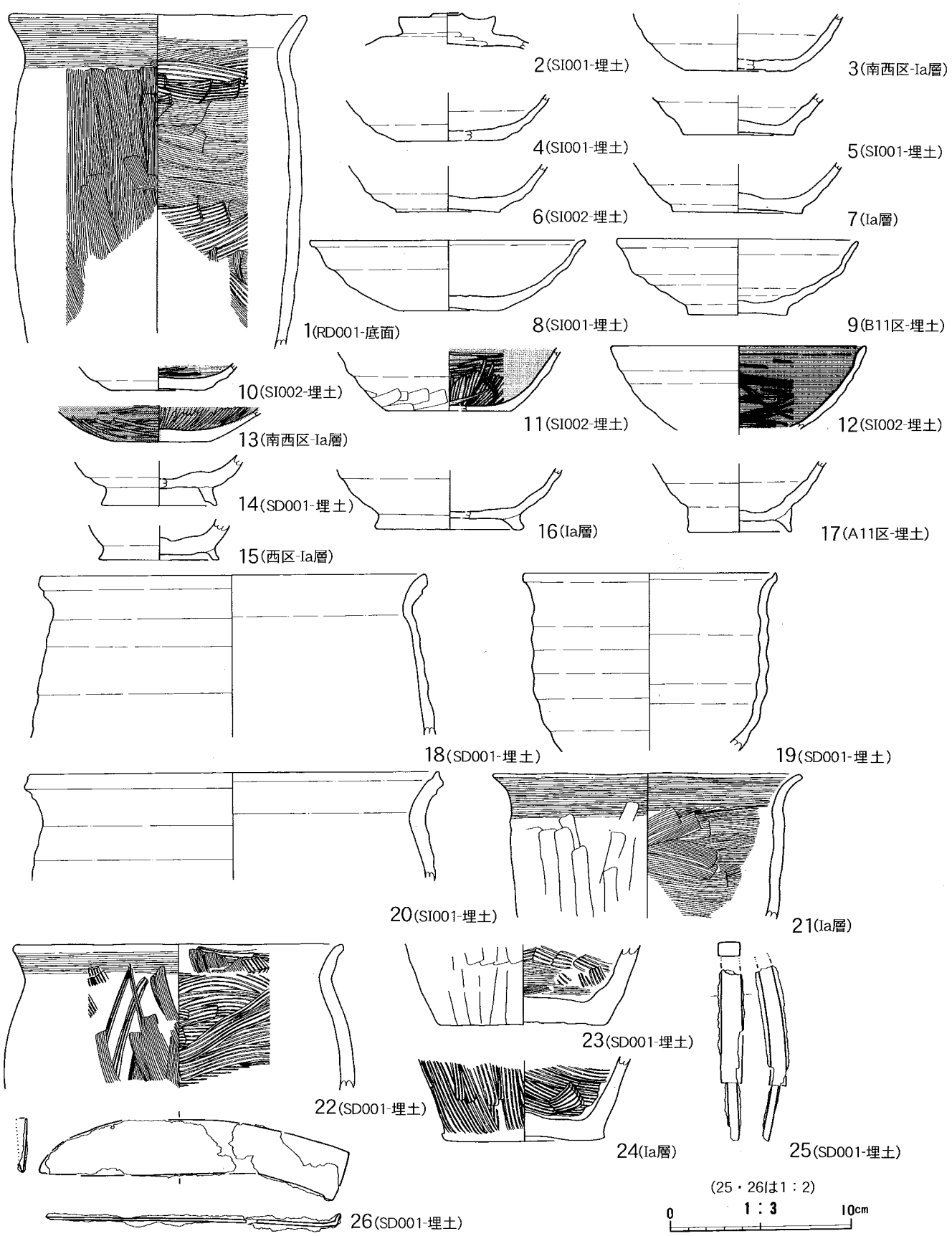

第14図　館遺跡第１次調査RA009竪穴住居跡出土土器(1)




第15図　館遺跡第１次調査RA009竪穴住居跡出土土器(2)




第16図　館遺跡第１次調査RA010・011竪穴住居跡出土土器




第17図　館遺跡１次調査RD001土坑、遺構外出土土器、鉄製品

## 3　館遺跡第２次調査出土遺物

### ＲＡ012竪穴住居跡出土遺物（第18・19図１～35）

**土　器**　１・２は須恵器の坏。３・４・５・６・７・８・９・10・11・12・13・14・15・16・17・18・19・20は，あかやき土器の坏。21・22・23・24・25は，土師器の坏で，いずれも底部の切り離しは回転糸切り無調整である。なお，22の体部下端には手持ちのヘラケズリ調整を施す。26は脚部と口縁部を欠損する土師器の高台付坏で，体部がやや外反する特徴をもつ。27・28はあかやき土器の小形甕で，外面体部には断面Ｖ字状の工具を用いた４条の沈線が施す。なお，28の底部切り離しは糸切り無調整である。29・30・31・32・33・34は，土師器の甕である。器面調整は，29の外面が単位の粗いハケメの後にヘラケズリ，内面はハケメ。30の外面はハケメの後にヘラケズリで，内面がヘラナデ。31の外面は摩滅しているもののヘラナデで，内面はハケメ。32は内外ともヘラケズリ。33は内外面はともにヘラナデ。34の外面はヘラケズリ，内面はヘラナデを施す。

**ミニチュア土器**　35はミニチュア土器で，内外面にはヘラナデを施す。

### ＲＡ013竪穴住居跡出土遺物（第20図１～22）

**土　器**　１・２・３は須恵器の坏。４・５・６・７・８・９・10・11・12は，あかやき土器の坏。13・14・15は土師器の坏。16は土師器の埦である。底部の切り離しは回転糸切り無調整で，15は体部中位から下端，16は体部下端のみに回転のヘラケズリ調整を施す。17・18は，あかやき土器の小形甕である。19・20は土師器の甕で，ともに体部の外面はヘラケズリ，内面はヘラナデを施し，19は体部中位に最大径を持つ特徴ある器形である。

**鉄製品**　21・22は腐食の著しい鉄製品で，21は湾曲度から鑓鉋か雁又鏃の可能性がある。また，22は断面が弧状を呈する断片で，中央には１口の貫通孔が穿たれている。

### ＲＡ014竪穴住居跡出土遺物（第21図１～３・21）

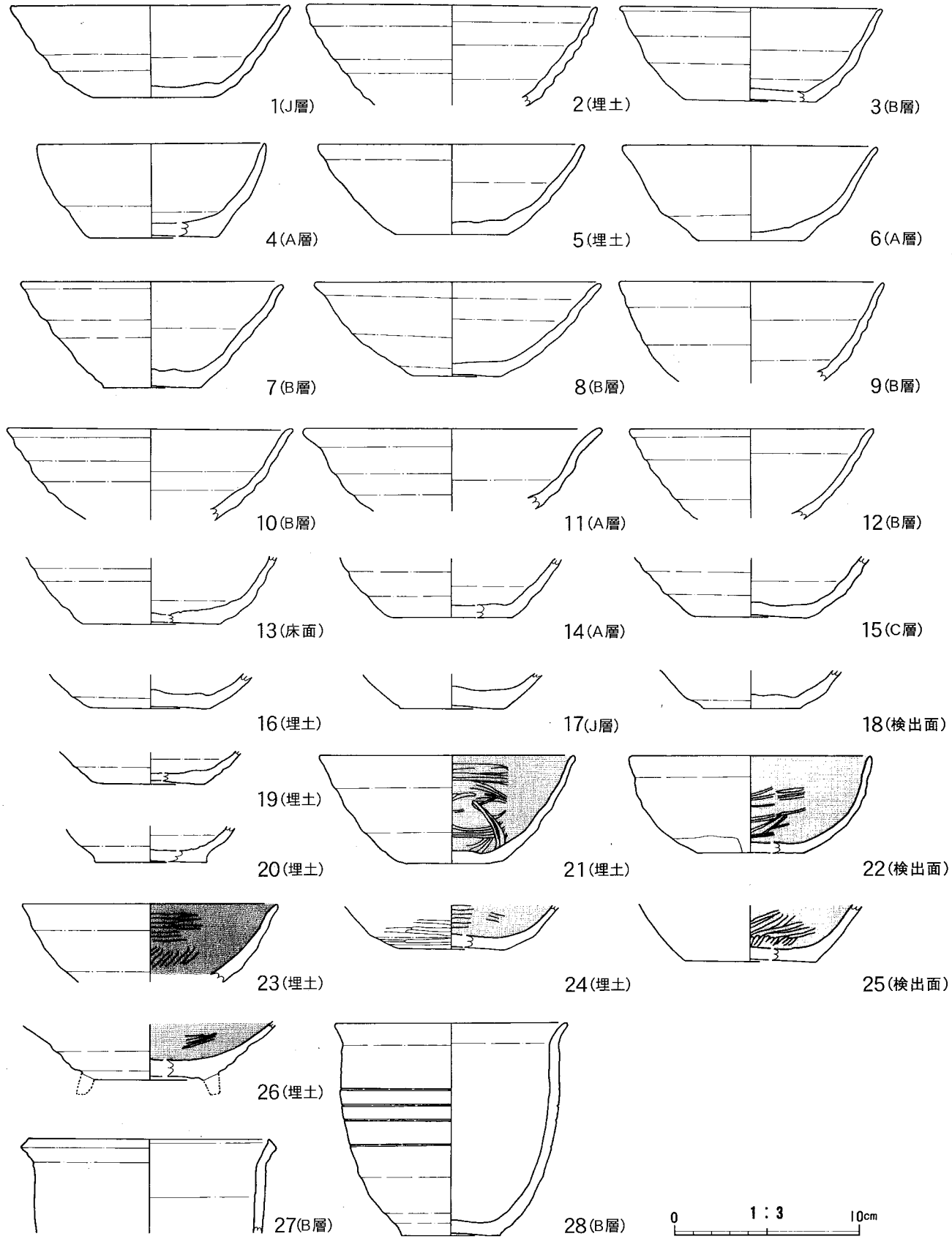
**土　器**　１は須恵器。２はあかやき土器の坏で，底部の切り離しは回転糸切り無調整である。３は須恵器の高台付埦で，底部は回転糸切り後に高台接合部だけに工具によるナデ調整を施す。

**鉄製品**　21は切先と茎を欠損する刀子の破片である。

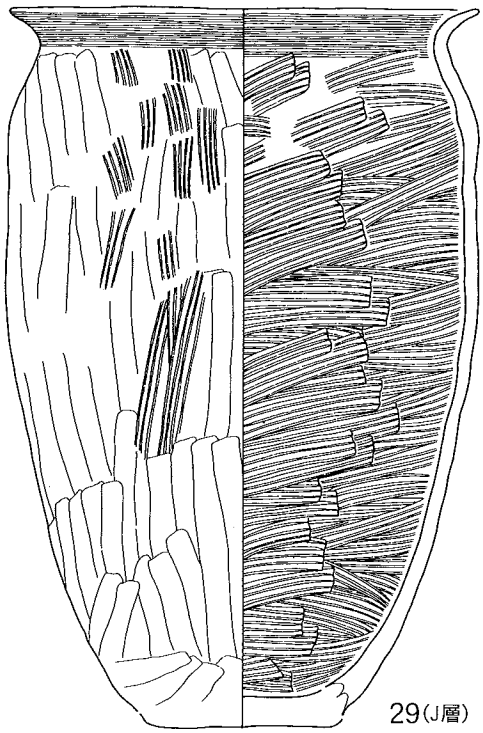
### ＲＡ015竪穴住居跡出土遺物（第21図４～13・22）

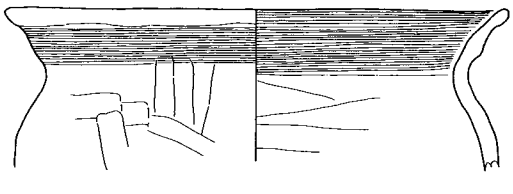
**土　器**　４は須恵器の坏。５・６はあかやき土器の坏で，ともに回転糸切り無調整である。７は土師器の高台付坏である。８は手づくね様の土師器の盌埦で，体部外面はヘラケズリ，内面には部分的にヘラナデを施す。９はあかやき土器の小形甕。10は須恵器の長頸瓶の口縁部の破片である。11・12・13は土師器の甕で，器面調整は11の体部外面がハケメの後にヘラケズリ，内面はハケメ。12が内外面ともにハケメ。13は内面のみにハケメを施す。

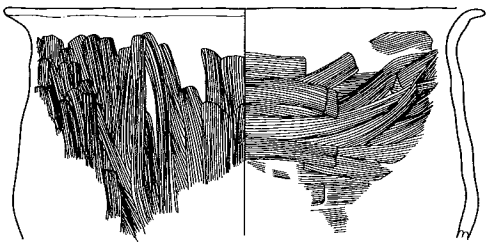
**鉄製品**　22は断面が長方形を呈する棒状の鉄製品で，鏃の可能性もある。

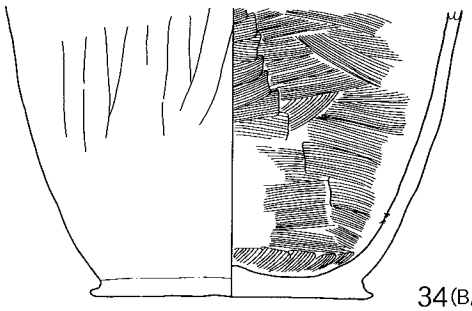


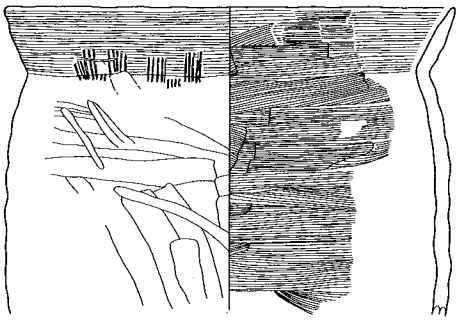

第18図　館遺跡第２次調査RA012竪穴住居跡出土土器(1)

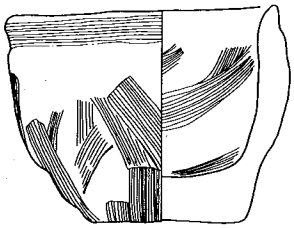


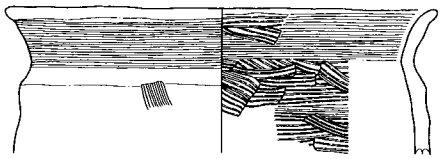



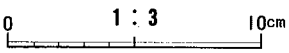



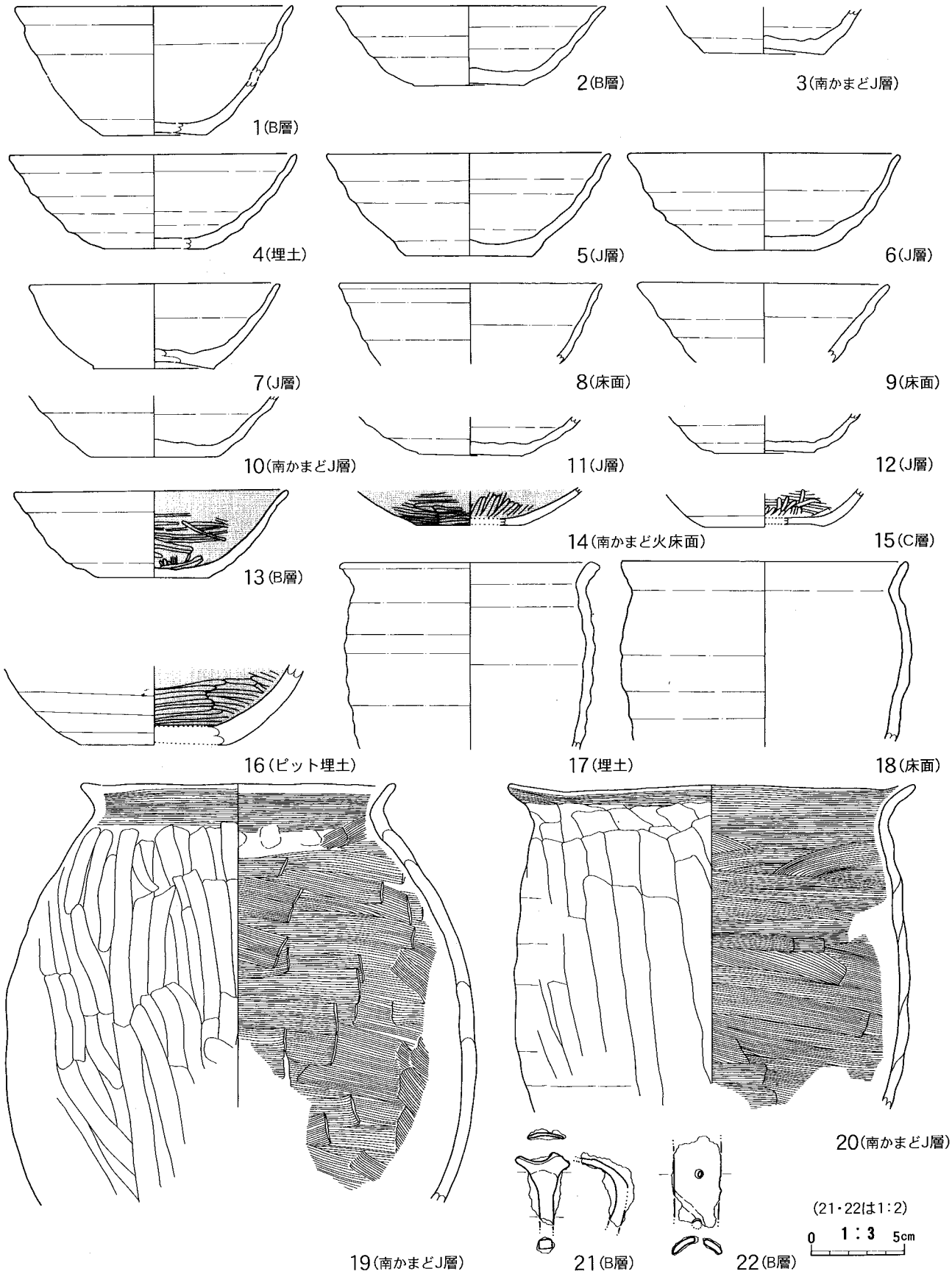




(35は1:2)




第19図　館遺跡第２次調査RA012竪穴住居跡出土土器(2)




第20図　館遺跡第２次調査RA013竪穴住居跡出土土器、鉄製品

### RA016竪穴住居跡出土遺物（第21図14～20）

土　器　14はヘラ切り無調整の須恵器坏。15・16は，底部が回転糸切り無調整のあかやき土器の坏。17が大形の土師器の坏で底部は糸切り無調整し，体部下端に回転のヘラケズリ調整を施す。18は須恵器の長頸瓶の体部下半から底部にかけての破片で，外面体部にカキメを施す。なお，体部と脚部の接合面の内側は回転のヘラナデで仕上げている。19はあかやき土器の小形甕。20は土師器の埦で，内面に部分的なヘラナデを残すものの，内外面とも丹念なヘラミガキを施す。

### RA017竪穴住居跡出土遺物（第22図１～３）

土　器　１は須恵器の坏。２はあかやき土器の坏で，ともに底部切り離しは回転糸切り無調整である。３は土師器の甕で，内外面の器面調整にヘラナデを施す。

### RA018竪穴住居跡出土遺物（第22・23図４～20）

土　器　４は天井部にヘラ切り痕を残す須恵器の蓋。５・６・７は須恵器の坏。８・９・10はあかやき土器の坏。11・12は土師器の坏で底部を残す固体は糸切り無調整である。13は須恵器の高台付の埦。14はあかやき土器の小形甕で，底部は回転糸切り無調整である。15は土師器の甕または鉢と思われる器形で，体部外面は粗いヘラミガキ，内面にはハケメを施す。16は土師器の甕で外面体部はヘラケズリ調整されるが，頸部にはハケメを残し，内面はハケメだけが施される。

石製品　17はカマドの支脚に用いられていた石製品で欠損しているものの全面に敲打痕を残す。18・19は砥石で，ともに６面を使用している。なお，材質は18が安山岩製。19は細粒砂岩製である。

鉄製品　20は刀子で，茎に連なる関は鈍角に仕上げている。

### RA019竪穴住居跡出土遺物（第23図21～24）

土　器　21は糸切り無調整の須恵器の坏。22・23は摩滅した土師器の坏である。

鉄製品　24は刀子の破片である。

### RA020竪穴住居跡出土遺物（第23図25～31）

土　器　25は須恵器。26はあかやき土器。27・28は土師器の坏で，いずれも底部は糸切り無調整であるが，28の体部下端には回転のヘラケズリを施す。29は高台付埦で，体部下端は回転ヘラケズリ調整し，やや貧弱な高台との接合部はナデで仕上げている。30・31は土師器の甕で，30の体部外面はヘラケズリ，内面にはヘラナデを施した後に口縁部にヨコナデを施す。また，31は全体に摩滅しており，外面のみにヘラナデの痕跡を残す。

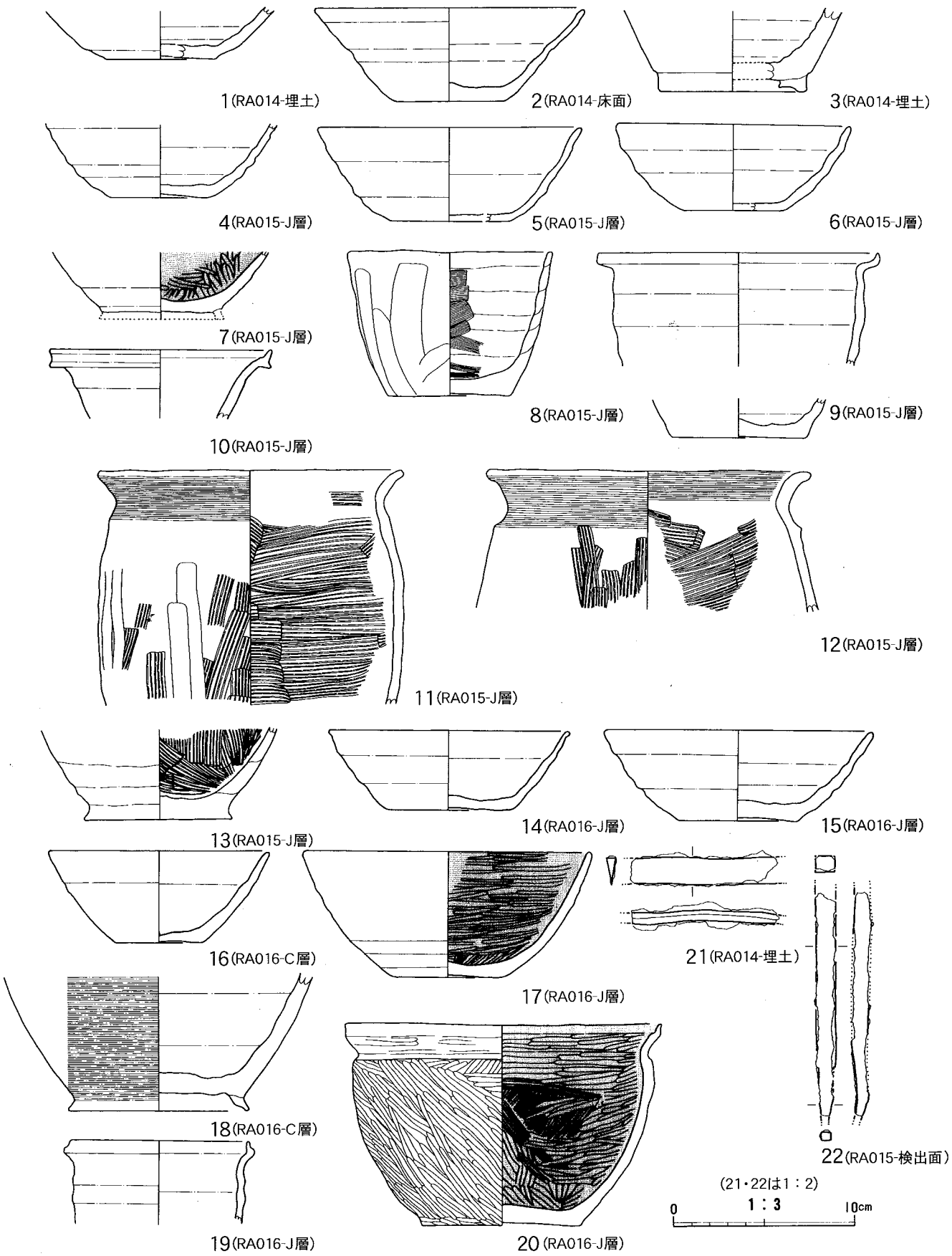
### RA021竪穴住居跡出土遺物（第24図１～５）

土　器　１・２・３はあかやき土器の坏。４は土師器の坏で，１・４の底部は糸切り無調整である。

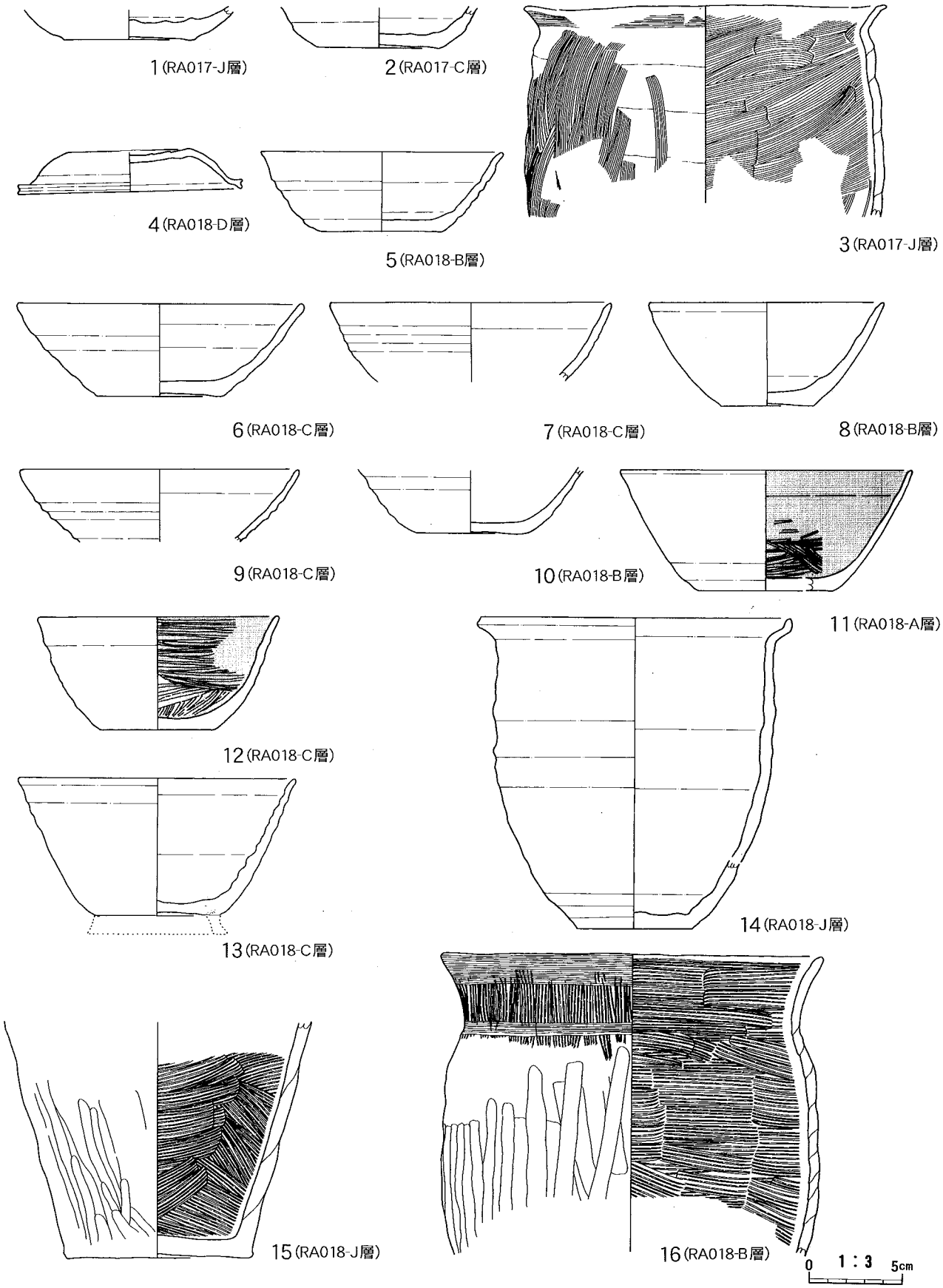
鉄製品　５は用途が不明な板状を呈する鉄製品である。

### RA023竪穴住居跡出土遺物（第24図６・７）

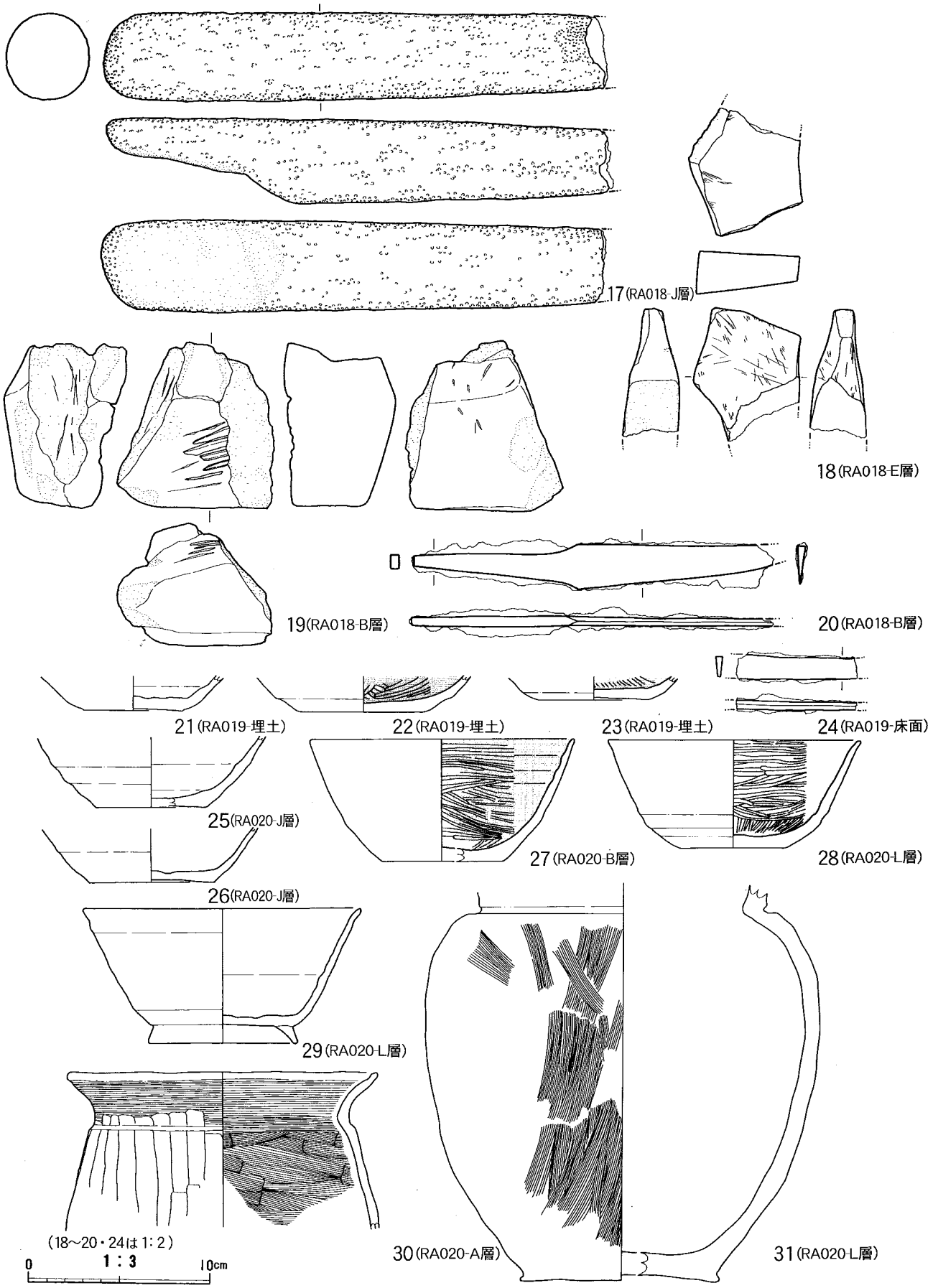
土　器　６は須恵器。７はあかやき土器の坏で，ともに回転糸切り無調整である。




**第21図　館遺跡第2次調査RA014・015・016竪穴住居跡出土土器、鉄製品**




第22図　館遺跡第２次調査RA017・018(1)竪穴住居跡出土土器




**第23図　館遺跡第2次調査RA018(2)・019・020竪穴住居跡出土石製品、鉄製品、土器**

## 4　松ノ木遺跡第６次調査出土遺物

### ＲＡ026竪穴住居跡出土遺物（第27図１～６）

土　器　　１・２・３はいずれも須恵器の坏で，底部の切り離しは１・２がヘラ切り無調整。３が糸切り無調整である。４はロクロ未使用の土師器の坏で，内外面はともに丹念なヘラミガキが施される。５・６は土師器の甕で，５の外面はハケメ，内面にはヘラナデが施される。また，６の外面には粗いヘラミガキ，内面にはヘラナデが施される。

### ＲＡ027竪穴住居跡出土遺物（第28図１～８）

土　器　　１・２は須恵器の坏，３はあかやき土器の坏である。底部の切り離しは，１がヘラ切り無調整で，２・３が糸切り無調整である。４・５・６・７は土師器の甕で，４・５・６の外面体部

鉄製品　　にはヘラケズリ，内面にはヘラナデが施される。８は茎尻を欠損する鏃である。

### ＲＡ029竪穴住居跡出土遺物（第28図９）

土　器　　９は土師器の坏で，体部の内外面にヘラミガキを施した後に外面の体部下端から底部全面にかけてヘラケズリ調整を施す。

### ＲＤ007土坑出土遺物（第28図10）

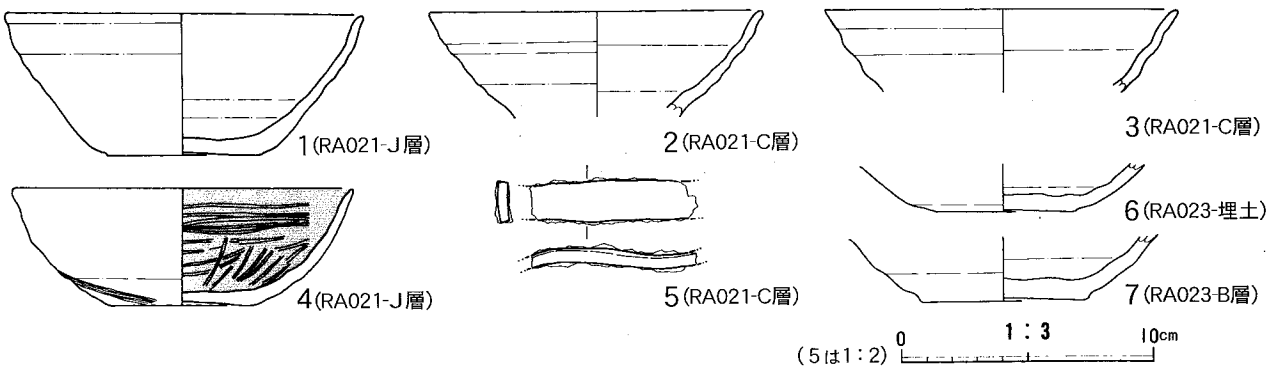
土　器　　10は口径が体径より大きい須恵器の甕で，外面の体部にはカキメが施される。

## 5　松ノ木遺跡第７次調査出土遺物

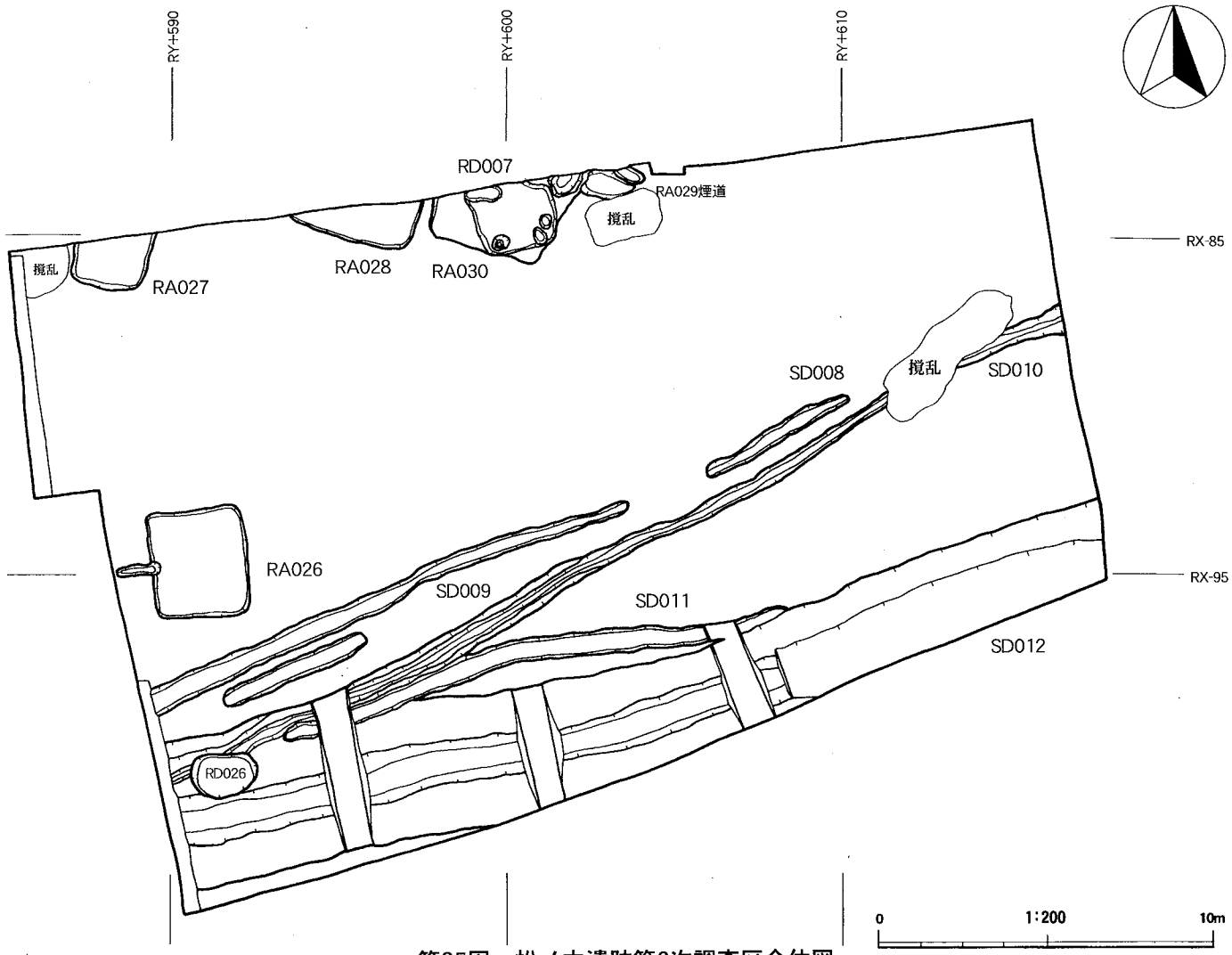
### ＲＡ031竪穴住居跡出土遺物（第29図１・２・13）

土　器　　１は須恵器の坏。２は土師器の坏である。

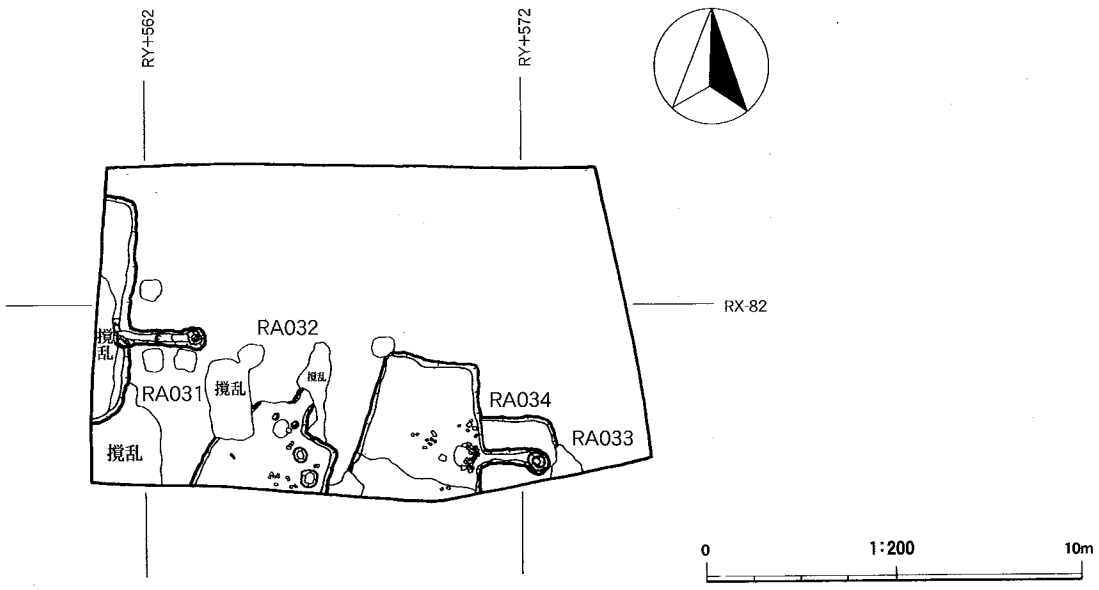
鉄製品　　13は断面が円形を呈する棒状の鉄製品で，腐食が著しい。




第24図　館遺跡第2次調査RA021・023竪穴住居跡出土土器、鉄製品




第25図　松ノ木遺跡第6次調査区全体図




第26図　松ノ木遺跡第7次調査区全体図

### RA032竪穴住居跡出土遺物（第29図３・４・14）

**土　器**　３は歪みが大きい糸切り無調整の須恵器の坏。４は土師器の小形甕で，体部の内外面にはヘラナデを施す。

**鉄製品**　14は端部がやや広くなる板状の鉄製品で，用途は不明である。

### RA033竪穴住居跡出土遺物（第29図５）

**土　器**　５は摩滅が著しいあかやき土器の小形甕である。

### RA034竪穴住居跡出土遺物（第29図６～12・15）

**土　器**　６は須恵器の坏。７・８はあかやき土器の小形甕で，８の底部は回転糸切り無調整である。

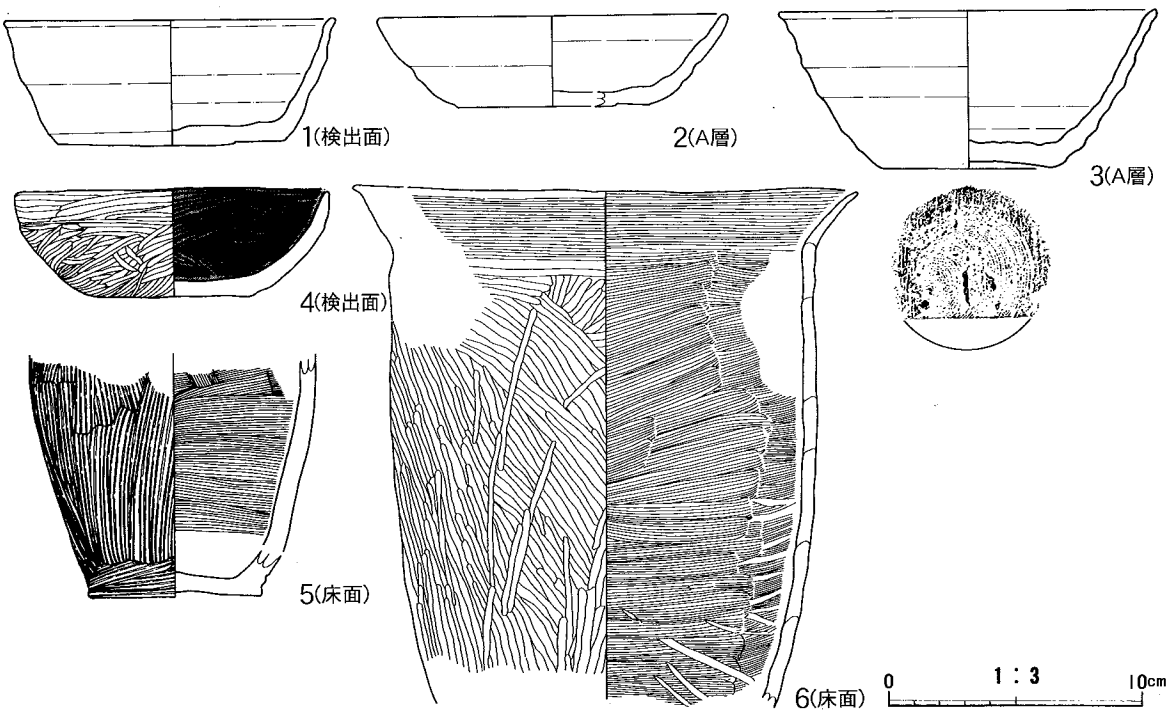
９・10・11・12は，いずれも土師器の甕である。器面調整は９・10の体部の内外面はヘラナデ。11は外面にヘラナデの後に粗いヘラミガキし，内面にはヘラナデを施す。また，12の外面にはヘラケズリし，内面にはハケメを施す。

**鉄製品**　15は断面が３角形を呈する用途が不明な鉄製品である。

## 6　館遺跡第11次調査出土遺物

### RA036竪穴住居跡出土遺物（第30図１）

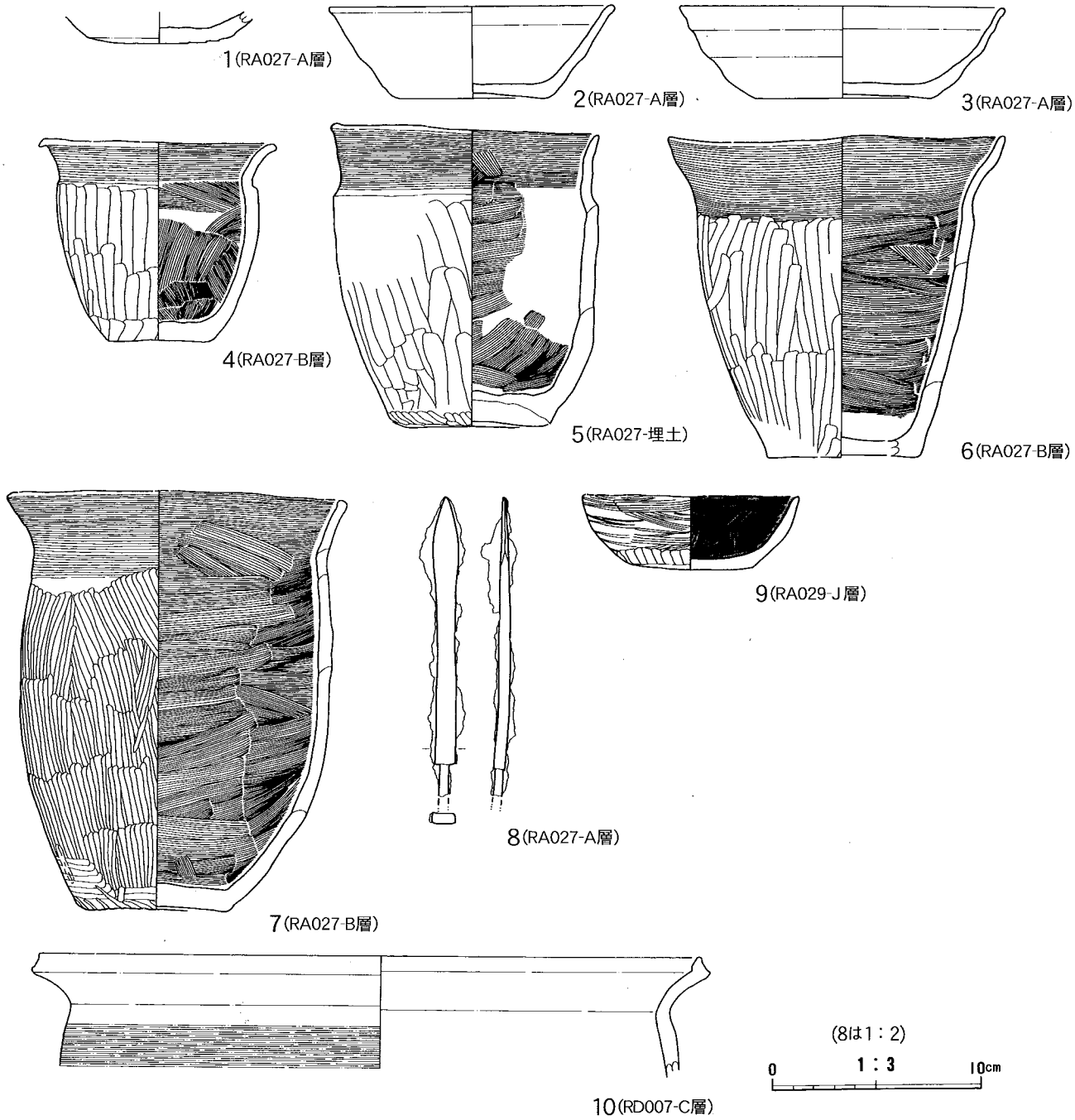
**土　器**　１は把手を持つ土師器の甕の破片で，内面にはヘラミガキが施される。



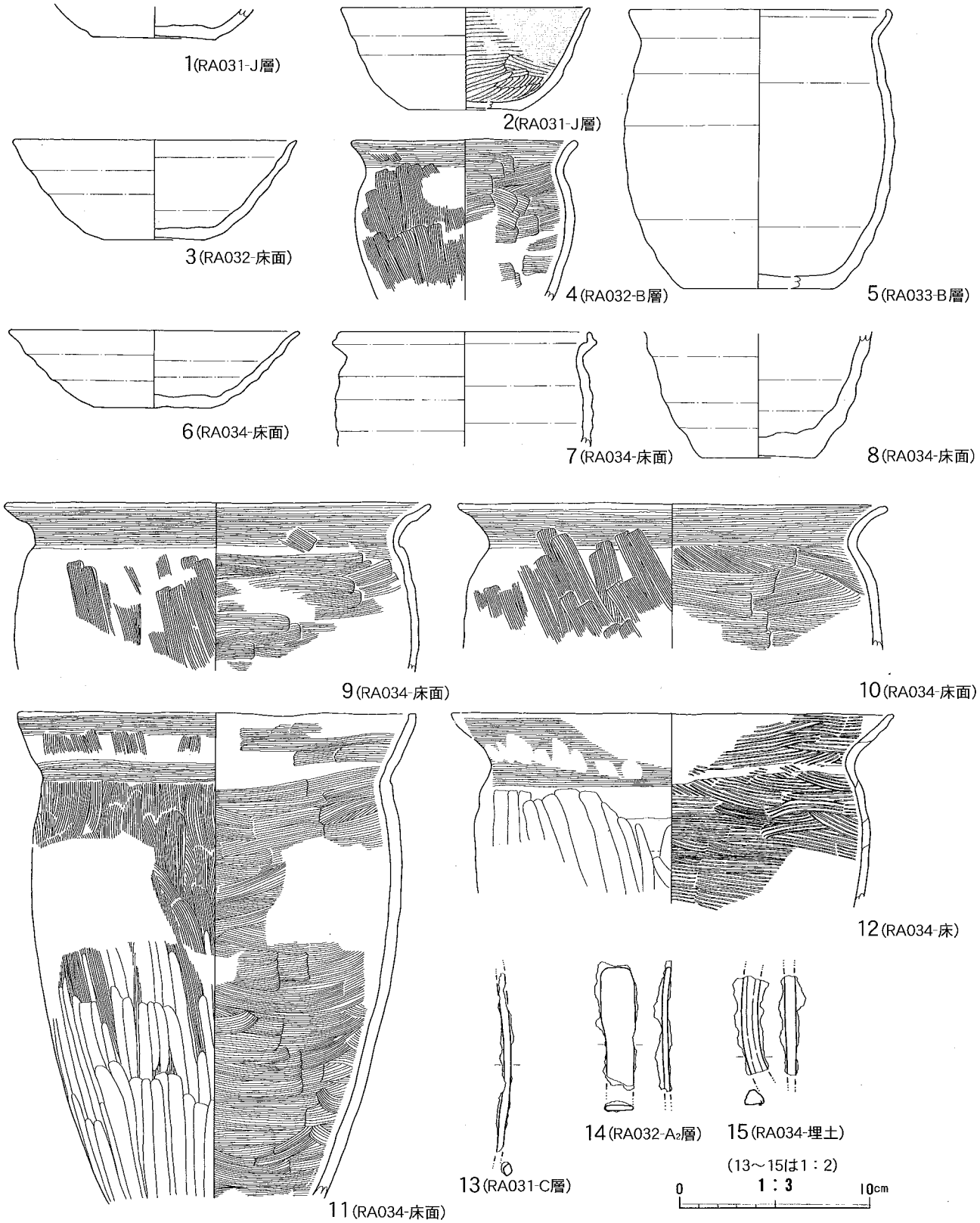

第27図　松ノ木遺跡６次調査RA026竪穴住居跡出土土器

## ＲＡ037竪穴住居跡出土遺物（第30図２・３）

２は須恵器の甕。３は土師器の甕で，外面体部はヘラナデ，内面にはハケメが施される。　　土　器




第28図　松ノ木遺跡第６次調査RA027・029竪穴住居跡、RD007土坑出土土器、鉄製品




第29図　松ノ木遺跡第7次調査RA031・032・033・034竪穴住居跡出土土器、鉄製品

## 7　館遺跡第2・3・10次，松ノ木遺跡第6・9次調査遺構外出土遺物

### 第2・3・6・9・10次調査遺構外出土遺物（第31図1～19）

**土　器**

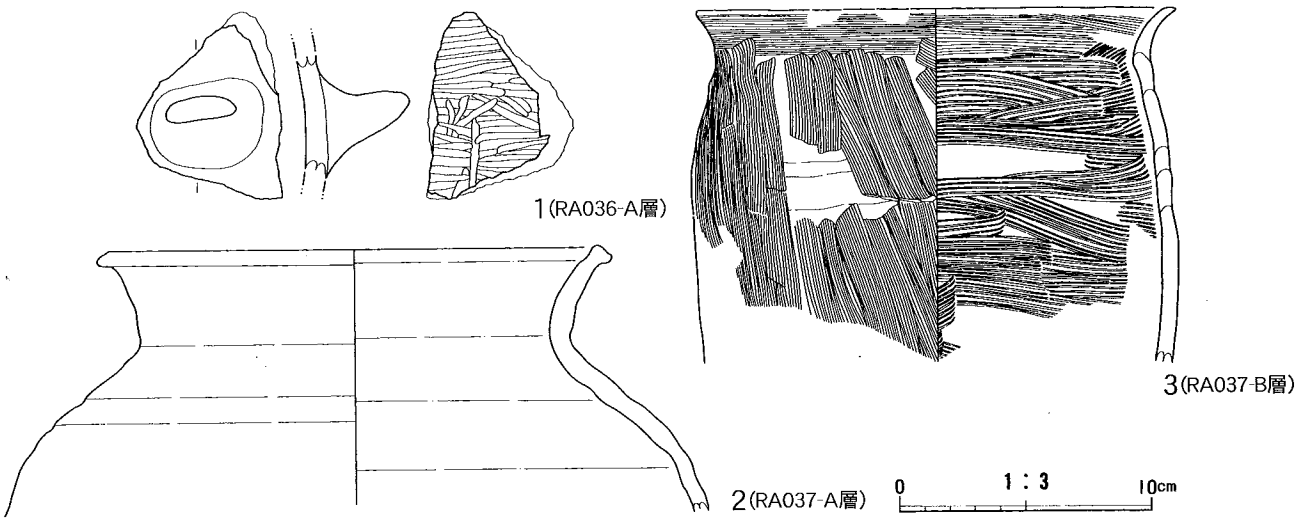
1・2・3は須恵器の坏。4・5はあかやき土器の坏。6・7は土師器の坏である。底部が残るものの切り離しは，いずれも糸切り無調整である。なお，7の体部下端には回転のヘラケズリ調整が施される。8・9は土師器の小形甕で，体部外面はヘラケズリ，内面にはヘラナデが施される。10は須恵器の鉢ないしは甕で，外面体部は平行のタタキの後にヘラケズリ，内面にはヘラナデが施される。

**鉄製品**

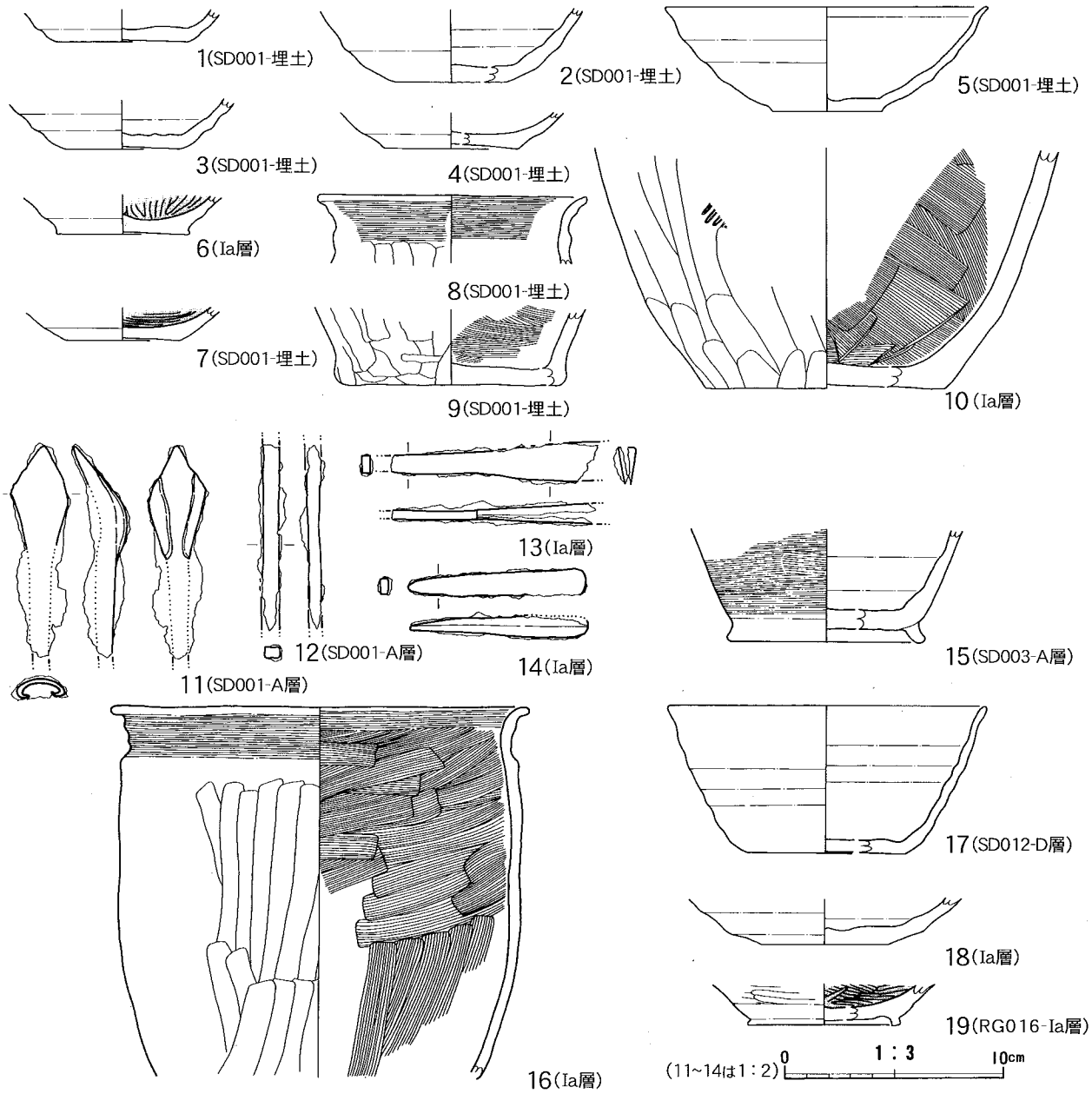
11は鑓鉋。12は断面が長方形を呈する棒状の鉄製品。13は切先から刀身を欠損する刀子。14は用途が不明な製品である。

**土　器**

15は須恵器の瓶または壷で，体部外面はカキメが施される。16は土師器の甕で体部外面はヘラケズリし，内面にはヘラナデが施される。17は須恵器，18はあかやき土器の坏で，ともに底部は糸切り無調整である。19は土師器の高台付坏で，体部の内外面にはヘラミガキが施される。




第30図　館遺跡第11次調査RA036・037竪穴住居跡出土土器




第31図　館遺跡第２・３・10次調査、松ノ木遺跡第６・９次調査遺構外出土土器、鉄製品

# Ⅳ調査のまとめ

## 出土遺物のあり方について

調査の結果，古代の遺構として館遺跡第１・２・３・４・５・10・11次調査で平安時代の竪穴住居跡23棟，竪穴１棟，土坑１基，松ノ木遺跡第６・７・８・９・12次調査では，平安時代の竪穴住居跡13棟，土坑１基，溝跡２条を発見している。本書で図示した土器は総点数322点を数え，内訳は須恵器79点（24.5％），あかやき土器128点（39.8％），土師器115点（35.7％）となっている。ここでは竪穴住居跡と竪穴から出土した遺物を中心に集落の年代を検討する。 **検出遺構**

出土した土器を組成と特徴から個々の遺構の時期としてみてみると，松ノ木遺跡第６次調査で発見したＲＡ026・027の２棟が８世紀終末から９世紀初頭にかけての時期に相当する。なお，ＲＡ028や029も土器組成に乏しいもののほぼ同時期の住居として捉えられ，遺跡内での集落の初現となっている。ＲＡ026や027からの出土土器は，底径が6.4～8.9㎝と大きく，焼成のしっかりしたヘラ切りや糸切り無調整の須恵器坏（第27図１～３，第28図１～３）とロクロ未使用で平底の小形坏（第27図４）やこの時期としては例外的であろう頸部が不明瞭な甕が共伴している。 **８世紀末～９世紀初頭**

これらの甕は，始めに内外面をヘラナデで調整した後にハケメ調整を施す粗製の甕（第27図５）もあるが，体部外面を丹念な粗いヘラミガキやヘラケズリで器面調整する精製の甕（第27図６，第28図４～７）が主体を占めている。盛岡市周辺（北上盆地北部）では，志波城跡内のＳＩ417・425や百目木遺跡17号住居などがあり，８世紀終末の要素と９世紀初頭の志波城期の土器の特徴とを併せ持つものである。なお，３棟の竪穴住居跡から出土した土器は14個体であるが，そのうち５個体を占める須恵器は高い保有率を示している。

また，須恵器の共伴比率は低いものの，以上のような土器組成に近い北上盆地北部の例として，志波城跡の竪穴住居群（兵舎）の中にＳＩ212・218の２棟。北上盆地南部では，熊野堂遺跡（水沢市）ＳＩ003・004・006・007・008，藤沢遺跡（北上市）ＳＩ001・003・007・008などがあるだけで，全県的にみても発見例は稀少である。

なお，志波城跡が位置する沖積段丘に営まれるこの時期の集落の事例としては初めての発見例であるが，律令支配が蝦夷社会に浸透する過程が旧来の土器所有形態に須恵器が導入に示されているものと捉えられ，志波城造営前後の様相を知る上で貴重な手がかりとなるものである。

また，今回は未報告であるが，第２次調査区の西側で実施した15次調査でもわずかながらこの時期の遺構が発見されており，同時期の集落は館遺跡に比べて地形的にやや低地となる松ノ木遺跡に集中するものの，広範囲に展開していたようである。

次いで，９世紀前半から中頃に相当する時期の遺構として，館遺跡ＲＡ004・005・006・ＲＦ007，ＲＡ008・009・010・011・013・015・016・017・018・020，松ノ木遺跡ＲＡ032・034 **９世紀前半**

の16棟がある。これらの遺構は，ＲＡ004・005・006・009のように６～７ｍの規模が大きい住居を主体としながら，ＲＡ010・011のように一辺が2.5ｍ前後からＲＡ020の４ｍ前後の小規模の住居もみられる。遺構の配置をみると，第１次から２次調査区の中央にかけて弧状に位置しているものの，重複関係があり，棟の主軸方向やかまどの構造も異なるなど，構築の時間差が認められる。また，新旧関係は，ＲＡ006がＲＡ004・005と009より新しく，またＲＡ013が016や020より新しいが，出土土器の法量や器形からの明確な違いの指摘は困難である。ただし，あかやき土器や土師器の坏は須恵器の坏が浅く安定した造りであるのに対して器高があり重厚な造りとなっている。さらに，あかやき土器や土師器の甕は，短い頸部を持ち外反する特徴があり，土師器の甕には，体部に比べて口縁部が小さく，頸部が窄まるＲＡ005・013出土の土器（第10図24・25，第20図19）もみられる。

土器保有の比率をみると，全個体数180個のうち，須恵器は49個体（27.2％），あかやき土器は75個体（41.7％），土師器が56個体（31.1％）で，同時期の集落が須恵器：あかやき土器：土師器がほぼ同じ比率であるのに対して，あかやき土器が卓越している。器種別では，ＲＡ018から出土した小形の蓋や同じくＲＡ018・020から出土した稜埦（第22図４・13），さらにＲＡ005から出土したあかやき土器の盌埦（第10図23）など官衙遺跡との関連が想起される器種が出土している。また，ＲＡ006から出土した土師器の鉢（第11図22）や小形甕は９世紀前半に特徴的であるが，９世紀後半以降に多くみられるあかやき土器の高台付坏と共伴しており注目される。さらに，ヘラ切り無調整の坏がＲＡ006（第11図１），ＲＦ007（第13図１・２），ＲＡ008（第13図４），ＲＡ034（第29図６）から出土しており，総じて９世紀中頃に近い前半に位置付けられる一群である。なお，遺跡が所在する沖積段丘面の周辺でのこの時期に相当する遺跡としては，竹花前遺跡（盛岡市）の４住，下羽場遺跡（盛岡市）の10号がある。また，近隣でも田頭遺跡（紫波町）のＢＣ12住，上平沢新田遺跡（紫波町）の１・２住，中田遺跡（紫波町）のＢ４・Ｂ５住，乙部方八丁遺跡（盛岡市）のＲＡ501・505，前野遺跡（盛岡市）のＲＡ106・107・108・109・115及びＲＥ111，室小路遺跡（滝沢村）のＧｆ428・Ｈｃ417などがあるだけで，知見に乏しいこの時期の遺物や集落のあり方を知る上で重要である。

**９世紀後半**　９世紀後半に相当する遺構として館遺跡ＲＡ001・002・003・012・014・019・021・023・037，松ノ木遺跡ＲＡ031の10棟がある。以上の遺構の規模はＲＡ003や012のように一辺が4.8ｍの住居もあるが，これ以外は一辺が３～４ｍ前後の小規模な住居や竪穴で構成されており，館遺跡第１・２次調査区に希薄な密度で点在している。なお，他の遺跡では丁度この時期に大形住居から掘立柱建物への移行が見られる。重複の認められる遺構の新旧関係は，ＲＡ001は002より新しく002は003より新しい。さらに，ＲＡ012は019と023より新しい。なお，ＲＡ003はこの時期としては特異な西かまどの構造であり，問題点としてあげられる。

土器保有の比率は，全個体数86個のうち，須恵器は12個体（14.0％），あかやき土器は39個体（45.3％），土師器は35個体（40.7％）で，同時期の集落に比較して土師器の保有率が高い特徴がある。出土した器種ごとの特徴をみると，蓋は無く，坏は須恵器，あかやき土器，土師器とも底径の平均が６㎝未満とやや小形化し，須恵器やあかやき土器はロクロからの切り離し後の再調整は無くなる。また，土師器での再調整はＲＡ002や003・012（第５図９，第６図７・８，第18図22・24）にみられるように依然として残っているが，ＲＡ003や012のように土師器

の高台付坏（第６図12，第18図26）が出現する。甕類では，ＲＡ001から出土した須恵器の甕（第５図５）がある。体部の内外面ともカキメの後に外面はヘラケズリ，内面はヘラナデにより器面調整されているが，大きな歪みがあることから器としての機能ではなく転用されていた可能性がある。この他，あかやき土器や土師器の甕は頸部から短く外反する口縁部が一般的になるが，内面の器面調整はハケメやヘラナデ，外面もヘラケズリやヘラナデで調整しているが，粗い調整を残しているものが多い。これら土器は特徴から従来は９世紀末に近い時期として捉えられていた土器であるが，いずれも９世紀中頃に近い一群として捉えておきたい。

この時期の盛岡市周辺の遺跡では，本宮熊堂Ｂ遺跡（盛岡市）のＲＡ002・006，百目木遺跡（盛岡市）の75住，中田遺跡（紫波町）のＢ４・Ｂ５住，古館橋遺跡（紫波町）のＡＩ53住などがある。

この他，土器組成に乏しいため，時期が不明な遺構としては，館遺跡022・024，ＲＦ025，ＲＡ036・038，松ノ木遺跡ＲＡ030・033・035の８棟がある。また，小片のため図示できなかったが，丸底で体部から底部の内外面に平行のタタキを施すいわゆる律令の影響下に運ばれた「北陸甕」と言われる薄手のあかやき土器の甕がＲＡ030の埋土Ｂ層から大量に出土している。このＲＡ030は029より新しい遺構であるが，出土遺物が少ないため時期は断定できないが，周辺の遺跡でも９世紀前半以降の遺構から僅かながら出土しており，今後に注目される。

**鉄製品**

土器以外の遺物で注目されるのは鉄製品である。まず，８世紀終末から９世紀初頭の時期としたＲＡ027から出土した鉄鏃（第28図８）がある。箭頭部がわずかに湾曲して菱形を呈し，基部はゆるやかに箆被につながる鏃で，志波城跡の竪穴住居跡（兵舎）からも出土している小形の製品である。次いで９世紀前半としたＲＡ004・005・006・013・015・018からは計18点出土している。形態が判明する製品の内訳は，鏃がＲＡ004・005・013・015から各１点，ＲＡ006から６点があり，箭頭部が残る鏃は，ＲＡ005から出土した柳葉形（第10図30）とＲＡ006から一括して出土した逆刺を持つ長三角形の製品（第12図36・37・38）。及びＲＡ013からは雁又の１点がある。穂積具はＲＡ004・005・006から各１点，鑓鉋がＲＡ013から１点。刀子がＲＡ006から２点，ＲＡ018から１点。釘がＲＡ006から１点となっており，他の３点は形態が不明な製品である。さらに，９世紀後半としたＲＡ003からは，刀子と鑓鉋が各１点。ＲＡ021からは板状の製品が１点出土している。ここで注目されるのは，９世紀前半とした時期の住居から大量の鉄製品が出土していることである。特に武器である鏃や農具である穂積具，工具である鑓鉋や刀子の存在は，時期的にみても集落外との緊張関係を示すとともに，農耕生活が基盤となっていたことを示すものとして注目される。

**石製品**

石製品は砥石がＲＡ018から敲打痕がある棒状製品１点と，砥石が安山岩製と細粒砂岩製の２点が出土。ＲＡ003からは安山岩製，細粒砂岩製，泥岩製が各１点の計３点が土している。

以上のように出土遺物から館遺跡と松ノ木遺跡における遺構時期の配置をみると，中世や近世の遺構により削平されている可能性があるものの，館遺跡に比べてやや低地となる松ノ木遺跡南西部の第６次調査区に８世紀終末から９世紀初頭の遺構が集中し，９世紀前半の遺構は館遺跡の中央にあたる第１・２次調査区，松ノ木遺跡西部の第７次調査区に。また，９世紀後半の遺構はやや高台となる館遺跡の第１・２次に集中している。なお，遺構埋土は水害を示すシルトによって堆積していることから，水害や農耕に影響を受けて集落の占地が変遷したことが考えられる。

| 遺構名 | 竪穴規模（数値は平均値） | | | | | 重複関係 | | 鉄器・砥石 | 時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平面形 | 主軸方向 | かまど位置 | 東西 | 南北 | 新しい遺構 | 古い遺構 | | |
| RA001 | — | — | — | — | — | SD001 | RA002 | | 9後 |
| RA002 | 方形 | E16.0°S | 東壁北寄り | 2.83 | 2.99 | SD001 | RA003 | | 9後 |
| RA003 | 不整方形 | W24.5°N | 西壁中央 | 4.48 | 4.74 | SD001 | | 刀子1・鑓鉋1・砥石3 | 9後 |
| RA004<br>005 | 方形 | E11.5°S<br>E39.5°S | 東壁南寄り | 5.95 | 5.94 | SD001, SK004～006<br>008, RA006 | | 鏃1・穂摘具1<br>鏃1・穂摘具1 | 9前<br>9前 |
| RA006 | 長方形 | N34.0°E | 東壁北隅 | 6.97 | 5.63 | SD001, SA003,<br>SK007 | RA004・005・009 | 刀子2・鏃6<br>穂摘具1・鑓鉋1 | 9前 |
| RF007 | 方形 | — | — | 3.13 | 3.06 | | RD001 | | 9前 |
| RA008 | 方形～長方形 | E36.0°S | 東壁北隅 | 4.90以上 | 4.10以上 | SA001, 小柱穴 | | | 9前 |
| RA009 | 長方形 | W 4.5°N | 西壁中央 | 5.96 | 7.08 | SI001, RA006・010 | | | 9前 |
| RA010 | 方形 | S22.0°W | 南壁西寄り | 2.51 | 2.45 | | RA009 | | 9前 |
| RA011 | 方形 | E8.5°～10.0°S | 東壁北寄り | 3.18 | 3.64 | SI003 | | | 9前 |
| RA012 | 方形or長方形 | E26.0°S | 東壁北隅 | 4.10以上 | 4.84 | SK018・019, RA022 | RA016・019・023 | | 9後 |
| RA013 | 不整方形 | 北E33.6°S<br>西E47.0°S | 東壁中央北・南寄り | 5.98 | 6.17 | SA006・007, 小柱穴 | RA016・020・023・024 | 鑓鉋1<br>不明1 | 9前 |
| RA014 | 長方形 | かまどE42.0°S<br>竪 穴E14.0°S | 東壁南東隅 | 5.1 内外 | 3.99 | SD001, SK012・020<br>小柱穴 | | 刀子1 | 9後 |
| RA015 | — | — | 南壁 | — | — | | | 鏃1 | 9前 |
| RA016 | 方形or長方形 | W20.5°N | 西壁中央 | 4.09 | 4.0 内外 | SK018, RA012・013 | RA019, 020 | | 9前 |
| RA017 | 長方形 | E15.0°S | 東壁北東隅 | 2.83 | 3.3 以上 | SK017・018 | | | 9前 |
| RA018 | 長方形 | N24.5°E | 北壁東寄り | 4.53 | 3.17 | SA004<br>(RG001と重複) | | 刀子1・敲石1・砥石2 | 9前 |
| RA019 | — | — | 東壁 | — | — | SK019, RA012, RD002 | | | 9後 |
| RA020 | 方形or長方形 | E19.5°S | 東壁調査区際 | 4.63 | 3.45以上 | SA007, SK010・011, RA013 | | | 9前 |
| RA021 | 不整方形 | E33.0°S | 東壁南寄り | 3.00 | 3.15 | SD002, RG001 ? | | 板状1 | 9後 |
| RA022 | — | — | 西壁 | — | — | SK018 | RA012 | | — |
| RA023 | 方形or長方形 | N82.0°E | — | 2.55以上 | 3.05 | SK018, RA012・016・022 | | | 9後 |
| RA024 | — | — | — | — | — | RA013 | | | — |
| RF025 | 方形 | — | — | 3.78 | 3.83 | SF001 | RD006 | | — |
| RA026 | 方形 | W 6.0°N | 西壁中央 | 2.86 | 3.18 | | | | 8～9 |
| RA027 | — | — | — | 2.14 | 2.05以上 | | | 鏃1 | 8～9 |
| RA028 | — | — | — | 2.70以上 | 1.30以上 | | | | 8～9 |
| RA029 | — | — | 東壁 | — | — | RD007, RA030 | | | 8～9 |
| RA030 | 方形～長方形 | E10.5°S | 東調査区際 | 3.61 | 3.25以上 | RD007 | RA029 | | — |
| RA031 | 方形or長方形 | E 3.5°S | 東壁南寄り | 0.50以上 | 3.04 | | | 不明3 | 9後 |
| RA032 | 方形～長方形 | N25.0°E | 北壁西寄り | 3.31 | 2.30以上 | | | | 9前 |
| RA033 | 方形～長方形 | — | — | 5.08 | 2.05 | | RA034 | | — |
| RA034 | 不整台形 | E 0.5°S | 東壁南寄り | 2.98 | 3.50 | RA033 | | | 9前 |
| RA035 | — | — | 西壁 | — | — | | | | — |
| RA036 | — | — | — | — | — | RA037 | | | — |
| RA037 | — | — | — | — | 3.3 | | RA036 | | 9後 |
| RA038 | — | — | — | — | — | | | | — |

**表1　館・松ノ木遺跡検出竪穴住居跡、竪穴一覧**

| 番号 | | 形態 | | | 寸法(cm) | | | | | | 底部切離 | 調整 | | | 外傾度 | 墨書 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図 | 位置・層 | 区分 | 器種 | 分類 | 器高 | 口径 | 体径 | 底径 | 口/底 | 口/高 | | 外面 | 内面 | 分類 | | | | |
| 5- 1 | 埋土 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 5.0 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 2.5YRVI/6橙 | |
| 5- 2 | 埋土 | 土師器 | 坏 | B | 5.5 | (13.8) | — | (6.1) | (2.3) | — | | | ヘラミガキ | | | | 2.5YR6/4にぶい橙 | 内黒とび |
| 5- 3 | 埋土 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | (5.8) | — | — | 再調,回転ヘラケズリ | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 5- 4 | 埋土 | 土師器 | 小形甕 | — | — | — | — | 5.1 | — | — | | ヘラケズリ,ナデ | | | | | 7.5YR6/3にぶい褐 | |
| 5- 5 | 床 | 須恵器 | 甕 | — | — | — | — | 6.2 | — | — | | カキメ,ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 7.5Y5/2灰オリーブ | |
| 5- 6 | 埋土 | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | (11.2) | — | — | 砂底 | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 5- 7 | 埋土 | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 12.3 | — | — | 砂底 | ヘラケズリ | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 5- 8 | A | あかやき | 坏 | B | 5.3 | 15.4 | — | 5.2 | 3.0 | 2.9 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR6/6橙 | 酸素炎,還元炎 |
| 5- 9 | A | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 5.3 | — | — | 再調,手持ちヘラケズリ | ヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 7.5YR8/4浅黄 | |
| 5-10 | 床 | 須恵器 | 壷 | — | — | (13.8) | — | — | — | — | | カキメ | ヘラナデ | | | | 2.5Y6/1黄灰 | |
| 5-11 | J | あかやき | 小形甕 | — | — | (14.2) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 5-12 | J | あかやき | 甕 | — | — | (21.0) | (21.3) | — | — | — | | ヘラケズリ | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 5-13 | A | 土師器 | 甕 | — | — | (16.6) | — | — | — | — | | ハケメ,ナデ | ハケメ,ナデ | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 5-14 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (12.8) | — | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 5-15 | A | 土師器 | 珠胴甕 | — | — | — | — | 9.8 | — | — | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 6- 1 | 床 | 須恵器 | 坏 | — | (5.2) | (13.2) | — | (6.5) | (2.0) | (2.5) | 回転糸切 | | | | | | 5Y5/1灰 | |
| 6- 2 | 床 | あかやき | 坏 | C | 5.0 | 14.2 | — | 6.4 | 2.2 | 2.8 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR8/6浅黄 | |
| 6- 3 | A | あかやき | 坏 | C | 5.4 | 15.5 | — | 5.2 | 3.0 | 2.9 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 6- 4 | A | あかやき | 坏 | C | 5.4 | 15.6 | — | 5.5 | 2.4 | 2.9 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | 酸素炎,還元炎 |
| 6- 5 | A | あかやき | 坏 | — | — | (15.6) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR5/4にぶい赤褐 | 酸素炎,還元炎 |
| 6- 6 | 床 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 5.6 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 6- 7 | 床 | 土師器 | 坏 | B | 5.4 | 14.4 | — | 6.5 | 2.2 | 2.7 | 回転ヘラケズリ | | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 6- 8 | A | 土師器 | 坏 | B | 5.2 | 14.9 | — | 6.1 | 2.4 | 2.9 | 回転糸切,手持ちヘラケズリ | 手持ちヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 6- 9 | 床 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 5.9 | — | — | 回転糸切 | 手持ちヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 10YR7/4にぶい黄橙 | |
| 6-10 | A | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 7.0 | — | — | 回転糸切 | | ヘラミガキ | | | | 10YR6/3にぶい黄橙 | |
| 6-11 | 床 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 6.7 | — | — | 回転糸切 | | ヘラミガキ | | | | YR6/4にぶい黄橙 | |
| 6-12 | A | 土師器 | 高台付坏 | B | 7.3 | 16.2 | — | 8.3 | 2.0 | 2.2 | | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | | 10YR5/2灰黄褐 | ナデツケ様圧痕 |
| 6-13 | 床 | あかやき | 小形甕 | — | — | (14.0) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 6-14 | A | あかやき | 小形甕 | — | — | (14.0) | — | — | — | — | | | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 6-15 | 床 | あかやき | 長胴甕 | — | — | (17.0) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR6/4にぶい橙 | |
| 6-16 | 床 | あかやき | 長胴甕 | — | — | (19.0) | — | — | — | — | | ヘラケズリ | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 6-17 | A | あかやき | 長胴甕 | — | — | (21.8) | — | — | — | — | | | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 6-18 | 床 | 土師器 | 小形甕 | — | 15.3 | 14.1 | — | 8.7 | 1.6 | 0.9 | ヘラケズリ | ヘラケズリ | ハケメ | | | | 10YR6/3にぶい黄橙 | |
| 6-19 | 床 | 土師器 | 甕 | — | — | (22.5) | — | 11.0 | — | — | | ヘラナデ,ヘラミガキ | | | | | 7.5YR5/3にぶい橙 | 木葉痕 |
| 6-20 | 床 | 須恵器 | 瓶 | — | — | — | — | (8.8) | — | — | | カキメ,ヘラケズリ | | | | | N3/0暗灰 | |
| 8- 1 | 床 | 須恵器 | 坏 | — | 5.0 | 16.2 | — | 7.0 | 2.3 | 3.2 | 回転糸切 | | | | | | 2.5Y7/2灰黄 | |
| 8- 2 | A | 須恵器 | 坏 | — | — | (15.1) | — | — | — | — | | | | | | | 2.5YR7/2灰黄 | |
| 8- 3 | A | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 6.8 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR5/3にぶい褐 | |
| 8- 4 | 床 | あかやき | 坏 | — | 6.3 | 15.5 | — | 6.2 | 2.5 | 2.5 | 回転糸切 | | | | | | 2.5YR6/6橙 | |
| 8- 5 | J | あかやき | 坏 | — | 5.1 | 15.5 | — | 5.5 | 2.8 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 8- 6 | J | あかやき | 坏 | — | (5.3) | (14.8) | — | (5.1) | (2.9) | (2.8) | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 8- 7 | A | 須恵器 | 壷 | — | — | (16.5) | — | — | — | — | | タタキ,カキメ | カキメ | | | | 7.5Y7/1灰 | |
| 8- 8 | 床 | 須恵器 | 壷 | — | — | (15.7) | — | — | — | — | | カキメ,ヘラケズリ | カキメ | | | | 5Y3/1オリーブ | |
| 8- 9 | J | あかやき | 小形甕 | — | — | (16.8) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 8-10 | 床 | あかやき | 長胴甕 | — | — | (19.6) | — | — | — | — | | | | | | | 2.5YR6/6橙 | |
| 8-11 | 床 | あかやき | 小形甕 | — | — | — | — | 7.7 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 8-12 | 床 | あかやき | 長胴甕 | — | — | (24.6) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR6/6橙 | |
| 8-13 | A | 土師器 | 甕 | — | — | (17.0) | — | — | — | — | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 2.5YR6/6橙 | |
| 8-14 | A | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | (11.5) | — | — | ヘラケズリ | ヘラケズリ | | | | | 5YR7/6橙 | |

**表2　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(1)**

| 番号 | | 形態 | | | 寸法(cm) | | | | | | 底部切離 | 調整 | | | 外傾度 | 墨書 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図 | 位置・層 | 区分 | 器種 | 分類 | 器高 | 口径 | 体径 | 底径 | 口/底 | 口/高 | | 外面 | 内面 | 分類 | | | | |
| 9- 1 | A | 須恵器 | 坏 | B | 4.4 | 14.0 | — | 6.5 | 2.2 | 3.2 | 回転糸切 | | | | | | 2.5Y6/1黄灰 | |
| 9- 2 | 床 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 6.4 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 10Y4/1灰 | |
| 9- 3 | A | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 7.0 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5Y7/2灰白 | 酸化炎,還元炎 |
| 9- 4 | J | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 5.1 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 10YR7/3にぶい黄橙 | |
| 9- 5 | 床 | あかやき | 坏 | B | 4.9 | 14.1 | — | 6.1 | 2.3 | 2.9 | 回転糸切 | ヘラケズリ,ハケメ | ハケメ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 9- 6 | A | あかやき | 坏 | B | 5.8 | 13.8 | — | 6.0 | 2.3 | 2.8 | 回転糸切 | | | | | | 5YR6/4にぶい黄橙 | |
| 9- 7 | A | あかやき | 坏 | C | 5.0 | 13.0 | — | 5.9 | 2.2 | 2.6 | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 9- 8 | A | あかやき | 坏 | B | 4.9 | 13.2 | — | 6.0 | 2.2 | 2.7 | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/4にぶい橙 | |
| 9- 9 | 床 | あかやき | 坏 | B | 4.3 | 13.1 | — | 5.3 | 2.5 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 9-10 | A | あかやき | 坏 | C | 4.2 | 13.1 | — | 5.1 | 2.6 | 3.1 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 9-11 | A | あかやき | 坏 | — | — | (14.0) | — | — | — | — | | | | | | | 10YR8/2灰白 | |
| 9-12 | 床 | あかやき | 坏 | — | — | (13.7) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 9-13 | J | あかやき | 坏 | — | — | (13.0) | — | — | — | — | | | | | | | 7.5YR7/3にぶい橙 | |
| 9-14 | A | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 6.1 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 9-15 | 床 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 6.9 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/8橙 | |
| 9-16 | A | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 4.8 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR6/4橙 | |
| 9-17 | A | 土師器 | 坏 | — | — | (12.4) | — | — | — | — | | | ヘラミガキ | | | | 5YR7/4にぶい橙 | |
| 9-18 | A | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | (6.2) | — | — | 回転糸切 | | ヘラミガキ | | | | 10YR7/4にぶい黄橙 | |
| 9-19 | J | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | (6.0) | — | — | 回転糸切 | | ヘラミガキ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 9-20 | 床 | 須恵器 | 甕 | — | — | (20.4) | (31.4) | — | — | — | | 体下半より平行タタキ | | | | | 5YR5/3にぶい赤褐 | |
| 9-21 | 床 | 須恵器 | 甕 | — | — | (20.3) | (37.8) | — | — | — | | タタキ | タタキ | | | | | |
| 10-22 | 床 | 須恵器 | 甕 | — | — | (24.6) | — | — | — | — | | 平行タタキ | 青海波文 | | | | 5YR5/3にぶい赤褐 | |
| 10-23 | A | あかやき | 盌埦 | — | 5.3 | 8.3 | 8.3 | 5.0 | 1.7 | 1.6 | 回転糸切 | 体下半手持ちヘラケズリ | | | | | 5YR6/4にぶい橙 | |
| 10-24 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (14.0) | (16.9) | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 2.5YR5/4にぶい赤褐 | |
| 10-25 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (14.0) | — | — | — | — | | ヘラミガキ | | | | | 10YR7/3にぶい黄橙 | |
| 10-26 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (24.0) | (22.1) | — | — | — | | ヘラミガキ | ヘラナデ | | | | 10YR7/4にぶい黄橙 | |
| 10-27 | 床 | 土師器 | 甕 | — | — | (18.0) | — | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 2.5YR6/6橙 | |
| 10-28 | 床 | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 8.4 | — | — | | | ヘラナデ | | | | 5YR7/6橙 | 木葉痕 |
| 10-29 | J | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | (11.4) | — | — | | ヘラケズリ | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 11- 1 | A | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 5.5 | — | — | ヘラ切り | | | | | | | |
| 11- 2 | A | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 6.1 | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 11- 3 | A | 須恵器 | 坏 | C | 5.0 | 14.7 | — | 6.8 | 2.2 | 2.2 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 11- 4 | B | 須恵器 | 坏 | B | (4.7) | (13.6) | — | (6.9) | (2.0) | (2.9) | 回転糸切 | | | | | | | |
| 11- 5 | A | 須恵器 | 坏 | — | (3.2) | (14.4) | — | — | — | — | | | | | | | | |
| 11- 6 | B | あかやき | 坏 | B | 4.8 | 14.2 | — | 6.5 | 2.2 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 11- 7 | J | あかやき | 坏 | B | 4.9 | 14.8 | — | 6.6 | 2.2 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 11- 8 | J | あかやき | 坏 | C | 5.4 | 14.7 | — | 6.1 | 2.4 | 2.7 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 11- 9 | K | あかやき | 坏 | C | 4.8 | 14.4 | — | 5.4 | 2.7 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 11-10 | J | あかやき | 坏 | B | 5.6 | 12.2 | — | 5.4 | 2.3 | 2.2 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 11-11 | K | あかやき | 坏 | — | — | (15.7) | — | — | — | — | | | | | | | | |
| 11-12 | J | あかやき | 坏 | — | — | (13.0) | — | — | — | — | | | | | | | | |
| 11-13 | A | あかやき | 坏 | — | — | (13.7) | — | — | — | — | | | | | | | | |
| 11-14 | 床 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | (6.0) | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 11-15 | A | あかやき | 高台付坏 | — | — | — | — | 8.2 | — | — | | | | | | | | |
| 11-16 | 床 | あかやき | 高台付坏 | — | 4.2 | 12.7 | — | 6.3 | 2.0 | 3.0 | 菊花文 | | | | | | | |
| 11-17 | J | 土師器 | 坏 | B | (5.7) | (15.2) | — | (6.8) | (2.2) | (2.7) | 回転ヘラケズリ | 刻書あり | ヘラミガキ | | | 「上」 | | |
| 11-18 | A | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 6.7 | — | — | | | | | | | | |
| 11-19 | A | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 5.0 | — | — | 回転糸切 | 回転ヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | | |
| 11-20 | A | 土師器 | 坏 | — | — | (16.3) | — | — | — | — | | 回転ヘラケズリ,ミガキ | ヘラミガキ | | | | | |

**表3　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(2)**

| 番号 | | 形態 | | | 寸法(cm) | | | | | | 底部切離 | 調整 | | | 外傾度 | 墨書 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図 | 位置・層 | 区分 | 器種 | 分類 | 器高 | 口径 | 体径 | 底径 | 口/底 | 口/高 | | 外面 | 内面 | 分類 | | | | |
| 11-21 | A | 須恵器 | 甕 | — | — | — | — | 7.9 | — | — | ヘラナデ | ヘラナデ | ハケメ,ヘラナデ | | | | | |
| 11-22 | 床 | 土師器 | 鉢 | — | 12.5 | 25.8 | — | 9.8 | — | — | 手持ちヘラケズリ | 手持ちヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | | |
| 11-23 | K | あかやき | 小形甕 | — | — | (15.3) | — | — | — | — | | | | | | | | |
| 11-24 | A | あかやき | 小形甕 | — | — | — | — | 6.2 | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 11-25 | 床 | あかやき | 小形甕 | — | — | — | — | 6.8 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 2.5YR6/6橙 | 内面付着物あり |
| 11-26 | 床 | あかやき | 小形甕 | — | — | (12.3) | — | — | — | — | | | | | | | | |
| 11-27 | K | 土師器 | 小形甕 | — | — | (12.3) | — | — | — | — | | | | | | | | |
| 12-28 | A | あかやき | 甕 | — | — | (24.2) | — | — | — | — | | | | | | | | |
| 12-29 | A | あかやき | 甕 | — | — | — | — | — | — | — | | ヘラケズリ | | | | | | |
| 12-30 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (20.5) | — | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | | |
| 12-31 | 床 | 土師器 | 甕 | — | — | (18.7) | — | — | — | — | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | | |
| 12-32 | J | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 8.1 | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | | 木葉痕 |
| 12-33 | J | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 7.3 | — | — | | ヘラケズリ | ハケメ | | | | | |
| 13- 1 | A | 須恵器 | 坏 | B | 3.7 | (13.0) | — | (6.1) | (2.1) | (3.5) | ヘラ切り | | | | | | | |
| 13- 2 | A | 須恵器 | 坏 | C | 4.2 | 14.4 | — | 6.0 | 2.4 | 3.4 | ヘラ切り | | | | | | | |
| 13- 3 | A | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 7.0 | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 13- 4 | A | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 6.4 | — | — | ヘラ切り | | | | | | | |
| 13- 5 | A | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 5.1 | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14- 1 | 床 | 須恵器 | 坏 | B | 5.0 | 14.9 | — | 6.6 | 2.3 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14- 2 | J | 須恵器 | 坏 | C | 4.4 | 14.5 | — | 6.5 | 2.2 | 3.3 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14- 3 | 床 | 須恵器 | 坏 | B | 4.7 | 14.2 | — | 5.8 | 2.4 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14- 4 | 床 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | (7.0) | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14- 5 | 床 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | (7.4) | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14- 6 | 床 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | (7.0) | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14- 7 | J | あかやき | 坏 | C | 5.0 | 14.0 | — | 7.7 | 1.8 | 2.8 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14- 8 | 床 | あかやき | 坏 | C | (5.0) | (14.9) | — | (7.4) | (2.0) | (3.0) | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14- 9 | J | あかやき | 坏 | B | 5.0 | 14.4 | — | 7.3 | 2.0 | 2.9 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14-10 | 床 | あかやき | 坏 | B | 5.2 | 14.2 | — | 7.0 | 2.0 | 2.7 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14-11 | J | あかやき | 坏 | B | 5.0 | 14.2 | — | 6.8 | 2.1 | 2.8 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14-12 | 床 | あかやき | 坏 | B | 5.2 | 14.2 | — | 6.7 | 2.1 | 2.7 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 14-13 | J | 土師器 | 坏 | B | 5.2 | 13.4 | — | 6.0 | 2.2 | 2.6 | 回転糸切 | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | | | |
| 14-14 | 床 | 土師器 | 坏 | — | — | (13.7) | — | — | — | — | | | ヘラミガキ | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 14-15 | J | あかやき | 小形甕 | — | 19.8 | 19.0 | 19.0 | 9.4 | 2.0 | 2.0 | | ヘラケズリ | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 15-16 | 床 | 須恵器 | 甕 | — | — | 25.9 | — | — | — | — | | 平行タタキ | 蓮華文 | | | | 2.5GY5/1オリーブ灰 | |
| 16- 1 | A | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 7.4 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 16- 2 | J | 土師器 | 高台付坏 | C | 5.4 | 16.2 | — | 6.4 | 2.5 | 3.0 | | 回転ヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 16- 3 | J | あかやき | 甕 | — | — | (23.4) | (24.6) | — | — | — | | ヘラケズリ | | | | | 7.5YR8/4浅黄橙 | |
| 16- 4 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (15.9) | (17.0) | — | — | — | | ヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 5YR6/4にぶい橙 | |
| 16- 5 | J | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 9.9 | — | — | | ヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 10YR6/3にぶい黄橙 | |
| 16- 6 | J | 土師器 | 甕 | — | — | 22.3 | 25.5 | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 16- 7 | J | 土師器 | 甕 | — | — | 12.8 | 16.0 | — | — | — | | 回転ヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 16- 8 | A | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | (6.7) | — | — | 回転糸切 | | | | | | 10G5/1青灰 | |
| 16- 9 | A | あかやき | 坏 | C | 4.8 | 14.6 | — | 6.9 | 2.1 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 16-10 | A | あかやき | 坏 | B | 4.9 | 12.7 | — | 5.1 | 2.5 | 2.6 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 16-11 | A | 土師器 | 坏 | B | 4.4 | 14.3 | — | 6.1 | 2.3 | 3.3 | 回転糸切 | | ヘラミガキ | | | | 10YR7/4にぶい黄橙 | |
| 16-12 | A | あかやき | 小形甕 | — | — | — | — | 8.0 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 16-13 | A | 須恵器 | 長頸瓶 | — | — | — | — | — | — | — | | ヘラケズリ | | | | | 5Y5/2オリーブ灰 | |
| 16-14 | A | あかやき | 甕 | — | — | (18.6) | (18.7) | — | — | — | | ヘラケズリ | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 17- 1 | 底 | 土師器 | 甕 | — | (16.1) | — | (16.0) | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ,ハケメ | | | | 5YR6/6橙 | |

**表4　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(3)**

| 番号 | | 形態 | | | 寸法(cm) | | | | | | 底部切離 | 調整 | | | 外傾度 | 墨書 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図 | 位置・層 | 区分 | 器種 | 分類 | 器高 | 口径 | 体径 | 底径 | 口/底 | 口/高 | | 外面 | 内面 | 分類 | | | | |
| 17- 2 | 埋土 | 須恵器 | 蓋 | — | — | — | — | 5.3 | — | — | | | | | | | 5YR4/2灰褐 | |
| 17- 3 | Ia | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | (5.9) | — | — | 回転糸切 | | | | | | 7.5Y6/1灰 | |
| 17- 4 | 埋土 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | (5.7) | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 17- 5 | 埋土 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 6.0 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 2.5Y8/2灰白 | |
| 17- 6 | 埋土 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 5.7 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 17- 7 | Ia | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 7.1 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR6/6橙 | |
| 17- 8 | 埋土 | あかやき | 坏 | C | 3.9 | 15.1 | — | 5.4 | 2.8 | 3.9 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 17- 9 | 埋土 | あかやき | 坏 | B | 4.2 | 13.3 | — | 5.5 | 2.4 | 3.2 | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/4にぶい橙 | 全体に歪みあり |
| 17-10 | 埋土 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 5.2 | — | — | 回転糸切 | | ヘラミガキ | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 17-11 | 埋土 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | (6.9) | — | — | 回転糸切 | ヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 17-12 | 埋土 | 土師器 | 坏 | B | — | (14.0) | — | — | — | — | | | ヘラミガキ | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 17-13 | Ia | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 5.5 | — | — | 再調,回転ヘラケズリ | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | | 10Y3/1オリーブ黒 | |
| 17-14 | 埋土 | 須恵器 | 高台付坏 | — | — | — | — | (6.3) | — | — | | | | | | | 10Y6/1灰 | |
| 17-15 | Ia | 須恵器 | 高台付坏 | — | — | — | — | 6.5 | — | — | | | | | | | 5Y6/1灰 | 内面炭化物付着 |
| 17-16 | Ia | あかやき | 高台付坏 | — | — | — | — | (7.9) | — | — | | | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 17-17 | 埋土 | あかやき | 高台付坏 | — | — | — | — | 5.6 | — | — | | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 17-18 | 埋土 | あかやき | 甕 | — | — | (21.1) | — | — | — | — | | | | | | | 5Y7/6橙 | |
| 17-19 | 埋土 | あかやき | 小形甕 | — | — | (13.9) | — | — | — | — | | | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 17-20 | 埋土 | あかやき | 甕 | — | — | (22.5) | — | — | — | — | | | | | | | 5Y6/6橙 | |
| 17-21 | Ia | 土師器 | 甕 | — | — | (16.9) | — | — | — | — | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 5Y6/8橙 | |
| 17-22 | 埋土 | 土師器 | 甕 | — | — | (18.0) | — | — | — | — | | ハケメ,ヘラナデ | ハケメ,ヘラナデ | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 17-23 | 埋土 | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 9.0 | — | — | | ヘラケズリ | ハケメ,ヘラナデ | | | | 5YR7/6橙 | 木葉痕 |
| 17-24 | Ia | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 7.2 | — | — | | ハケメ | ハケメ | | | | 2.5YR6/8橙 | 砂底,木葉痕 |
| 18- 1 | J | 須恵器 | 坏 | B | 5.0 | 15.1 | — | 6.5 | 2.3 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | 2.5YR7/3浅黄 | |
| 18- 2 | 埋土 | 須恵器 | 坏 | A | — | (15.7) | — | — | — | — | | | | | | | 10BG4/1暗青灰 | |
| 18- 3 | B | あかやき | 坏 | B | (5.2) | (14.1) | — | 7.2 | (2.0) | (2.7) | | | | | | | 5YR7/8橙 | |
| 18- 4 | A | あかやき | 坏 | B | 5.1 | (12.1) | — | (6.9) | 1.8 | 2.4 | | | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 18- 5 | 埋土 | あかやき | 坏 | B | 4.9 | 14.3 | — | 6.0 | 2.4 | 2.9 | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 18- 6 | A | あかやき | 坏 | B | 5.2 | 13.7 | — | 5.7 | 2.4 | 2.6 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 18- 7 | B | あかやき | 坏 | A | 5.3 | 14.0 | — | 5.3 | 2.6 | 2.6 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 18- 8 | B | あかやき | 坏 | B | 5.1 | 15.5 | — | 4.7 | 3.3 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 18- 9 | B | あかやき | 坏 | B | — | (14.2) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 18-10 | B | あかやき | 坏 | B | — | (15.3) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 18-11 | A | あかやき | 坏 | C | — | (16.0) | — | — | — | — | | | | | | | 7.5YR8/4浅黄橙 | |
| 18-12 | B | あかやき | 坏 | B | — | (13.2) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 18-13 | 床 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | (7.4) | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 18-14 | A | あかやき | 坏 | — | — | — | — | (6.1) | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/8橙 | |
| 18-15 | C | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 6.2 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 18-16 | 埋土 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 6.3 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 18-17 | J | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 5.7 | — | — | | | | | | | 5YR6/8橙 | |
| 18-18 | 検出面 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 5.3 | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 18-19 | 埋土 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 6.0 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR8/4浅黄橙 | |
| 18-20 | 埋土 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 6.0 | — | — | | | | | | | 7.5YR8/4浅黄橙 | |
| 18-21 | 埋土 | 土師器 | 坏 | B | 5.9 | 13.7) | — | 4.5 | 3.0 | 2.3 | 回転糸切 | | ヘラミガキ | | | | 10YR8/3浅黄橙 | |
| 18-22 | 検出面 | 土師器 | 坏 | B | 5.3 | (13.0) | — | (5.7) | (2.3) | (2.5) | | 手持ちヘラケズリ | | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 18-23 | 埋土 | 土師器 | 坏 | B | — | (13.3) | — | — | — | — | | | ヘラミガキ | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 18-24 | 埋土 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | (5.8) | — | — | | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | | 10YR8/3浅黄橙 | |
| 18-25 | 検出面 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | (7.0) | — | — | | | ヘラミガキ | | | | 2.5YR7/6橙 | |
| 18-26 | 埋土 | 土師器 | 高台付坏 | — | — | — | — | — | — | — | | | | | | | 10YR8/4浅黄橙 | |

**表5　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(4)**

| 番号 | | 形態 | | | 寸法(cm) | | | | | | 底部切離 | 調整 | | | 外傾度 | 墨書 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図 | 位置・層 | 区分 | 器種 | 分類 | 器高 | 口径 | 体径 | 底径 | 口/底 | 口/高 | | 外面 | 内面 | 分類 | | | | |
| 18-27 | B | あかやき | 小形甕 | — | — | (13.0) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 18-28 | B | あかやき | 小形甕 | — | 11.6 | 12.4 | 11.8 | 5.3 | 2.3 | 1.1 | | | | | | | 7.5YR7/3にぶい橙 | |
| 19-29 | J | 土師器 | 甕 | — | 29.6 | 18.5 | 18.6 | 7.5 | 2.5 | 0.6 | | ヘラケズリ,ハケメ | ハケメ | | | | 10YR6/3にぶい橙 | |
| 19-30 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (17.6) | (17.9) | — | — | — | | ヘラケズリ,ヘラミガキ | ヘラナデ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 19-31 | 埋土 | 土師器 | 甕 | — | — | (16.8) | — | — | — | — | | ヘラナデ | ハケメ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 19-32 | B | 土師器 | 甕 | — | — | (19.8) | — | — | — | — | | ヘラケズリ | ヘラケズリ | | | | 5YR7/4にぶい橙 | |
| 19-33 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (19.0) | (19.0) | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 19-34 | B | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 10.8 | — | — | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 5YR6/6橙 | |
| 19-35 | 床 | ミニチュア土器 | | — | 4.2 | 5.2 | 5.4 | 3.1 | 1.7 | 1.2 | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 10YR7/4にぶい黄橙 | |
| 20- 1 | B | 須恵器 | 坏 | B | (7.0) | (14.8) | — | (5.6) | — | — | | | | | | | 7.5YR8/4浅黄橙 | |
| 20- 2 | B | 須恵器 | 坏 | A | (4.3) | (14.3) | — | 5.9 | 2.4 | 3.3 | | | | | | | 2.5YR6/2灰黄 | |
| 20- 3 | J | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 6.4 | — | — | | | | | | | 2.5YR7/8橙 | |
| 20- 4 | 埋土 | あかやき | 坏 | B | (5.1) | (15.4) | — | (5.5) | 2.8 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 20- 5 | J | あかやき | 坏 | A | 5.5 | 15.1 | — | 6.8 | 2.2 | 2.7 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR8/4浅黄橙 | |
| 20- 6 | J | あかやき | 坏 | C | 5.3 | 14.6 | — | 5.5 | 2.7 | 2.8 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR8/4浅黄橙 | |
| 20- 7 | J | あかやき | 坏 | B | (4.6) | (13.3) | — | (6.5) | 2.2 | 2.97 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR7/3にぶい橙 | |
| 20- 8 | 床 | あかやき | 坏 | — | — | (14.5) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 20- 9 | 床 | あかやき | 坏 | A | — | (13.3) | — | — | — | — | | | | | | | 2.5YR6/6橙 | |
| 20-10 | J | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 6.8 | — | — | | | | | | | 5YR7/8橙 | |
| 20-11 | J | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 5.1 | — | — | | | | | | | 2.5YR7/8橙 | |
| 20-12 | J | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 5.4 | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 20-13 | B | 土師器 | 坏 | C | 4.7 | 14.6 | — | 5.9 | — | — | | | ヘラミガキ | | | | 5YR8/4淡橙 | |
| 20-14 | 火床面 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | (5.5) | — | — | | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | | 10Y3/1オリーブ黒 | |
| 20-15 | C | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | (6.4) | — | — | | 回転ヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 7.5YR8/4浅黄橙 | |
| 20-16 | 埋土 | 土師器 | 埦 | B | — | — | — | (8.0) | — | — | | 回転ヘラケズリ | | | | | 2.5YR7/8橙 | |
| 20-17 | 埋土 | あかやき | 小形甕 | — | — | (13.3) | (13.5) | — | — | — | | | | | | | 2.5YR6/6橙 | |
| 20-18 | 床 | あかやき | 小形甕 | — | — | (15.3) | (15.7) | — | — | — | | | | | | | 2.5YR7/4浅黄橙 | |
| 20-19 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (16.9) | (25.8) | — | — | — | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 2.5YR6/8橙 | |
| 20-20 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (20.7) | (21.3) | — | — | — | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 2.5YR6/6橙 | |
| 21- 1 | 埋土 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | (5.9) | — | — | | | | | | | 5Y6/2灰オリーブ | |
| 21- 2 | 床 | あかやき | 坏 | A | 5.2 | 14.7 | — | 5.9 | 2.5 | 2.8 | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/8橙 | |
| 21- 3 | 埋土 | 須恵器 | 高台付埦 | — | — | — | — | 8.0 | — | — | | | | | | | 10Y6/1灰 | |
| 21- 4 | J | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 5.3 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 2.5GY5/1オリーブ灰 | |
| 21- 5 | J | あかやき | 坏 | B | 5.2 | (14.4) | — | (6.5) | (2.2) | (2.8) | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/4にぶい橙 | |
| 21- 6 | J | あかやき | 坏 | B | 4.3 | (12.8) | — | (5.6) | (2.3) | (3.0) | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 21- 7 | J | 土師器 | 高台付坏 | — | — | — | — | — | — | — | | | ヘラミガキ | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 21- 8 | J | 土師器 | 盌埦 | — | 8.0 | 11.0 | — | 6.8 | 1.6 | 1.4 | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 5YR6/4にぶい橙 | |
| 21- 9 | J | あかやき | 小形甕 | — | — | (15.5) | — | (7.3) | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 21-10 | J | 須恵器 | 長頸瓶 | — | — | (12.1) | — | — | — | — | | | | | | | 7.5YR5/1灰 | |
| 21-11 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (16.6) | — | — | — | — | | ヘラケズリ,ハケメ | ハケメ | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 21-12 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (17.5) | — | — | — | — | | ハケメ | ハケメ | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 21-13 | J | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 8.1 | — | — | | | ハケメ | | | | 5YR6/4にぶい橙 | |
| 21-14 | J | 須恵器 | 坏 | A | 4.4 | 13.1 | — | 6.7 | 2.0 | 3.0 | | | | | | | 10Y5/1灰 | |
| 21-15 | J | あかやき | 坏 | B | 5.0 | 14.7 | — | 6.7 | 2.2 | 2.9 | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 21-16 | C | あかやき | 坏 | A | 5.1 | 12.0 | — | 4.8 | 2.5 | 2.4 | 回転糸切 | | | | | | 2.5YR7/4淡赤橙 | |
| 21-17 | J | 土師器 | 坏 | B | 7.0 | 15.8 | — | 6.2 | 2.5 | 2.3 | 回転糸切 | 回転ヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 21-18 | C | 須恵器 | 長頸瓶 | C | — | — | — | 9.8 | — | — | | カキメ | | | | | N3/0暗灰 | |
| 21-19 | J | あかやき | 小形甕 | — | — | 9.7 | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 21-20 | J | 土師器 | 埦 | — | 11.1 | 17.4 | 16.1 | 8.6 | 2.0 | 1.6 | | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |

**表6　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(5)**

| 番号 | | 形態 | | | 寸法(cm) | | | | | | 底部切離 | 調整 | | | 外傾度 | 墨書 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図 | 位置・層 | 区分 | 器種 | 分類 | 器高 | 口径 | 体径 | 底径 | 口/底 | 口/高 | | 外面 | 内面 | 分類 | | | | |
| 22- 1 | J | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 6.9 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR6/4にぶい橙 | |
| 22- 2 | C | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 6.6 | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 22- 3 | J | 土師器 | 甕 | — | — | (19.2) | (17.5) | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 22- 4 | D | 須恵器 | 蓋 | — | 2.2 | 12.0 | — | 6.4 | 1.9 | 5.5 | | ヘラナデ | ヘラナデ,ハケメ | | | | 5G2/1緑黒 | |
| 22- 5 | B | 須恵器 | 坏 | B | 4.3 | 12.9 | — | 6.5 | 2.0 | 3.0 | 回転糸切 | | | | | | 10Y7/1灰白 | |
| 22- 6 | C | 須恵器 | 坏 | A | 5.0 | 15.6 | — | 6.7 | 2.3 | 3.1 | 回転糸切 | | | | | | 10Y7/1灰白 | |
| 22- 7 | C | 須恵器 | 坏 | — | — | (14.9) | — | — | — | — | | | | | | | 7.5Y7/1灰白 | |
| 22- 8 | B | あかやき | 坏 | A | 5.6 | 12.5 | — | 4.9 | 2.8 | 2.2 | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR8/4浅黄橙 | |
| 22- 9 | C | あかやき | 坏 | — | — | (14.8) | — | — | — | — | | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 22-10 | B | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 5.9 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 7.5YR8/4浅黄橙 | |
| 22-11 | A | 土師器 | 坏 | A | 6.5 | (15.6) | — | (7.2) | (2.2) | (2.4) | 回転糸切 | | ヘラミガキ | | | | 10Y7/4にぶい黄 | |
| 22-12 | C | 土師器 | 坏 | B | 6.1 | 12.7 | — | 6.0 | 2.1 | 2.1 | 回転糸切 | | ヘラミガキ | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 22-13 | C | 須恵器 | 高台付埦 | A | (8.4) | 14.7 | — | — | — | — | | | | | | | 5Y4/1灰 | |
| 22-14 | J | あかやき | 小形甕 | — | 16.7 | 16.5 | 15.0 | 6.1 | — | — | 回転糸切 | 回転ヘラケズリ | | | | | 10YR8/3浅黄橙 | |
| 22-15 | J | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 9.7 | — | — | | ヘラミガキ | ハケメ | | | | 2.5YR6/6橙 | |
| 22-16 | B | 土師器 | 甕 | — | — | (20.3) | — | — | — | — | | ヘラケズリ | ハケメ | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 23-21 | 埋土 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 5.4 | — | — | | | | | | | | |
| 23-22 | 埋土 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 6.7 | — | — | | | ヘラミガキ | | | | | |
| 23-23 | 埋土 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 5.9 | — | — | | | ヘラミガキ | | | | | |
| 23-25 | J | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | (6.0) | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 23-26 | J | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 6.9 | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 23-27 | B | 土師器 | 坏 | — | 6.5 | (14.4) | — | (6.7) | 2.1 | 2.2 | | ヘラミガキ | | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 23-28 | L | 土師器 | 坏 | B | 6.0 | 13.8 | — | 5.9 | 2.3 | 2.3 | 回転糸切 | 回転ヘラケズリ | ヘラミガキ | | | | 5YR6/6橙 | |
| 23-29 | L | 須恵器 | 高台付埦 | — | 7.5 | 15.1 | — | 8.0 | 1.9 | 2.0 | 回転糸切 | 回転ヘラケズリ | | | | | 5YR7/4にぶい橙 | |
| 23-30 | A | 土師器 | 甕 | — | — | (16.9) | — | — | — | — | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 5YR7/8橙 | |
| 23-31 | L | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | (10.8) | — | — | | ヘラナデ | | | | | 5YR6/6橙 | |
| 24- 1 | J | あかやき | 坏 | B | 5.6 | 14.0 | — | 6.0 | 2.3 | 2.5 | 回転糸切 | | | | | | 10YR7/3にぶい黄 | |
| 24- 2 | C | あかやき | 坏 | — | — | (13.0) | — | — | — | — | | | | | | | | |
| 24- 3 | C | あかやき | 坏 | — | — | (13.9) | — | — | — | — | | | | | | | | |
| 24- 4 | J | 土師器 | 坏 | B | 4.7 | 13.9 | — | 5.5 | 2.5 | 3.0 | 回転糸切 | ハケメ | ヘラミガキ | | | | | |
| 24- 6 | 埋土 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 5.5 | — | — | 回転糸切 | | | | | | | |
| 24- 7 | B | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 6.4 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR5/4にぶい赤褐 | |
| 27- 1 | 検出面 | 須恵器 | 坏 | — | 5.0 | 12.9 | — | 8.9 | 1.5 | 2.6 | ヘラ切り | | | | | | 2.5YR6/6橙 | |
| 27- 2 | A | 須恵器 | 坏 | B | 3.6 | 13.7 | — | (7.6) | 1.8 | 3.8 | ヘラ切り | | | | | | | |
| 27- 3 | A | 須恵器 | 坏 | A | 6.2 | 14.8 | — | 6.4 | 2.3 | 2.4 | 回転糸切 | | | | | | | |
| 27- 4 | 検出面 | 土師器 | 坏 | B | 4.3 | 12.2 | — | 6.5 | 1.9 | 2.8 | | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | | | |
| 27- 5 | 床面 | 土師器 | 甕 | — | — | — | — | 6.7 | — | — | | ハケメ | ヘラナデ | | | | | |
| 27- 6 | 床面 | 土師器 | 甕 | — | — | (19.9) | (16.8) | — | — | — | | ヘラミガキ | ヘラナデ | | | | | |
| 28- 1 | A | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 3.5 | — | — | ヘラ切り | | | | | | 7.5Y6/1灰 | |
| 28- 2 | A | 須恵器 | 坏 | A | 4.4 | 13.4 | — | 6.8 | 2.0 | 3.0 | 回転糸切 | | ヘラミガキ | | | | 7.5Y8/1灰白 | |
| 28- 3 | A | あかやき | 坏 | B | 4.4 | 15.4 | — | 8.4 | 1.8 | 3.5 | 回転糸切 | | | | | | 2.5YR7/8橙 | |
| 28- 4 | B | 土師器 | 甕 | — | 9.4 | 11.0 | 9.6 | 4.8 | 2.3 | 1.2 | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 5YR6/6橙 | |
| 28- 5 | 埋土 | 土師器 | 甕 | — | 14.3 | 12.6 | 12.5 | 7.4 | 1.7 | 0.9 | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 28- 6 | B | 土師器 | 甕 | — | 15.4 | (16.1) | (13.2) | (7.0) | 2.3 | 1.0 | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 28- 7 | B | 土師器 | 甕 | — | 20.0 | 15.8 | 14.7 | 6.7 | 2.2 | 7.9 | | ヘラミガキ | ヘラナデ | | | | 2.5YR7/8橙 | |
| 28- 9 | J | 土師器 | 坏 | B | 3.5 | 10.1 | — | 5.9 | 1.7 | 2.9 | | ヘラケズリ,ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 28-10 | C | 須恵器 | 甕 | — | — | (31.6) | — | — | — | — | | カキメ | | | | | | |
| 29- 1 | J | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 6.5 | — | — | | | | | | | 7.5YR6/1灰 | |
| 29- 2 | J | 土師器 | 坏 | B | 5.3 | (13.0) | — | (5.9) | 2.2 | 2.5 | | | ヘラミガキ | | | | 5YR7/6橙 | |

**表7　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(6)**

| 番号 | | 形態 | | | 寸法(cm) | | | | | | 底部切離 | 調整 | | | 外傾度 | 墨書 | 色調 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図 | 位置・層 | 区分 | 器種 | 分類 | 器高 | 口径 | 体径 | 底径 | 口/底 | 口/高 | | 外面 | 内面 | 分類 | | | | |
| 29- 3 | 床面 | 須恵器 | 坏 | A | 5.1 | 14.7) | — | 5.2 | 2.8 | 2.9 | | | | | | | 5GY4/1暗オリーブ灰 | |
| 29- 4 | B | 土師器 | 小形甕 | — | — | (11.5) | — | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 29- 5 | B | あかやき | 小形甕 | — | 14.7 | (13.5) | (14.2) | (7.9) | (1.7) | 0.9 | | | | | | | 10YR7/4にぶい黄橙 | |
| 29- 6 | 床面 | 須恵器 | 坏 | A | 4.1 | 15.5 | — | 6.2 | 2.5 | 3.8 | ヘラ切り | | | | | | 10YR7/4にぶい黄橙 | |
| 29- 7 | 床面 | あかやき | 小形甕 | — | — | (13.0) | — | — | — | — | | | | | | | 7.5YR8/6浅黄橙 | |
| 29- 8 | 床面 | あかやき | 小形甕 | — | — | — | — | 5.9 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 10YR7/3にぶい黄橙 | |
| 29- 9 | 床面 | 土師器 | 甕 | — | — | (22.2) | (21.1) | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 29-10 | 床面 | 土師器 | 甕 | — | — | (22.4) | (22.0) | — | — | — | | ヘラナデ | ヘラナデ | | | | 2.5YR6/8橙 | |
| 29-11 | 床面 | 土師器 | 甕 | — | — | (20.9) | — | — | — | — | | ヘラナデ,ヘラミガキ | ヘラナデ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 29-12 | 床面 | 土師器 | 甕 | — | — | (23.1) | — | — | — | — | | ヘラケズリ | ハケメ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 30- 1 | A | 土師器 | 把手付甕 | — | — | — | — | — | — | — | | | ヘラミガキ | | | | | |
| 30- 2 | A | 須恵器 | 甕 | — | — | (15.8) | — | — | — | — | | | | | | | 2.5Y7/4浅黄 | |
| 30- 3 | B | 土師器 | 甕 | — | — | (15.2) | — | — | — | — | | ヘラナデ | ハケメ | | | | 7.5YR7/6橙 | |
| 31- 1 | 埋土 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 6.0 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 2.5Y6/2灰黄 | |
| 31- 2 | 埋土 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | (5.0) | — | — | | | | | | | 10Y6/1灰 | |
| 31- 3 | 埋土 | 須恵器 | 坏 | — | — | — | — | 5.0 | — | — | | | | | | | 7.5Y6/2灰オリーブ | |
| 31- 4 | 埋土 | あかやき | 坏 | — | — | — | — | (6.1) | — | — | | | | | | | 10YR7/3にぶい黄橙 | |
| 31- 5 | 埋土 | あかやき | 坏 | B | 4.8 | 14.7 | — | 5.0 | 2.9 | 3.1 | | | | | | | 2.5YR7/6橙 | |
| 31- 6 | Ia | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 6.0 | — | — | 回転糸切 | | | | | | 5YR7/6橙 | |
| 31- 7 | 埋土 | 土師器 | 坏 | — | — | — | — | 5.3 | — | — | | 回転ヘラケズリ | | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 31- 8 | 埋土 | 土師器 | 小形甕 | — | — | (12.1) | — | — | — | — | | ヘラケズリ | | | | | 10YR6/3にぶい黄橙 | |
| 31- 9 | 埋土 | 土師器 | 小形甕 | — | — | — | — | (10.0) | — | — | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 5YR7/6橙 | |
| 31-10 | Ia | 須恵器 | 鉢 | — | — | — | — | (10.9) | — | — | | 平行タタキ,ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 5B2/1青黒 | |
| 31-15 | A | 須恵器 | 瓶 | — | — | — | — | (8.5) | — | — | | カキメ | | | | | 10Y4/1灰 | |
| 31-16 | Ia | 土師器 | 甕 | — | — | (18.7) | — | — | — | — | | ヘラケズリ | ヘラナデ | | | | 7.5YR6/4にぶい橙 | |
| 31-17 | D | 須恵器 | 坏 | A | 6.5 | (14.3) | — | (7.1) | 2.0 | 2.1 | 回転糸切 | | | | | | 5Y7/2灰白 | |
| 31-18 | Ia | あかやき | 坏 | — | — | — | — | 5.8 | — | — | | | | | | | 7.5YR7/4にぶい橙 | |
| 31-19 | Ia | 土師器 | 高台付坏 | — | — | — | — | (6.6) | — | — | | ヘラミガキ | ヘラミガキ | | | | N3/0暗灰 | |

**表8　館・松ノ木遺跡出土土器計測値(7)**

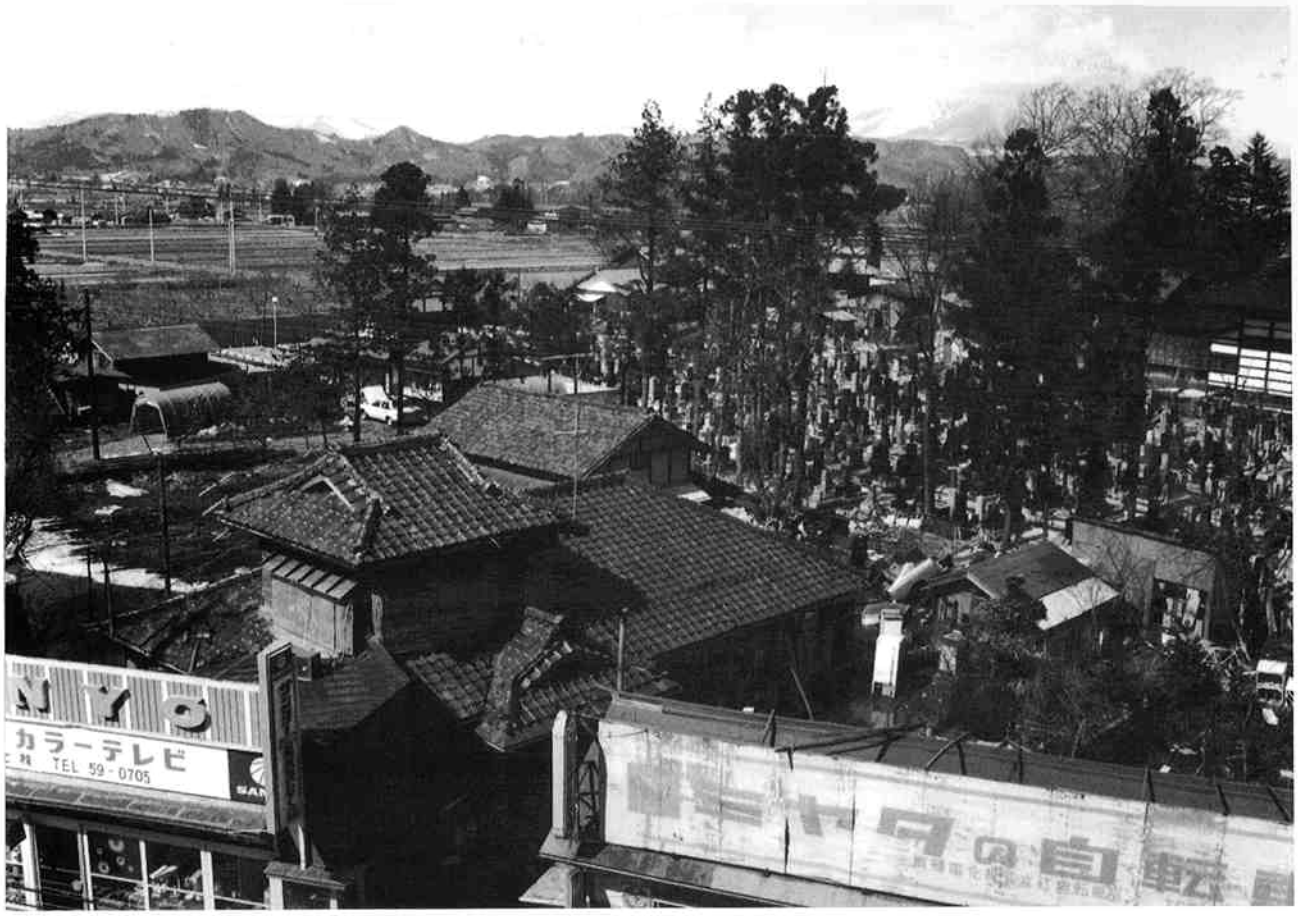
# 報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | たて　まつのきいせき |
| 書名 | 『館・松ノ木遺跡』 |
| 副書名 | ―古代の遺物編― |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | |
| シリーズ番号 | |
| 編著者名 | 似内啓邦 ほか |
| 編集機関 | 盛岡市教育委員会 |
| 所在地 | 〒020-8532 岩手県盛岡市津志田14地割37番地２　TEL 019-651-4110(内線7353) |
| 発行年月日 | 1999年３月31日 |

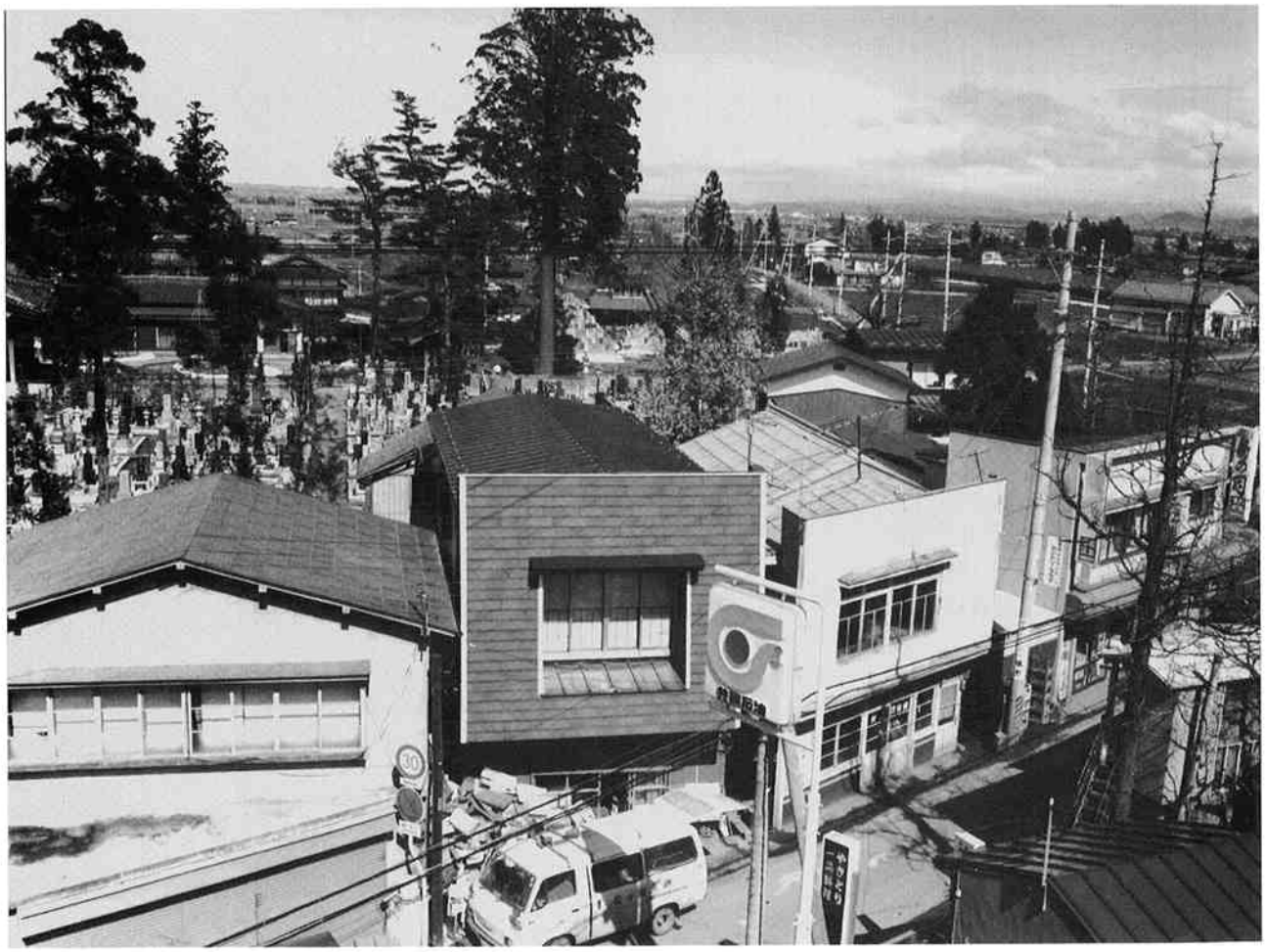
| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村番号 | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 館遺跡<br>松ノ木遺跡 | 岩手県盛岡市<br>上太田館・松ノ木 | 03201 | 39°<br>41′<br>32″ | 141°<br>05′<br>47″ | 1978.4.13<br>～<br>1991.4.19 | 3,888㎡ | 墓地造成<br>住宅建築<br>物置建築<br>集落排水 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 館遺跡 | 集落 | 平安時代 | 竪穴住居　23棟<br>竪穴　1棟<br>土坑　1基 | 土器<br>石製品<br>鉄製品 | |
| | | 古代以降<br>～<br>近世 | 竪穴　13棟<br>堀・溝跡　7条<br>土・墓坑　9基<br>柱列跡　3条<br>柱穴　多数<br>土塁　1条 | 陶磁器<br>石製品<br>鉄製品 | |
| 松ノ木遺跡 | 集落 | 平安時代 | 竪穴住居　13棟<br>土坑　1基<br>溝跡　2条 | 土器<br>石製品<br>鉄製品 | |
| | | 古代以降<br>～<br>近世 | 堀・溝　16条<br>土・墓坑　2基 | 陶磁器<br>石製品<br>鉄製品 | |

# 写　真　図　版




遺跡全景（南東から）



遺跡全景（南西から）

第2図版

遺跡遠景

微地形
（西から）

館第1次
調査区全景
（北から）

館第2次
調査区全景
（南から）

館第1次調査
RA001・002・003
竪穴住居跡
遺物出土状況

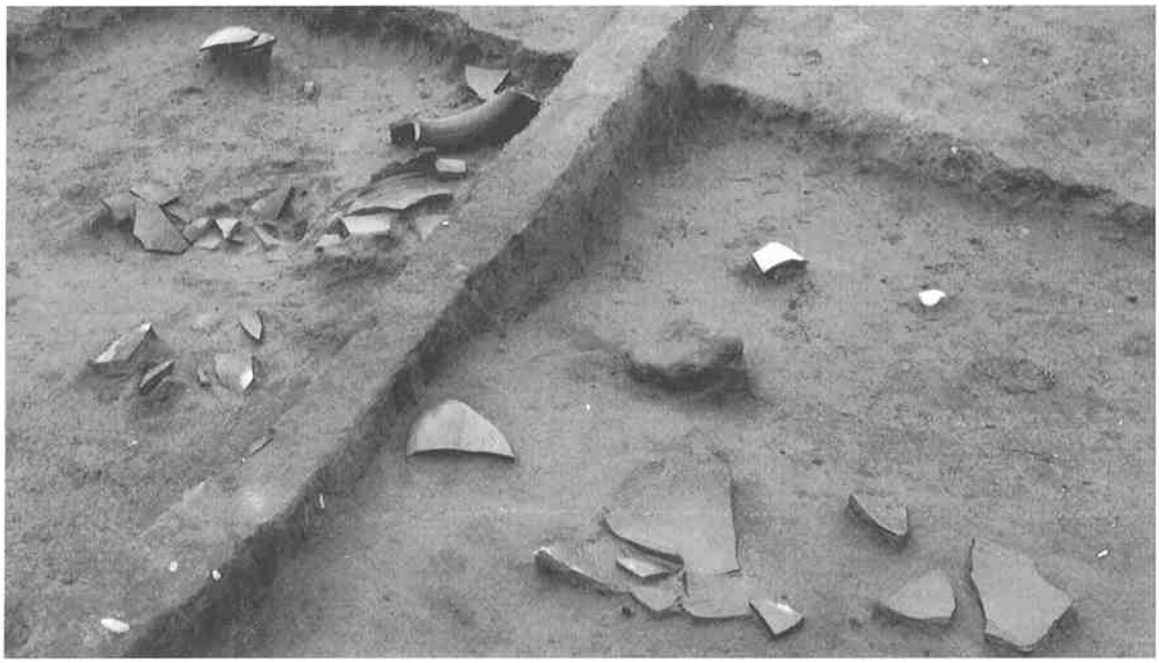
RA001
（北西から）

RA002
（南西から）

RA003
（南西から）

館第1次調査
RA005・009
竪穴住居跡
遺跡出土状況

RA005
（南から）



RA005
（東から）

RA009
（南東から）

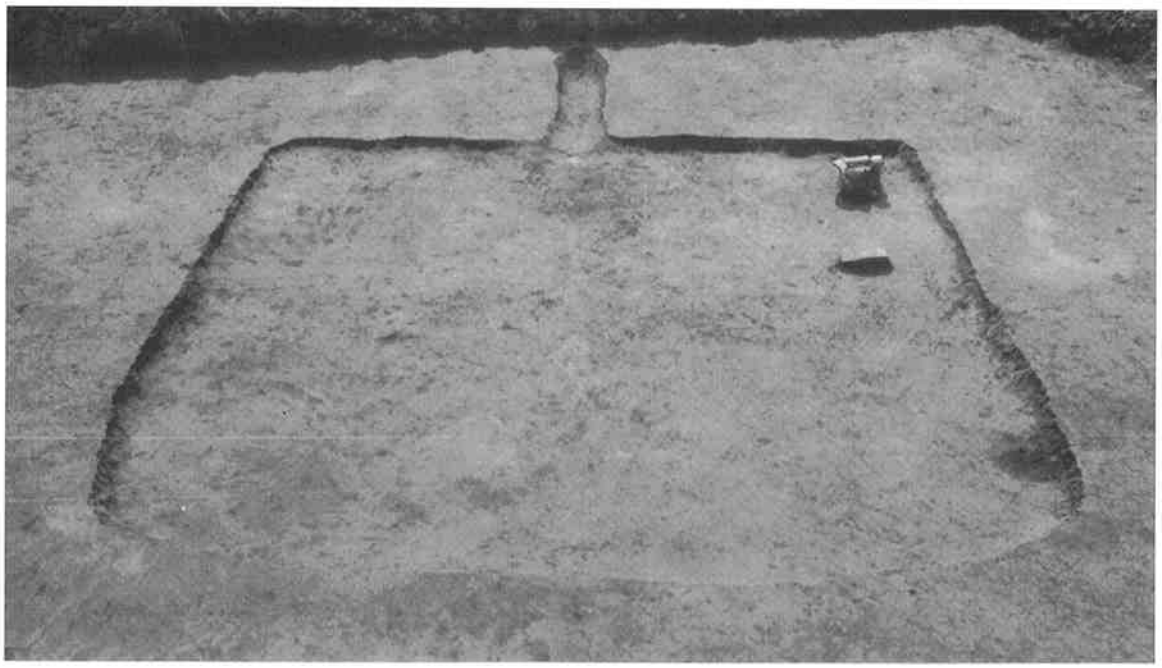
館第2次調査
RA012・020
竪穴住居跡
遺物出土状況

RA012
（南東から）

RA020
（西から）

RA020
（北から）

6次調査区
北半全景
(南西から)



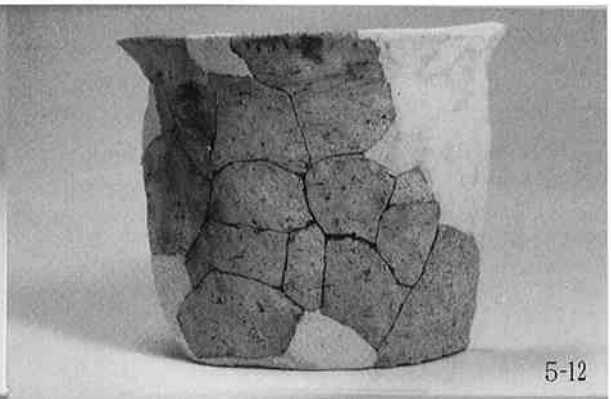
6次調査区
RA026全景
(東から)

7次調査区
全景
(東から)

館遺跡出土土器(1)

RA002
出土土器

5-8

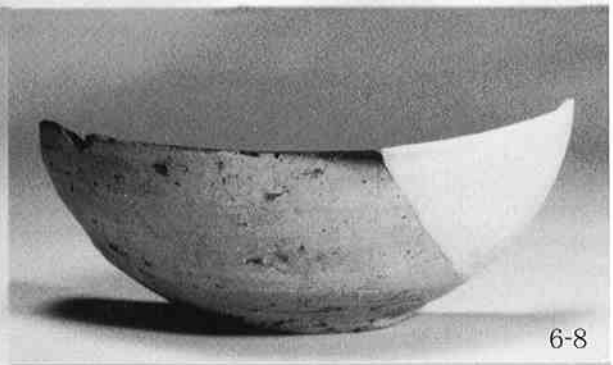

5-12

RA003
出土土器

6-3

6-4

6-7


6-8

6-12

6-18

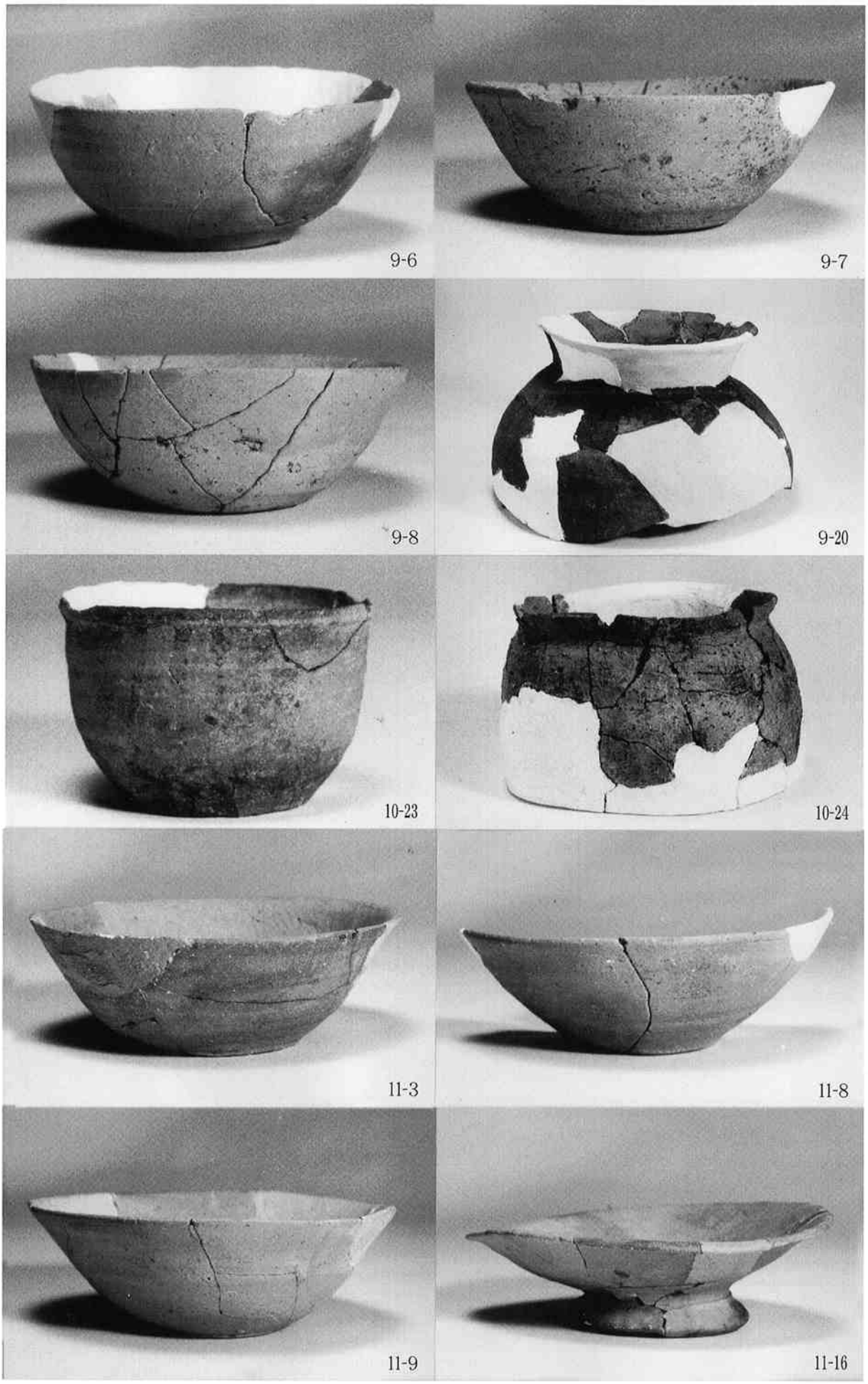
RA004
出土土器

8-5

8-8

第8図版

館遺跡出土土器(2)
RA005
出土土器




RA006
出土土器

館遺跡出土土器(3)

RA006
出土土器

11-22

12-30

RA008・009
出土土器

13-5

14-1

RA009
出土土器

14-2

14-3

14-8

14-9

14-10

14-11

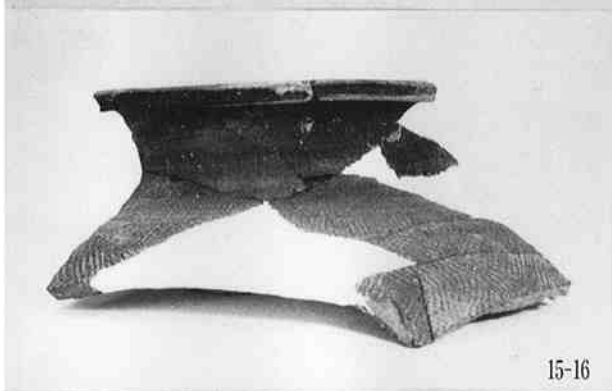
館遺跡出土土器(4)

RA009
出土土器

14-12

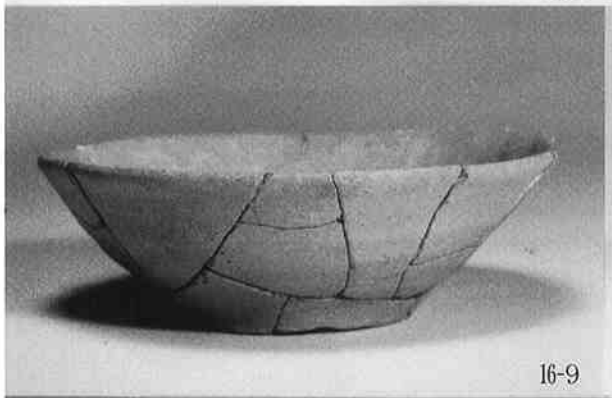
14-13

RA009・010
出土土器


15-16

16-3

RA010
出土土器

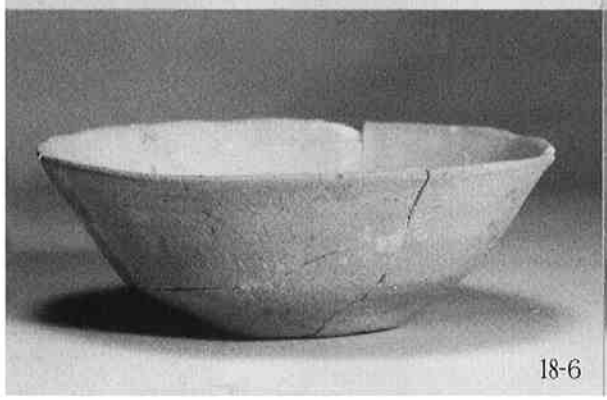

16-9

16-14

RA012
出土土器

18-1

18-5


18-6

18-7

館遺跡出土土器(5)

RA012
出土土器

18-21

18-22

18-28

19-29

19-34

19-35

RA013
出土土器

20-4

20-5

20-6

20-13

**館遺跡出土土器(6)**

RA013
出土土器

20-17

20-18

RA013・014
出土土器

20-20

21-2

RA015
出土土器

21-5

21-6

RA016
出土土器

21-14

21-15

21-16

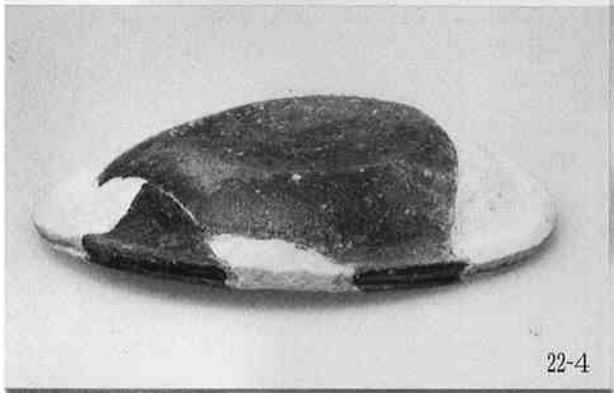
21-17

**館遺跡出土土器(7)**
RA016・018
出土土器

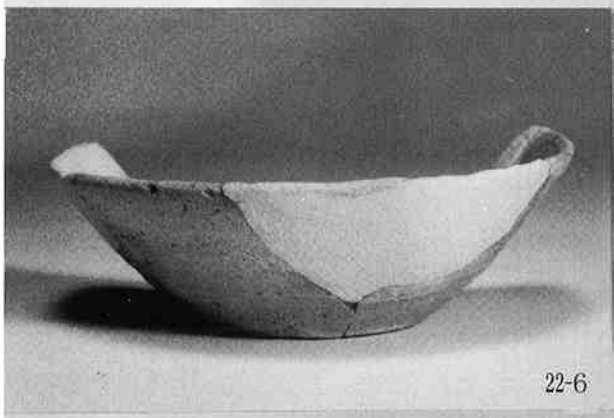
RA018
出土土器

21-20

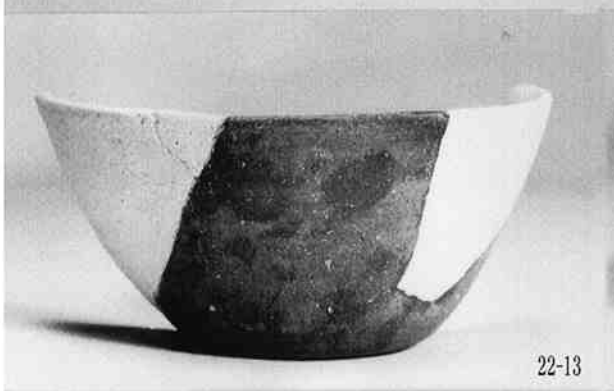
22-5


22-4

22-4


22-6

22-8


22-13

22-10

22-11

22-12

館遺跡出土土器(8)
RA020・021
出土土器

23-29

24-1

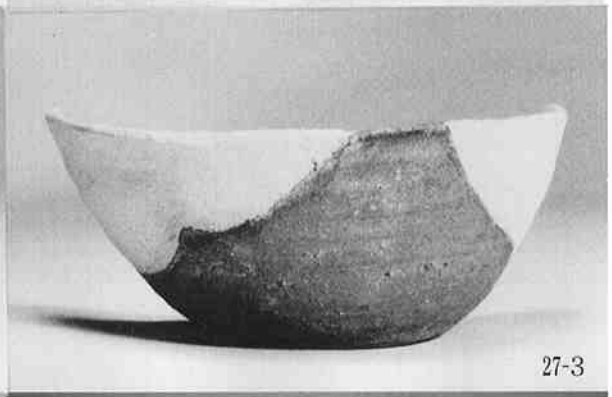
RA021
SD012
出土土器

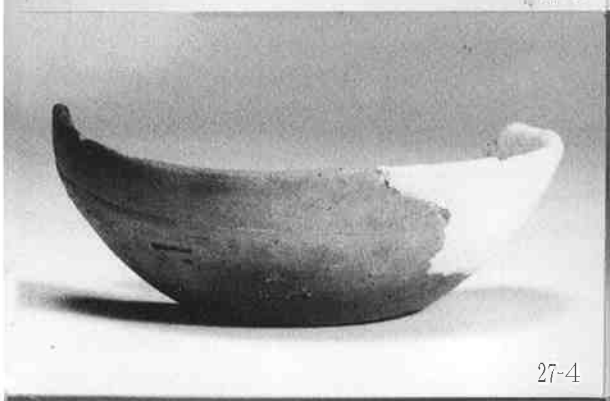
24-4

31-17

RA026
出土土器

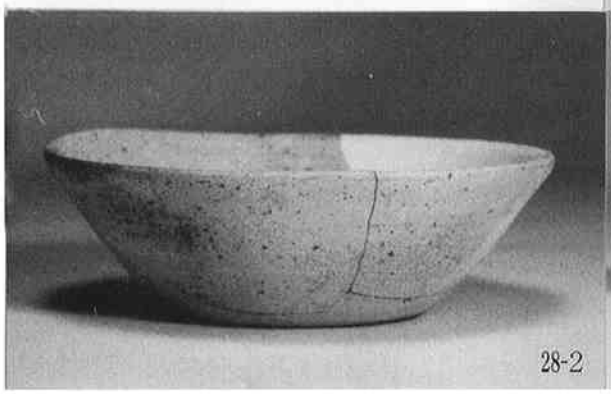
27-1

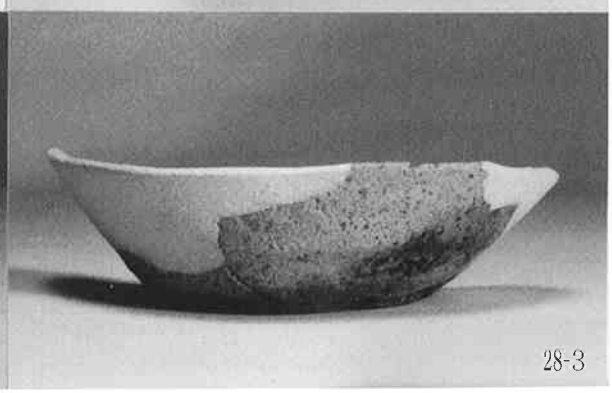

27-3


27-4

27-6

RA027
出土土器


28-2


28-3

館遺跡(9)
松ノ木遺跡出土土器(1)

RA027
出土土器

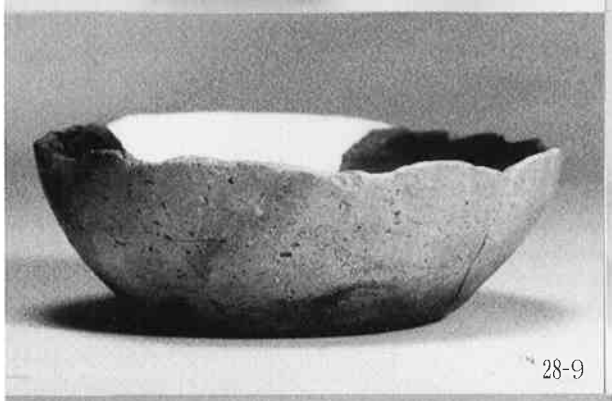
28-4

28-5

28-6

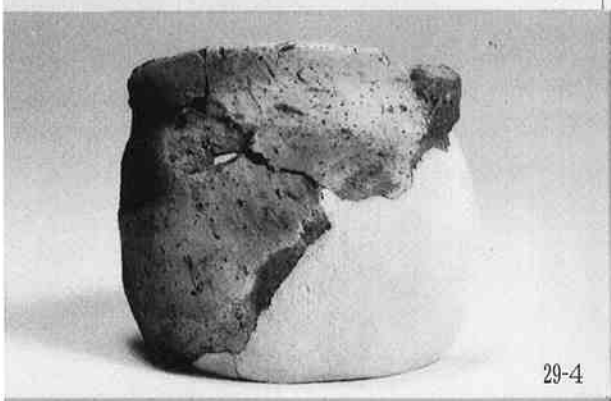
28-7

RA029・032
出土土器


28-9

29-3

RA032・033
出土土器


29-4

29-5

RA034
出土土器

29-6

29-11

**館・松ノ木遺跡**

――古代の遺物編――

平成11年3月31日発行

発行　盛岡市教育委員会

〒020-8532 盛岡市津志田14-37-2

印刷　株式会社　阿部印刷

〒020-0873 盛岡市松尾町2-2